

Panasonic®

取扱説明書

メモリーカード ポータブルレコーダー / プレーヤー

品番 AJ - **HPM100**

P2HD

DVCPRO HD

DVCPRO 50

DVCPRO

DV



このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(5～7ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

安全上のご注意	5
警告	5
注意	7
電源プラグの接地に関するご注意	7
定格の記載位置	7
付属品	8
トップパネルの開閉	9
<hr/>	
はじめに	10
特長	10
各部の名称と機能	12
オーディオ・ビデオ制御部	12
GUI 操作部	15
パネル制御部とカードスロット	18
表示パネル	19
リアパネル	20
サイドパネル	23
画面の切り替えとメニューの操作について	24
操作モードについて	24
メニューの操作	25
記録・再生と P2 カードの取り扱いについて	26
P2 カードの挿入	26
記録と再生	26
P2 カードの取り出し	27
誤消去を防ぐには	27
サーチダイヤルによるジョグ／シャトル操作	29
ジョグモード (JOG モード)	29
シャトルモード (SHTL モード)	29
<hr/>	
クリップの管理	30
サムネイルとクリップの管理について	30
サムネイル画面各部の名称とはたらき	31
サムネイル画面の表示の変更	33
クリップを選択する	35
クリップを再生する	36
テキストメモやショットマークを挿入する	37
テキストメモを挿入する	37
ショットマークを表示する	37
クリップをコピーする	38
クリップを削除する	39
クリップを修復する・連結する	40
不良クリップの修復	40
不完全クリップの連結	40
クリップの情報を表示する	41
クリップにメタデータを付加する	43
メタデータアップロードファイルの準備	43
メタデータを付加するための設定	43

メタデータ設定値の読み込み	46
メタデータを付加したクリップの記録	47
P2 カードをフォーマットする	48
カードの状態を確認する	49
表示する情報を指定する	49
カードの状態に関する情報を表示する	50

プレイリストの利用

プレイリスト機能について	51
プレイリスト画面各部の名称とはたらき	52
ストップモードの設定	53
プレイリストの操作で使用するボタンとその組み合わせ	54
プレイリストを作成する	56
新規プレイリストの準備	56
選択クリップのイベント登録	57
映像からのイベント登録	58
既存のプレイリストファイルの追加取り込み	59
プレイリストを保存する	60
プレイリストを編集する	61
既存のプレイリストファイルを開く	61
イベントの IN 点、OUT 点の修正	62
イベントのトリミング修正	62
イベントの順序の変更	63
イベントの削除	64
イベントの上書き保存	65
オーディオスプリットを設定する	66
映像からの登録	67
スプリット点の追加登録（登録点修正）	68
オーディオスプリット点のトリミング	68
オーディオスプリット設定の解除	69
オーディオを追加記録する（簡易ボイスオーバー）	70
オーディオ追加記録の準備	70
静止画状態からの追加記録	71
再生状態からの追加記録	71
追加記録したオーディオのイベント表示について	72
オーディオの記録位置のトリミング修正	72
イベントの情報を表示する	73
イベントのプロパティの表示	73
イベントのレビュー	74
プレイリストを再生する	75
再生時のタイムコード（TC）の設定	75
プレイリストの再生	76
プレイリストから新しいクリップを作成する（エディットコピー）	77

USB 端子や SD メモリーカードを 利用する

USB 端子を利用する	78
USB ホストとして利用する	78
USB デバイスとして利用する	78
本機にパーソナルコンピューターを接続して利用する	79

USB デバイスモードへの切り替え	79
本機にハードディスクを接続して利用する	80
使用できるハードディスク	80
USB ホストモードへの切り替え	81
ハードディスクのフォーマット	81
カード単位でのハードディスクへのエクスポート	82
ハードディスクの情報の表示（エクスプローラー画面）	83
ハードディスクのクリップのサムネイル表示	84
ハードディスクから P2 カードへのインポート	85
SD メモリーカードを利用する	86
SD メモリーカードの各種情報を表示する	86
SD メモリーカードをフォーマットする	86

セットアップ

本機の設定について	87
設定の変更	88
変更の操作	88
ロックによるユーザー設定ファイルの保護	89
工場出荷時の設定（初期設定）に戻すには	89
各項目の設定内容	90
SYSTEM	90
BASIC	92
OPERATION	95
INTERFACE	97
TIME CODE	98
VIDEO	100
AUDIO	104
DIF	106
MENU	107
タイムコード／ユーザーズビット／CTL について	108
スーパーインポーズ画面	111
音声 V フェード機能	112
音声の記録チャンネルの選択	113
音声の記録チャンネル	113

未永くお使いいただくために

結露	114
お手入れについて	114
エラーメッセージ	115
ワーニング情報の表示	116
アワーメーター情報の表示	120
本機搭載ファームウェアのアップデート	121



保証とアフターサービス（よくお読みください）	122
-------------------------------------	------------

定格	123
-----------------	------------




メニュー索引	125
---------------------	------------

安全上のご注意






お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

 <p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む</p> <p>差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>	 <p>電源プラグのほこりなどは、定期的にとる</p> <p>プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。 	 <p>内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない</p> <p>ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。
 <p>指定のカバー以外は外さない</p> <p>分解禁止</p> <p>火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。 	 <p>電源コード・プラグが破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)</p> <p>傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 	

次ページへつづく

⚠ 警告(つづき)

 <p>不安定な場所に置かない</p> <p>落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p>	 <p>縦置きする場合は、転倒に十分注意する</p> <p>振動などで倒れると、けがの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 縦置きは運搬時、手の届く範囲での一時的な置き方ですので、そのまま放置したり、保管しないで下さい。 	 <p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する</p> <p>本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。</p>
 <p>分解や改造をしない</p> <p>分解禁止</p> <p>内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。 	 <p>コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100V～240V以外での使用はしない</p> <p>たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p>	 <p>雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない</p> <p>接触禁止</p> <p>感電の原因になります。</p>
 <p>水場で使用しない</p> <p>水場使用禁止</p> <p>火災や感電の原因になります。</p>	 <p>濡れた手で電源プラグやコネクタに触れない</p> <p>ぬれ手禁止</p> <p>感電の原因になります。</p>	 <p>SDメモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かない</p> <p>誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
 <p>異常があったときは、電源プラグを抜く</p> <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき ● 落下などで外装ケースが破損したとき ● 煙や異臭、異音などが出たとき <p>そのまま使うと、火災・感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。 ● 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。 ● 販売店に相談してください。 		

⚠ 注意



電源プラグ
を抜く

長期間使用しないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

火災や感電の原因になります。



**油煙や湯気の当たる
ところ、湿気やほこ
りの多いところに置
かない**

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。



**直射日光の当たる場所
や異常に温度が高くな
る場所に置かない**

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。



**1年に1度ぐらいは、
販売店に内部の掃除
の相談をする**

本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。



**電源プラグやコネク
ターを抜くときは、
コードを引っ張らない**

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

●必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。



**コードを接続した状
態で移動しない**

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。



**本機の上に重いもの
を置いたり、乗った
りしない**

- 落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。
- 重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。



本機の放熱を妨げない

●押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください

●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください

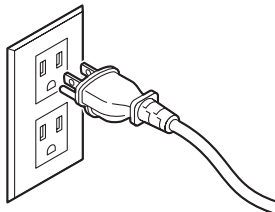
●通風孔やファンは、ふさがないようにしてください

●横倒し、逆さまにしないでください

内部に熱がこもり、火災の原因になります。

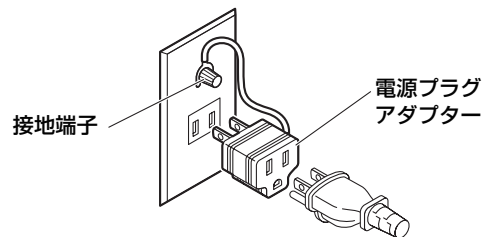
電源プラグの接地に関するご注意

- 本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付電源コードを準備してください。
本機に付属している電源プラグアダプターを、さらに変換して使用しないでください。

- 2ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付け、必ず、接地端子にアース線を接続してください。アース線を接続するときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に、行ってください。また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。



- 本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

定格の記載位置

定格銘板は底面にあります。

付属品

電源コード(3芯)	1
電源プラグアダプター	1
CD-ROM	1

■ 本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL)ならびにGNU Lesser General Public License (LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

GPL / LGPLの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。「LDOC」という名前のフォルダを参照してください(原文(英文)で記載しております)。

また、ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には、MIT-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。MITの内容については、本機に付属したCD-ROMに収められています。「LDOC」という名前のフォルダを参照してください。(原文(英文)で記載しております。)

■ 録画内容の補償はできません

本機およびP2カードの使用上、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

■ メモリーカードを破棄／譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って、メモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ 設置場所について

本機を直射日光にさらされた場所に置かないでください。キャビネットの劣化や、液晶画面の損傷の恐れがあります。

■ 液晶について

- ・ 液晶部は99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯(赤、青、緑)するものがあります。これは故障ではありません。
- ・ 表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。
- ・ 液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- ・ 長時間静止画像を映したままにしておくと、一時的な残像(焼き付き)が発生する場合があります。
- ・ 液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。

※ SDロゴは商標です。

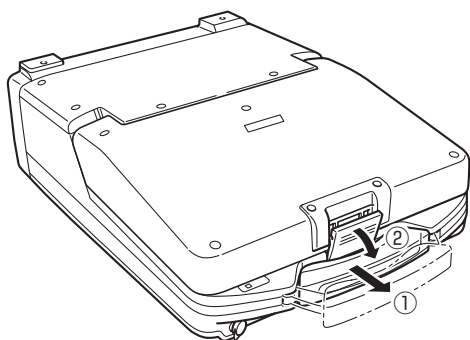
トップパネルの開閉

◆NOTE:

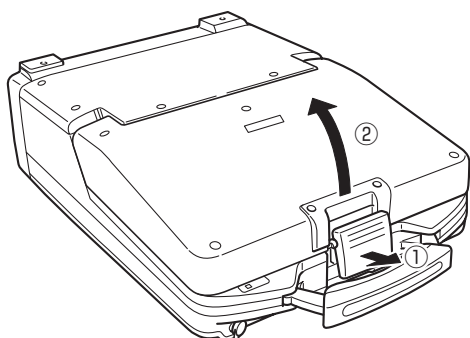
- トップパネルの開閉時に、指を挟まないように注意してください。
- トップパネルを閉じるときは必ずカードロックがONの位置であることを確認してください。ONにしない状態で無理に閉じると故障の原因となります。

トップパネルの開き方

- 1 取っ手を引き出した状態でレバーの上部を引き、ロックを解除します。

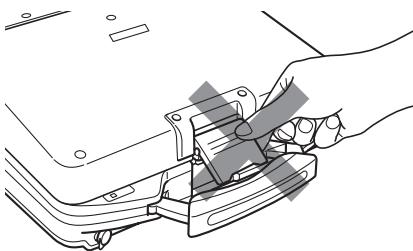


- 2 レバーの下部を外し、トップパネルを持ち上げて開きます。



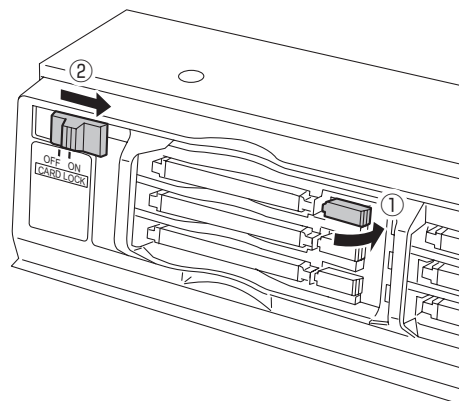
◆NOTE:

- レバーに無理な力をかけないでください。

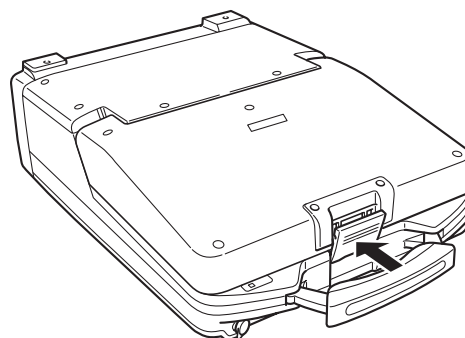


トップパネルの閉じ方

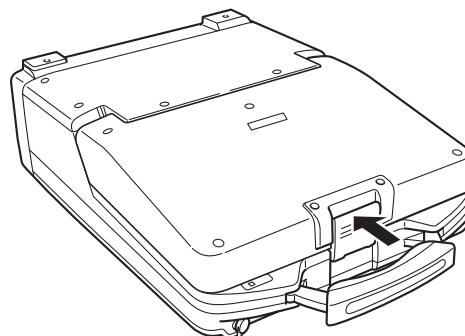
- 1 EJECTボタンが倒れているか確認します。倒れていなければ、EJECTボタンを右に倒して、カードロックをONにしてください。



- 2 トップパネルを閉じ、レバーの下部を引っかけます。



- 3 レバーの下部を引っかけたまま、レバーの上部を押し込み、ロックします。



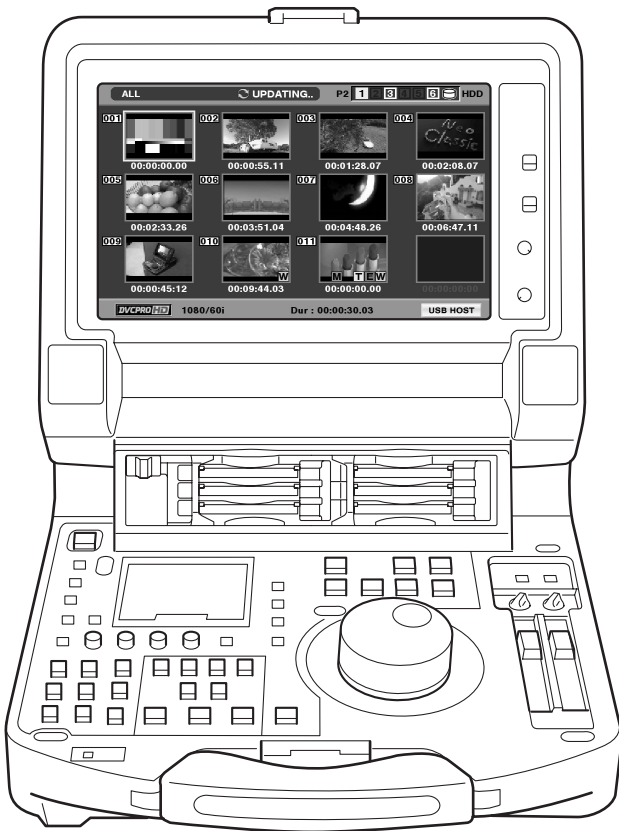
はじめに

特長

AJ-HPM100は、6つのP2カード(※)スロット、9型カラー液晶モニターを搭載したメモリーカードポータブルレコーダー/プレーヤーです。6枚のP2カード(※)にDVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DVの圧縮フォーマットで映像・音声などの記録・再生を行うことができ、従来の編集用VTRのプレーヤー側としても使用できます。

AJ-HPM100は、次のような特長があります。

※「P2」ロゴがついたメモリーカード(別売のAJ-P2C008HGなど)を、以後「P2カード」と表記します。



PLAYLIST							P2	1	3	6	HDD
NO.	TOTAL	TO IN	TO OUT	DURATION	A SPLIT	TRACK	SLOT				
1	00:00:27.07	01:00:19.24	01:00:47.00	00:00:27.07	---	AV	1				
2	00:00:55.24	01:00:18.14	01:00:47.00	00:00:28.17	---	AV	1				
+		01:00:27.21	01:00:39.18	00:00:11.28	---	CH1&2 FADE	1				
3	00:01:22.10	01:00:20.15	01:00:47.00	00:00:26.16	---	AV	1				
4	00:01:52.13	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30.03	---	AV	3				
+		00:00:21.28	01:00:58.04	00:00:19.09	---	CH1&2 CUT	1				
5	00:02:17.18	01:00:47.01	01:01:12.07	00:00:25.05	---	AV	1				
6	00:02:57.16	00:01:28.07	00:02:08.06	00:00:39.28	---	AV	3				
TIMELINE TOTAL							00:02:57.16				
VIDEO	1	2	3	4	5	6					
AUDIO	1	2	3	4	5	6					
EXTRA CH1&2											
							REMAIN(EXTRA) : 133 MIN				
DVCPRO HD 1080/60i							1: P002R7		START TC : 00:00:00.00		



■ P2カード対応カメラとの連携

P2カメラレコーダーで収録したP2カードを、PCカードスロットへは直接マウント、そのまま操作できます。

P2カードはプロユースのA/Vメディアとしてパナソニックが開発した半導体メモリーカードです。

〈P2カードについて〉

記録時間(使用枚数:1枚)			
カード品番	DVCPRO / DV (オーディオ2CH)	DVCPRO50 (オーディオ4CH)	DVCPRO HD (オーディオ8CH)
AJ-P2C004HG	約16分	約8分	約4分
AJ-P2C008HG	約32分	約16分	約8分

※ カード品番と容量は2006年11月時点のものです。大容量化などにより変更する場合があります。

●AJ-P2C002SG(2GB)のカードは使用できません。

●P2カードおよびSDメモリーカードの最新情報について
取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語: <http://panasonic.biz/sav/>

英語: <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

■ 9インチワイド液晶モニター

HDの映像を表示するため、9インチのワイド液晶を採用しています。

■ サムネールによりクリップを視覚的に管理

フロントパネルの9型カラー液晶モニターに、P2カードに収録されたクリップの代表画像(サムネール)を表示。サムネール画面には、指定したクリップだけを表示できます。

サムネールの一覧から選択したクリップをすぐに再生したり、ショットマーカの追加、クリップのファイル情報の確認や追加などのクリップの管理が行えます。

〈クリップについて〉

クリップとは、画像、音声、メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことで、通常は、記録を開始して停止するまでの1回の記録によって生成される1ショットが1クリップになります。ただし、複数のP2カードにまたがったショットは、各カードの映像が独立したクリップとして扱われます。また、記録を開始したときの映像がそのクリップの代表映像としてサムネール画面に表示されます。

■ プレイリスト作成・再生機能

本機単体で6枚のP2カードに記録された映像・音声の再生したい部分だけを選択し、任意の順番に再生することができます。

●簡易オーディオスプリット編集機能とオーディオの追加記録・再生機能搭載

ビデオと音声のIN点をずらして(オーディオIN点スプリット)再生を行ったり、音声の1または2チャンネルの任意の区間を別途作成した音声データと付け替えて(オーディオ追加記録機能)再生することができます。

●タイムコード/編集用プレーヤー機能を搭載

本機は、TCG(タイムコードジェネレーター) / TCR(タイムコードリーダー)を内蔵しています。内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力または入力信号のVITCをタイムコードとして記録できます。

また、RS-422Aを用いた編集システムのプレーヤーとしても使用できます。

●HD(ネイティブクリップは再生のみ) / SD、NTSC / PALに対応
本機は、HD / SD、NTSC / PALの信号を記録・再生できます。

アナログビデオ入出力、SDI入出力、IEEE1394入出力が行えます。

※ネイティブクリップとは…

AG-HVX200で有効フレームのみを記録したクリップのことです。
(詳細はAG-HVX200の取扱説明書を参照)

24PN,30PN(59.94Hz),25PN(50Hz)と表示され、本機では記録できません。再生は60P(50P)変換されて再生されます。

●8チャンネルの高音質デジタルオーディオ

8チャンネルのPCMオーディオを持ち、各チャンネルは独立(HD SDIは8CH独立/アナログIFは4CH独立)して記録ができるほか、チャンネルミックスが可能です。

●アップ/ダウン/クロスコンバーター内蔵

標準でアップ/ダウン/クロスコンバート再生機能を内蔵しています。

■ ダイアルジョグ/ダイアルシャトル

ジョグ操作は、-1.0~+1.0倍速でのスロー再生が可能です。

シャトル操作は、正・逆方向に最大100倍速まで再生可能で、10倍速以下までは、音声付き再生も可能です。

■ メニュー方式のセットアップ

セットアップの各種設定は、本機の9型カラー液晶モニター、モニターTV表示のセットアップメニューを見ながら、確実に行えます。

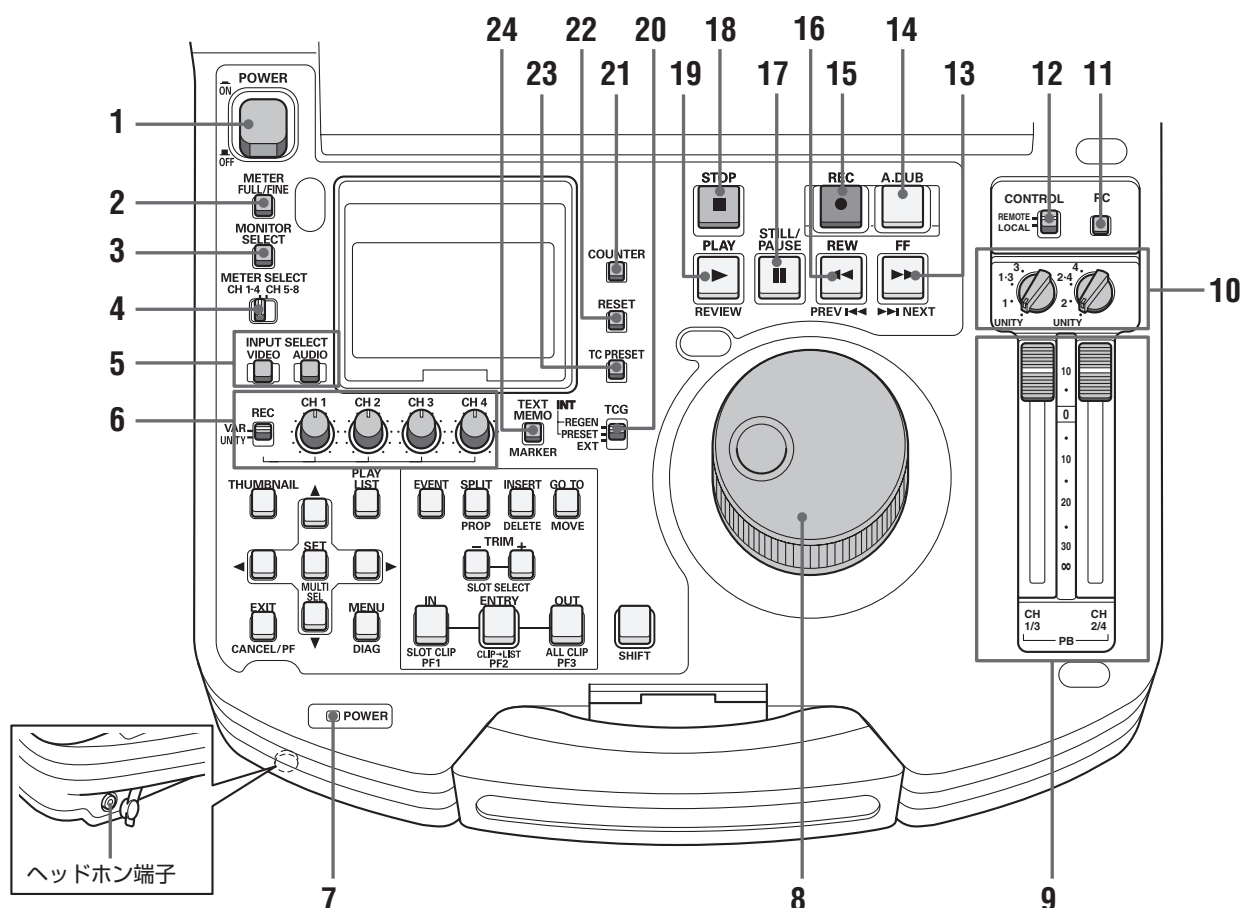
■ HDDの接続で大容量にも対応

USB2.0インターフェースを持つHDDと接続して、カードのデータをHDDに保存できます。また、HDDに保存したデータをカードに書き戻すこともできます。

さらに、パーソナルコンピュータとUSB2.0で接続することにより、本機のスロットに挿入されたP2カードをマストレージとして扱うことが可能。そのままノンリニア編集できます。

各部の名称と機能

オーディオ・ビデオ制御部



1. POWERスイッチ

電源のON / OFFを行うスイッチです。

2. METER(FULL / FINE)切り替えボタン

オーディオレベルメーターのスケール表示(目盛)を切り替えるボタンです。

FULL モード: 標準目盛りになります。
($-\infty \sim 0$ dBの範囲)

FINE モード: 0.5 dB毎のスケールになります。
「 \blacksquare 」の位置が基準レベル
(セットアップメニューで設定)となり、「 \blacksquare 」が0.5dBの目盛りになります。

3. AUDIO MONITOR SELECTボタン

MONITOR L / R端子およびヘッドホン端子に出力する音声信号を切り替えるボタンです。ボタンを押すたびに、MONITOR L / R端子およびヘッドホン端子に出力する信号が次のように切り替わります。

METER SELECTスイッチ [CH1 / 2] → [CH3 / 4] →
チがCH1-4のとき: [CH1 / 1] → [CH2 / 2] →
[CH3 / 3] → [CH4 / 4] →
[CH1+2 / 1+2] →
[CH3+4 / 3+4]

METER SELECTスイッチ [CH5 / 6] → [CH7 / 8] →
チがCH5-8のとき: [CH5 / 5] → [CH6 / 6] →
(DDCPROHD 時のみ選 [CH7 / 7] → [CH8 / 8] →
択可能) [CH5+6 / 5+6] →
[CH7+8 / 7+8]

どの信号を選択しているかは、オーディオレベルメーター表示部のL / Rに表示されます。

4. METER SELECTスイッチ

オーディオメーターおよびモニターのCH1-4 / CH5-8のいずれを選択するかを切り替えるスイッチです。

5. INPUT SELECTボタン

ビデオとオーディオの入力信号を切り替えるボタンです。ビデオ入力信号は、セットアップメニューNo.601 (VIDEO INT SG)で選択した、内部信号に切り替えることもできます。

VIDEO: VIDEOボタンを押すたびに、入力ビデオ信号が、[CMPST]→[SDI]→[1394]→[SG]の順に切り替わります。SGのときの信号は、セットアップメニューNo.601 (VIDEO INT SG)で選択された内部信号に切り替わります。

AUDIO: AUDIOボタンを押すたびに、入力オーディオ信号が、[ANALOG]→[SDI]→[SG]の順に切り替わります。VIDEOが1394のときは、AUDIOも強制的に1394選択になります。

6. AUDIO REC VOL SEL スイッチ

UNITY / VARスイッチ

UNITY: オーディオボリュームの位置に関係なく、固定されたレベルでオーディオ信号を記録します。

VAR: オーディオボリュームで調整されたレベルでオーディオ信号を記録します。

オーディオボリューム

オーディオ信号(CH1 / CH2 / CH3 / CH4)の記録レベルが調整できます。ただし1394入力時は、記録レベルは調整できません。

7. POWERインジケーター

電源をONにすると緑色に点灯します。

8. サーチダイヤル

映像の確認、検索のためのダイヤルです。ダイヤルは、押すたびに SHTL(シャトル)モードと JOG(ジョグ)モードが交互に切り替わります。電源を入れた直後は、一度ダイヤルを STILL の位置に戻さないと動作しません。

9. オーディオ再生レベル調整ボリューム

オーディオ信号(UNITY/VAR チャンネル選択スイッチで選択したチャンネル)の再生レベルが調整できます。ただし1394出力の再生レベルは調整できません。CH5～8は、常に固定されたレベルで再生されます。

10. UNITY / VARチャンネル選択スイッチ

UNITY: オーディオボリュームの位置に関係なく、固定されたレベルでオーディオ信号を再生します。

1(2) : オーディオCH1(2)をオーディオボリュームで調整されたレベルでCH1(2)へ、固定されたレベルでCH3(4)へ再生出力します。

1+3 (2+4) : オーディオ CH1(2)と CH3(4)をオーディオボリュームで調整されたレベルでCH1(2)とCH3(4)へ再生出力します。

3(4) : オーディオCH3(4)をオーディオボリュームで調整されたレベルでCH3(4)へ、固定されたレベルでCH1(2)へ再生出力します。

11. PCボタン

ハードディスクドライブを接続するためのUSBホストモード、パーソナルコンピューターと接続するためのUSB デバイスモードに切り替えるボタンです。このボタンを押すと表示パネルにモード選択画面が表示されますので、モードを選択して切り替えます。
→「USB端子を利用する」を参照。

12. CONTROLスイッチ

9ピンのREMOTEを使って、外部から本機をコントロールするモードに切り替えるスイッチです。

13. FF / NEXTボタン

このボタンを押すと、早送り再生になります。速度は、セットアップメニューNo.102(FF.REW MAX)で選択できます。STILL中にSHIFTボタンを押しながらFFボタンを押すと、次のクリップの頭出しを行います。GUI表示(サムネール表示・プレイリスト表示)中にSHIFTボタンを押しながらFFボタンを押すと、最後のサムネールあるいはイベントに移動します。

14. A.DUBボタン

このボタンを押すと、プレイリストモードでオーディオの追加記録ができます。
→「静止画状態からの追加記録」を参照。

15.RECボタン

このボタンとPLAYボタンを同時に押すと、記録が始まります。再生中にこのボタンを押すと、EEモードの画像と音声をモニターで確認できます。(IEEE1394入力時はEEモードになりません。)STOPボタンを押すと、元の画像・音声に戻ります。

16.REW / PREVボタン

このボタンを押すと早戻し再生になります。速度は、セットアップメニューNo.102(FF.REW MAX)で選択できます。

PBモード中にSHIFTボタンを押しながらREWボタンを押すと、現在のクリップまたは前のクリップの頭出しを行います。

GUI表示(サムネール表示・イベントリスト表示)中にSHIFTボタンを押しながらREWボタンを押すと、先頭のサムネールあるいはイベントに移動します。

17.STILL / PAUSEボタン

このボタンを押すとサーチモードとなり、静止画を表示します。サーチモード中はサーチダイヤルを回すことでJOG(ジョグ) / SHTL(シャトル)操作ができるようになります。

18.STOPボタン

このボタンを押すとストップモードに移行し、セットアップメニューNo.122(STOP EE SEL)の設定がPBのときには静止画を、EEのときには入力映像をモニターできます。

19.PLAY / REVIEWボタン

このボタンを押すと再生が始まります。
このボタンとRECボタンを同時に押すと、記録が始まります。
プレイリスト画面表示中にSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、ポインター位置のイベントをレビュー(IN点3秒前からOUT点1秒後までを再生)することができます。

20.TCGスイッチ

INT REGEN: P2カードから読んだタイムコードに内蔵タイムコードジェネレーターを同期させます。TC / UBのどれをREGENにするかはセットアップメニューNo.505(TCG REGEN)で選択します。

INT PRESET: 本機内蔵のタイムコードを使用します。設定内容は操作パネルまたはリモートコントロールでプリセットできます。
→「タイムコード／ユーザズビット／CTLについて」を参照。

EXT: タイムコード入力端子または、映像信号のVITC、SLTC、SVITCおよびIEEE1394デジタル入力信号から入力する外部タイムコードを使用します。選択はセットアップメニューNo.507(EXT TC SEL)で設定します。

21.COUNTERボタン

表示パネルのカウンター表示を切り替えるボタンです。このボタンを押すたびに[CTL(先頭からの相対位置)] → [TC(読み出したタイムコード)] → [UB(読み出したタイムコードのユーザズビット)]と切り替わります。

22.RESETボタン

表示パネルのカウンター表示がCTLのとき、このボタンを押すとカウンター表示が[0:00:00:00]になります。表示パネルのカウンター表示がTC(読み出したタイムコード)またはUB(読み出したタイムコードのユーザズビット)のとき、TC PRESETボタンを押しながらこのボタンを押すと、ジェネレーターをリセットできます。

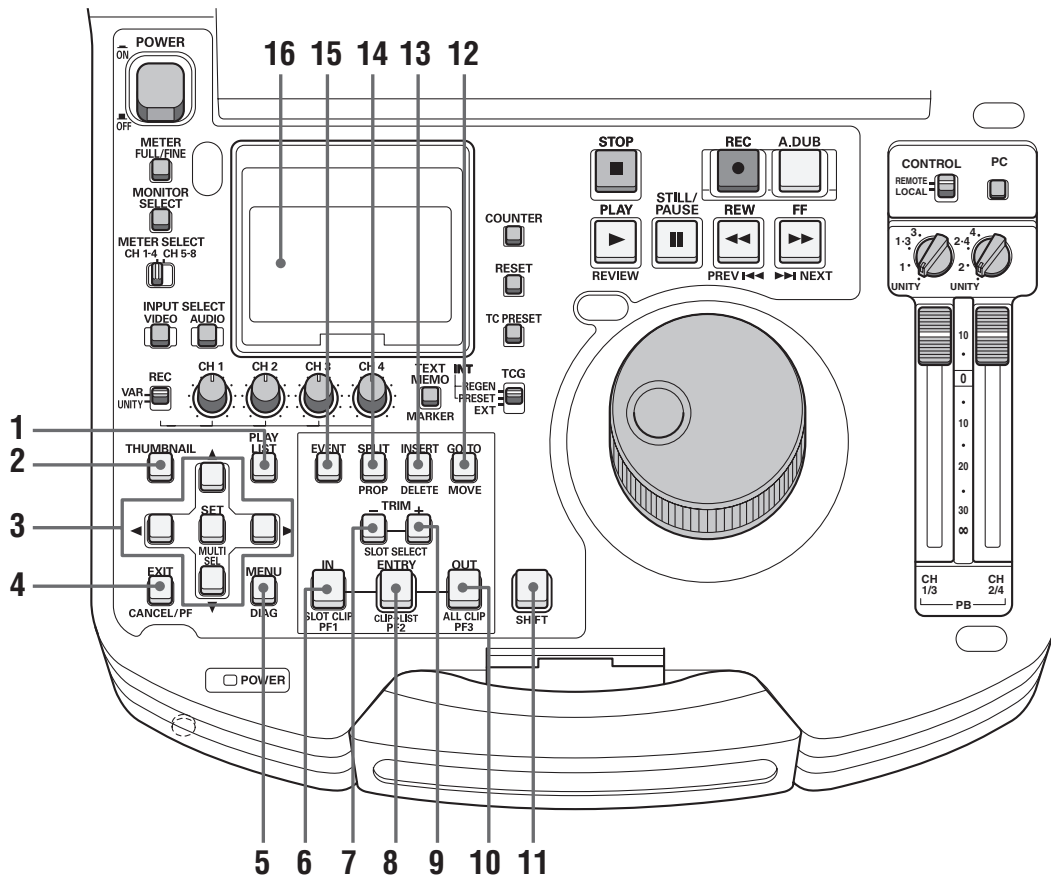
23.TC PRESETボタン

TC(読み出したタイムコード)やUB(読み出したタイムコードのユーザズビット)の値を設定するボタンです。設定するときは、まずこのボタンを押して、表示が点滅している桁を変更します。ただし、サムネールモード、プレイリストモード、USBホストモードでは動作しません。

24.TEXT MEMO / MARKERボタン

TEXT MEMO: 記録・再生中にこのボタンを押すと、その位置にテキストメモが付加されます。サムネール画面を表示中に、このボタンを押すと、クリップの先頭の位置にテキストメモが付加されます。

MARKER: サムネール画面を表示中に、SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、ポインター位置にあるクリップのマーカのON / OFFを切り替えることができます。
→「テキストメモを挿入する」
「ショットマークを表示する」を参照。



1. PLAY LISTボタン

プレイリストを作成するときや作成したプレイリストを再生するときには押します。このボタンを押すと、PLAY LISTボタンが点灯し、表示パネルやモニター出力映像にプレイリスト画面が表示されます。再度押すと、プレイリスト画面から抜け出して元に戻り、PLAY LISTボタンが消灯します。

プレイリスト画面から再生を行って停止したときに、プレイリスト画面へ戻るか静止画を表示したままにするかをプレイリストメニューで設定できます。

2. THUMBNAILボタン

このボタンを押すと、THUMBNAILボタンが点灯し表示パネルやモニター出力映像にサムネール画面が表示されます。再度押すと、サムネール画面から抜け出し元に戻り、THUMBNAILボタンが消灯します。

3. 十字カーソルボタン

周辺の4つのボタンがカーソルボタンで、中心のボタンがSETボタンです。メニュー、サムネール、イベントなどのカーソルの移動や選択などに使用します。

4. EXIT / CANCEL / PFボタン

PLAY LIST / THUMBNAILボタン点灯中:

このボタンを押すことで、プロパティからサムネール表示へ戻ることができます。また、メニューの「EXIT」で、SETボタンを押すことと同じ動作をします。SHIFT ボタンとこのボタンを同時に押すと、操作をキャンセル(たとえば選択状態を解除)した状態になります。

PLAY LIST / THUMBNAILボタン消灯中:

このボタンを押すと、ボタン6・8・10はそれぞれPF1~PF3として動作します。他のボタンを押す前に再度このボタンを押すと、このモードはキャンセルされます。

5. MENU / DIAGボタン

MENUボタン

このボタンを押すと、MENUが表示されます。再度押すと、元に戻ります。

DIAG(SHIFT+MENU)ボタン

このボタンを押すと、本機の情報が表示されます。再度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。ただし、サムネール、プレイリスト表示中は動作しません。

本機の情報には「HOURS METER」情報、「WARNING」情報、「UMID」情報、「DIF」情報があります。これらの情報は、SETボタンを押して表示を切り替えます。

「WARNING」画面:	ワーニングの内容が表示されます。
「HOURS METER」画面:	本機のシリアルNo.、通電時間、電源の入切回数などが表示されます。
「UMID」画面:	現在の映像のUMID情報が表示されます。
「DIF」画面:	現在のDIF(IEEE1394インターフェース)の各種情報が表示されます。

6. IN / SLOT CLIP / PF1ボタン

プレイリストを作成するときに使用します。イベント登録モード時(PLAY LISTボタンとEVENTボタンが点灯状態のとき)、ENTRYボタンとこのボタンを同時に押すと、イベントのIN点が設定できます。また、RESETボタンを押しながらこのボタンを押すと、選択しているイベントのIN点を削除できます。

→「プレイリストの利用」を参照。

- サムネール表示中にSHIFTボタンと同時にこのボタンを押す毎に、クリップの表示状態をSELECTEDや特定のSLOTのみの表示に切り替えることができます。
- THUMBNAILおよびPLAY LISTボタンが消灯しているとき、ENTRYボタンと同時にこのボタンを押すと、キューアップ点を登録できます。
- THUMBNAILおよびPLAY LISTボタンが消灯しているとき、PFボタンを押した後にこのボタンを押すと、PF1ボタンに登録されたセットアップメニューの操作が行えます。

7. TRIM- / SLOT SELECT-ボタン

プレイリストモードでIN / OUT / SPLITボタンを押しながらこのボタンを押すと、IN点、OUT点、SPLIT点の位置を1フレーム前へずらすことができます。

PLAY LISTボタンが消灯状態のときにSHIFTボタンと同時に押すと、記録スロット位置を一つ前のスロットに移動することができます。第1スロットのときは第6スロットへ移動します。

8. ENTRY / CLIP→LIST / PF2ボタン

プレイリストを作成するときに使用します。

イベント登録モード時(PLAY LISTおよびEVENTボタンが点灯状態のとき)に、IN / OUT / SPLITボタンのいずれかはこのボタンを同時に押すと、イベントのIN点、OUT点、SPLIT点を設定できます。

- プレイリストモード時にSHIFTボタンと同時にこのボタンを押すと、サムネール表示中に選択したクリップをプレイリストに追加できます。
- THUMBNAILおよびPLAY LISTボタンが消灯しているとき、PFボタンを押した後にこのボタンを押すと、PF2ボタンに登録されたセットアップメニューの操作が行えます。

9. TRIM+ / SLOT SELECT+ボタン

プレイリストモードでIN / OUT / SPLITボタンを押しながらこのボタンを押すと、IN点、OUT点、SPLIT点の位置を1フレーム後ろへずらすことができます。

PLAY LISTボタンが消灯状態のときにSHIFTボタンと同時に押すと、記録スロット位置を一つ後ろのスロットに移動することができます。第6スロットのときは第1スロットへ移動します。

10. OUT / ALL CLIP / PF3ボタン

プレイリストを作成するときに使用します。イベント登録モード時(PLAY LISTボタンとENTRYボタンが点灯状態のとき)、ENTRYボタンとこのボタンを同時に押すと、イベントのOUT点が設定できます。

RESETボタンを押しながらこのボタンを押すと、選択しているイベントのOUT点を削除できます。

→「プレイリストの利用」を参照。

- THUMBNAILおよびPLAY LISTボタンが消灯しているときは、ENTRYボタンと同時にこのボタンを押してキューアップ点として登録することができます。
- サムネール表示中にSHIFTボタンと同時にこのボタンを押すと、クリップの表示状態をALLへ戻すことができます。
- THUMBNAILおよびPLAY LISTボタンが消灯しているとき、PFボタンを押した後にこのボタンを押すと、PF3ボタンに登録されたセットアップメニューの操作が行えます。

11. SHIFTボタン

FF / REW / SETボタンなどと同時に押して使用します。

12.GO TO / MOVEボタン

プレイリストに登録されている各イベントのIN点、OUT点、SPLIT点を移動するときに使用します。また、THUMBNAILおよびPLAY LISTボタン消灯時にキューアップするときにも使用します。IN / OUTボタンを押しながらGO TOボタンを押すと、IN / OUT点への移動・キューアップを行います。

プレイリストモードでSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、イベントを移動できます。

→「プレイリストの利用」を参照。

13.INSERT / DELETEボタン

プレイリストのイベントとイベントの間に、新規にイベントを挿入したいときに使用します。

サムネール表示中にSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、選択したクリップを削除できます。

プレイリスト表示中にSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、選択したイベントを削除できます。

→「プレイリストの利用」を参照。

14.SPLIT / PROPボタン

プレイリストの登録モードで、ENTRY ボタンとこのボタンを同時に押すと、オーディオIN点をビデオのIN点とずらしてイベントを登録できます。

サムネール/プレイリスト表示中(メニュー表示していないとき)にSHIFT ボタンとこのボタンを同時に押すと、クリップ/イベントのプロパティを表示できます。

15.EVENTボタン

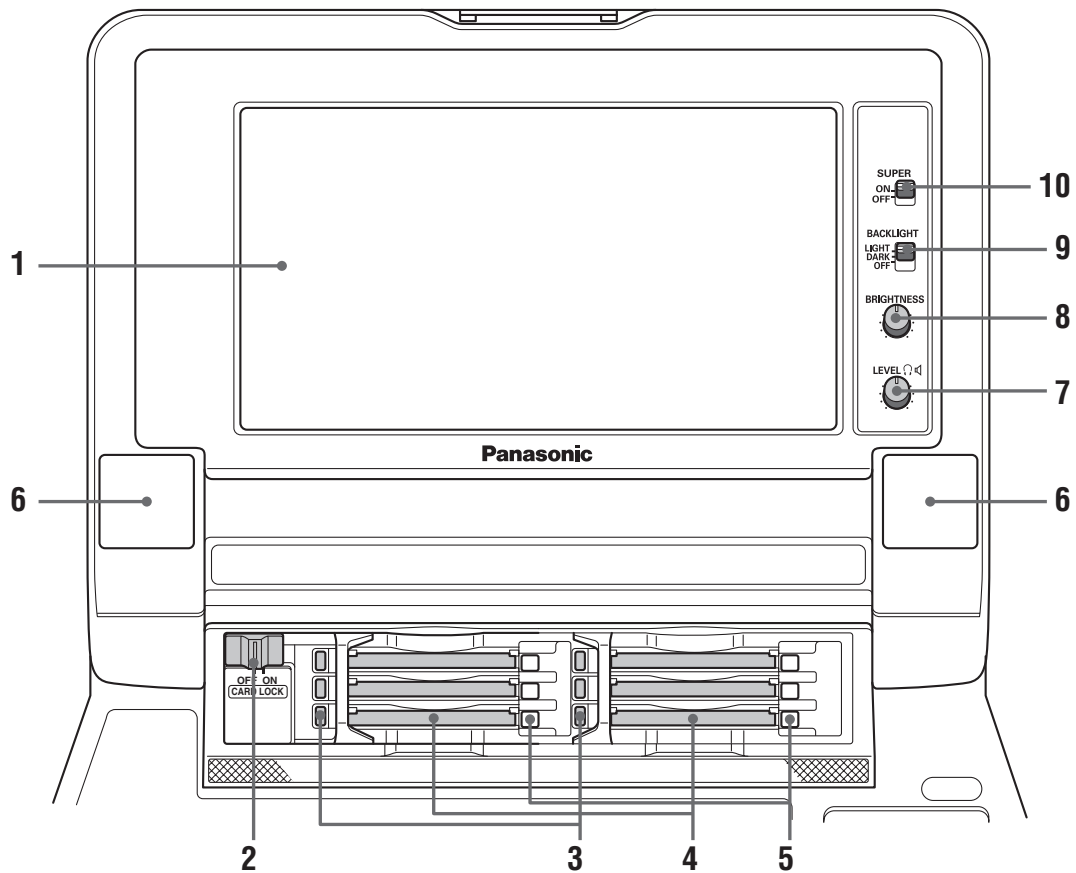
PLAY LISTボタンが点灯状態のとき、このボタンを押すとEVENTボタンが点灯します。プレイリストのイベント登録モードとなり、IN点、OUT点、SPLIT点の設定ができます。

再度押すと、イベント登録モードから抜け出して元に戻り、EVENTボタンが消灯します。

16.表示パネル

→「表示パネル」を参照。

パネル制御部とカードスロット



1. 9型液晶モニター

サムネール画面表示などにより、映像の検索・確認ができます。

2. カードロック

トップパネルを閉じるときのカード保護レバーです。ONにしてからトップパネルを閉じてください。

3. P2カードアクセスLED

P2カードの状態を示すLEDです。

→「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」を参照。

4. P2カードスロット

P2カードを装着するスロットです。

カードは、EJECT ボタンが飛び出すまでしっかり挿入します。カード挿入後は、EJECTボタンを倒しておいてください。

5. EJECTボタン

P2カードスロットに挿入したP2カードを取り出すときに使用します。ボタンを起こし、強く押します。P2カードアクセスLEDがオレンジで点滅しているときは操作しないでください。

→「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」を参照。

6. STEREOスピーカー

オーディオのモニター音を出力します。

7. LEVELボリューム

内蔵スピーカーとヘッドホンの音量を調整します。

8. BRIGHTNESSボリューム

液晶モニターの明るさを調整します。

ただし、タイムコードなどのSUPER表示の明るさを変えることはできません。

9. BACKLIGHTスイッチ

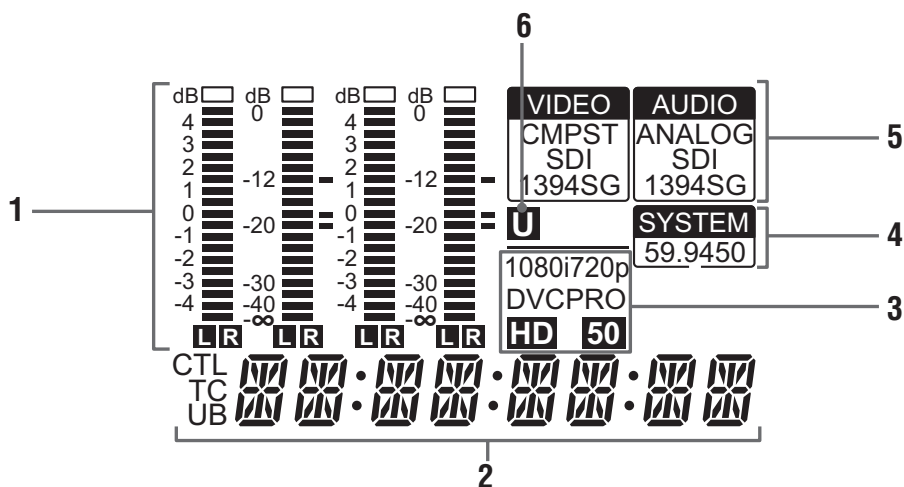
表示パネルのバックライトの明るさを切り替えるスイッチです。

LIGHT:	明るく
DARK:	暗く
OFF:	LCDを消す

10. SUPERスイッチ

スーパーの出力を次のように切り替えるスイッチです。

ON:	液晶モニターおよびモニター出力映像にタイムコードなどのスーパーを出力します。
OFF:	スーパーを出力しません。

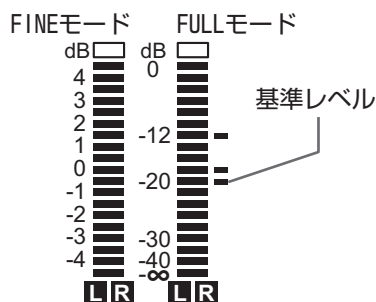


1. レベルメーター

オーディオ信号のCH1 / CH2 / CH3 / CH4の各レベルが表示されます。

オーディオ信号は、記録時およびEE選択時には入力信号のレベルが、また再生時には出力信号の各レベルが表示されます。

オーディオレベル表示は、METER切り替えボタンでFULLモードとFINEモードに切り替わります。基準レベルはセットアップメニューで変更できます。



2. カウンター表示

カウンターやタイムコードなどが表示されます。何が表示されているのかは、CTL(先頭からの相対位置) / TC(読み出したタイムコード) / UB(読み出したタイムコードのユーザズビット)で表示されます。

3. フォーマット表示

設定している記録フォーマットや、挿入しているP2カードに記録されているフォーマットが表示されます。

4. TVシステム表示部

選択しているTVシステムが表示されます。

セットアップメニューのSYSTEM設定No.25(SYSTEM FREQ)で、59.94Hzと50Hzを切り替えることができます。

59.94:	59.94Hz のシステム周波数が選択されると点灯します。
50:	50Hzのシステム周波数が選択されると点灯します。

5. INPUT SELECT表示部

VIDEOとAUDIOの入力選択状態が表示されます。アナログオーディオを除き、選択された入力信号がないときは、点滅します。

SDI入力選択時は、システムフォーマットと合っていない信号が入力されているときに点滅します。

VIDEO

CMPST:	アナログ・コンポジット・ビデオ入力信号
SDI:	シリアル・デジタル・ビデオ入力信号
1394:	IEEE1394入力信号
SG:	内部基準信号

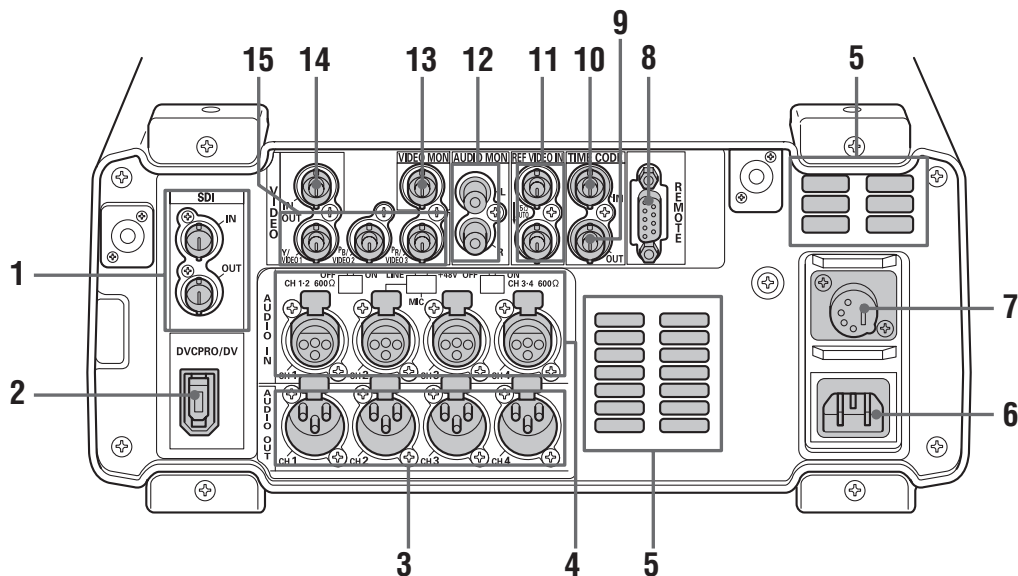
AUDIO

ANALOG:	アナログオーディオ入力信号
SDI:	シリアル・デジタル・オーディオ入力信号
1394:	IEEE1394入力信号
SG:	内部基準信号

6. U表示

EEモードのときは、入力信号にUMID情報が存在しているときに点灯します。

再生時は、UMID情報が記録されているときに点灯します。



1. SERIAL DIGITAL COMPONENT

AUDIO VIDEO IN / OUT端子

シリアル・デジタル・コンポーネント・オーディオ / ビデオ信号の入出力ができます。

◆NOTE:

- 入力するデジタル・オーディオ信号は、ビデオ入力信号に同期している必要があります。同期していないとき、オーディオ出力信号にノイズが発生します。

2. IEEE1394デジタル入出力

IEEE1394デジタルインターフェースです。IEC61883-1、IEC61883-2およびSMPTE396M規格に準拠したIEEE1394圧縮デジタル信号を入出力できます。コネクタは6ピンタイプを使用してください。バスパワーには対応していません。

3. ANALOG AUDIO OUT端子

アナログオーディオ信号を出力します。

4. ANALOG AUDIO IN端子／

インピーダンス切り替えスイッチ／ CH2入力切り替えスイッチ

アナログオーディオの入力端子です。

CH1～2およびCH3～4の入カインピーダンスの切り替えをスイッチで行うことができます。また、CH2は、LINE / MIC / 48Vの切り替えスイッチでマイクの入力が行えます。

LINE: ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号

MIC: 内部電源供給方式のマイクからの音声入力信号(本体からファントムマイク用の電源を供給しません)

+ 48V: 外部電源供給方式のマイクからの音声入力信号(本体からファントムマイク用の電源を供給します)

5. ファン

本機冷却用のファンです。通風を妨げないように設置してください。

ファンが異常停止したときは、カウンター表示部に“E-10”が表示されます。ファンが停止しても本機は動作しますが、すみやかに使用を中止してください。

6. AC INコネクター

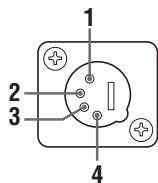
付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。

7. DC INコネクタ

DC12Vの電源を接続します。DC12V,4.3A(15A ピーク以上)の外部DC電源をご使用ください。

電圧が約10.6Vまで低下したとき、本機の電源は自動的にOFFになります(メニューNo.180 BATTERY SELが「TYPE-A」や「TYPE-B」ではないとき)。その後、電源電圧が回復しても自動的に復帰しません。必ずPOWERスイッチを一度OFFにして、数秒後にONにしてください。

ピンNo.	信号内容
1	Ground
2	-
3	-
4	+ 12V



外部DC電源を使用するときは、必ず、外部DC電源の定格をご確認の上、本機に適合するものを使用してください。外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。

誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると、火災やけがの原因になります。

また、本機と接続する他機器のDC IN端子の極性を誤って接続した場合も、火災やけがの原因になります。

◆NOTE:

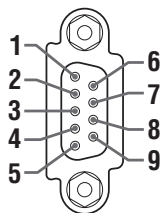
- 外部DC電源を使用するときは、必ず外部DC電源の電源スイッチをONにした後、本機のPOWERスイッチをONにしてください。逆の順序で操作を行うと、外部DC電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるなどの理由により、本機が誤作動することがあります。
- 誤って18Vを超える過大入力に接続したときは、内部の保護回路が動作して、電源が入らなくなります。正規の電圧に接続すると、使用可能になります。また、この端子に交流電源は接続しないでください。
- 外部DC電源がONの状態に接続されているときは、本機のPOWERスイッチがOFFであっても微小電流が流れますので注意してください。

8. リモートコントロール端子

本機と外部コントローラーを接続して、外部から本機を操作することができます。

RS422A REMOTE(9P)

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
2	TRANSMIT A
3	RECEIVE B
4	RECEIVE COMMON
5	-
6	TRANSMIT COMMON
7	TRANSMIT B
8	RECEIVE A
9	FRAME GROUND



9. TIME CODE OUT端子

再生時は再生タイムコードを出力します。記録時は、内蔵タイムコードジェネレーターから発生するタイムコードを出力します。

10. TIME CODE IN端子

外部タイムコードを、P2カードに記録するための端子です。

11. REF VIDEO IN端子

HD / SDリファレンス・ビデオ信号の入力端子です。

◆NOTE:

- リファレンス・ビデオ信号を入力しないとき、映像や音声の出力信号が乱れることがありますので、リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで使用することをお勧めします。
- HDリファレンスとして使用するときは、正負両極性の3値同期信号を入力してください。また、入力信号やフォーマットにあった信号を入力してください。
- SDリファレンスとして使用するときは、SMPTE170M、ITU624-4に準拠したブラックバースト信号を入力してください。
- REF VIDEO OUT端子にケーブルを接続しないとき、REF VIDEO IN端子は自動的に75Ω終端になります。ケーブルを接続すると、75Ω終端は解除されます。

12. AUDIO MONITOR OUT端子

オーディオ信号(CH1 / CH2 / CH3 / CH4)の中からMONITOR SELECTボタンで切り替えた信号を出力します。

13. ANALOG COMPOSITE MONITOR OUT端子

アナログ・コンポジット・モニタービデオ信号を出力します。

14. ANALOG COMPOSITE VIDEO IN端子

アナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力します。

15. ANALOG COMPONENT VIDEO OUT端子

出力信号がHDのときに、アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を出力します。出力信号がSDのときは、コンポジット信号が3系統出力されます。出力信号はセットアップメニュー643 OUT MODE SELにて決定します。

◆NOTE:

背面パネルに接続する各種ケーブル(ACケーブルを除く)は、すべてシールド付きケーブルをご使用ください。特に、シリアルデジタル信号端子(SDI IN / OUT端子)については、ダブルシールド付きケーブルをご使用ください。

IEEE1394デジタルインターフェースについて

■ 本機の設定

本機のメニューNo.882 DIF IN CHとNo.883 DIF OUT CHの設定が「AUTO」になっていることを確認してください。

◆NOTE:

- 入力できる信号は、メニューNo.020 SYS FORMATで選択したフォーマットに限ります。SYSTEM FORMATが480i(50Hz時は576i)のときは、メニューNo.024 REC FMT(SD)に限ります。
- 出力フォーマットは設定している記録フォーマットや挿入しているP2カードに記録されているフォーマットに従って決定されます。

※出力する音声のチャンネルはCH1 / CH2、またはCH3 / CH4を選択することができます。(DVCPRO、DV時)

■ 使用上のご注意

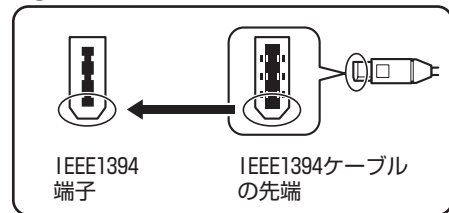
- 他の機器とは、1対1で接続してください。
- ワーニングE-92(1394 INITIAL ERROR)が表示されるときは、接続ケーブルを差しなおすか、電源を入れなおしてください。
- 接続された機器の電源ON/OFFおよび、I/Fケーブルの抜き差しなどで、AV信号が乱れることがあります。
- 入力信号の切り替え時やモード移行の際に、システムが安定するまで数秒かかることがあります。システムが安定した後に、記録動作を行ってください。
- IEEE1394 デジタルインターフェース入力選択で記録を行うとき、またはIEEE1394 デジタルインターフェースで出力される信号に対しては下記ようになります。
 - オーディオ・ビデオ制御部のオーディオ再生レベル調整ボリュームは動作しません。
 - セットアップメニューNo.680/681の設定は無視され、ブラッキングされません。
 - 通常の1倍速再生以外の再生信号を入力したとき、記録される映像や音声、あるいはEE系の画像と音声は保証されません。
- ビデオの入力選択をIEEE1394デジタルインターフェースとして選択したときは以下ようになります。
 - EEモードでのSDI、またはアナログビデオ出力信号およびタイムコード出力は不正規となります。また、その信号を記録用には使用しないでください。
- SLOW/STILL再生時には、IEEE1394デジタルインターフェース出力として未処理のビデオ、オーディオ信号が出力されます。これらのビデオ、オーディオ信号を他の機器でモニターすると、本機で再生したビデオ、オーディオ信号と異なる場合があります。本機とノンリニア編集を行う機器を接続して使用するとき、ノンリニア編集のソフトウェア以外のアプリケーションプログラムを起動させないでください。ノンリニア編集を行う機器からの出力ビデオ映像に、影響することがあります。

◆NOTE:

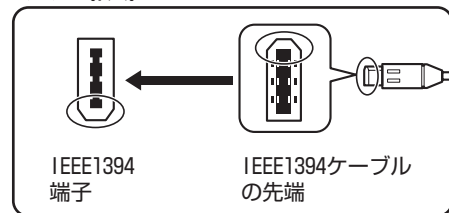
IEEE1394 ケーブル(別売)を接続するときは、以下のことを必ずお守りください。(正しく接続しないと、本機や外部機器の故障につながります。)

- 接続されたすべての機器の電源を切ってから、IEEE1394ケーブルの抜き差しを行ってください。
アース(接地)端子がある機器は、すべてアース(接地)した状態(または共通のGNDに接続した状態)でご使用ください。
- 4ピン型の端子を持つ機器と本機を接続するときは、本機の端子(6ピン型)を先に接続してください。
- IEEE1394ケーブルの端子には方向性があります。
- 6ピン型のIEEE1394端子を搭載している外部端子と接続するときは、下記のように形状を確認して接続してください。

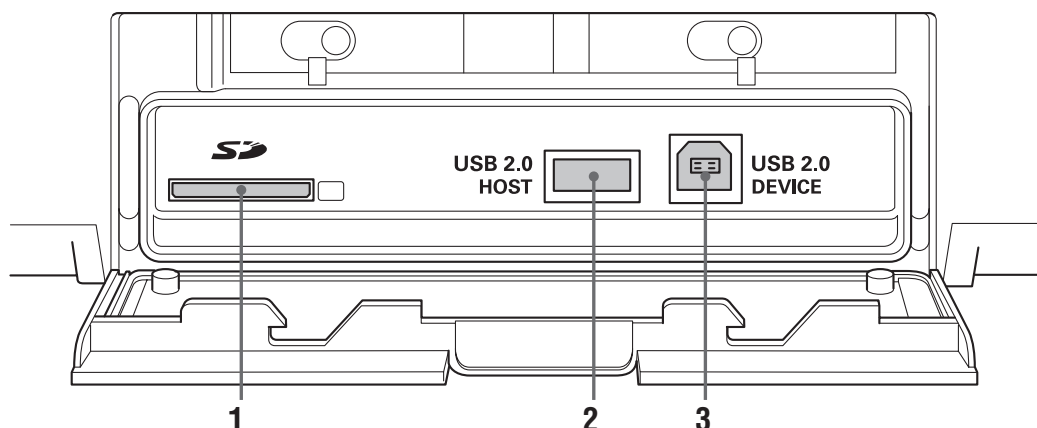
○ (正)



× (誤)



- 本機を外部機器と接続するときは、まず外部機器にIEEE1394ケーブルを接続してから、本機と接続してください。
先に本機と接続すると、静電気の発生などにより、本機の故障につながる場合があります。



1. SDメモリーカードスロット

SDメモリーカードを挿入できます。

挿入するときは、カードのラベル面を上にしてコーナークット側から入れ、ロックされるまで挿入します。取り出すときは、ランプが点灯していないことを確認し、カードを挿入した方向に押し、ロックを解除します。

◆NOTE:

〈SDメモリーカード使用上の注意〉

- SDメモリーカード以外は、挿入しないでください。
- 本機で使用するSDメモリーカードは、SD規格に準拠したものをお使いください。マルチメディアカードやSDHCメモリーカードは使用できません。また、miniSDカードを使用するときは、必ずminiSD専用のアダプターを装着してご使用ください。
※マルチメディアカード(MMC)は、Infineon Technologies AG社の登録商標です。
※SDHCカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。
- フォーマットは、必ず本機で行ってください。ただし、パーソナルコンピュータでフォーマットする必要があるときは、専用ソフトウェアを下記のサポートサイトよりダウンロードしてご使用ください。
- 本機では、以下の容量のSDメモリーカードが使用できます。
8MB、16MB、32MB、64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB
- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。
日本語：<http://panasonic.biz/sav/>
英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

2. USB2.0端子(Type A)

USBホストモードで使用します。

P2 storeやUSB2.0対応のハードディスクドライブなどと接続できます。
→「USB端子を利用する」を参照。

3. USB2.0端子(Type B)

USBデバイスモードで使用します。

パーソナルコンピュータなどと接続できます。
→「USB端子を利用する」を参照。

◆NOTE

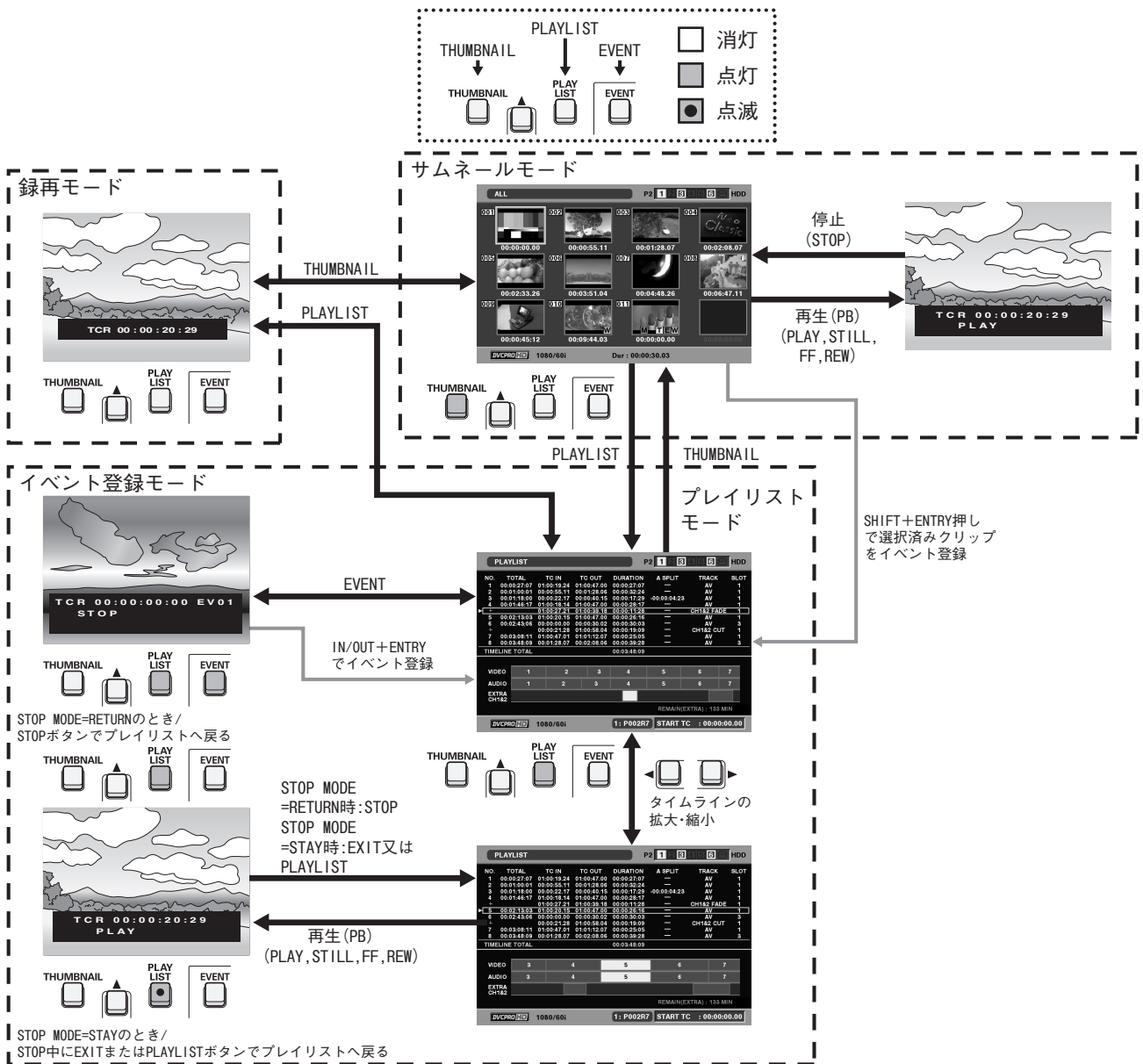
- USB2.0端子に接続するケーブルは、ダブルシールド付きのものをご使用ください。

画面の切り替えとメニューの操作について

操作モードについて

本機には、次の3種類の操作モードがあります。これらのモードは、THUMBNAIL、PLAY LISTボタンを押して切り替え、ランプの点灯状態で区別できます。

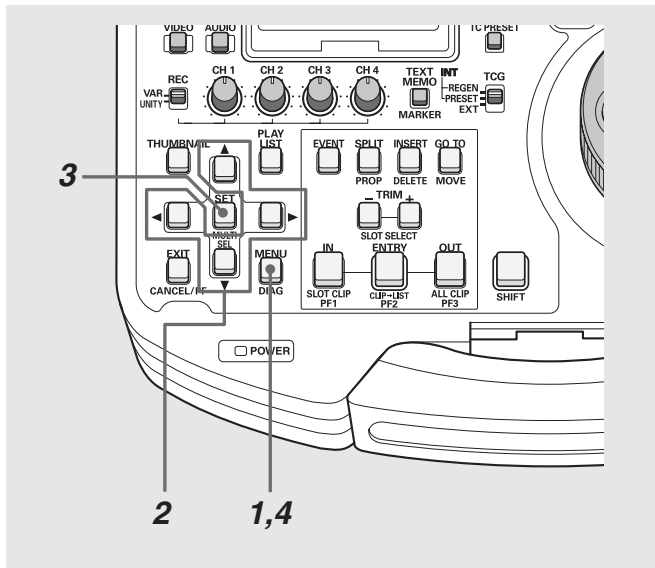
録再モード	映像を表示し、記録や再生を行います。
サムネールモード	クリップのサムネールを表示し、クリップを管理します。
プレイリストモード	プレイリストを作成します。プレイリストモードには、イベントを登録するイベント登録モード画面(PLAY LISTおよびEVENTランプが点灯)もあります。



メニューの操作

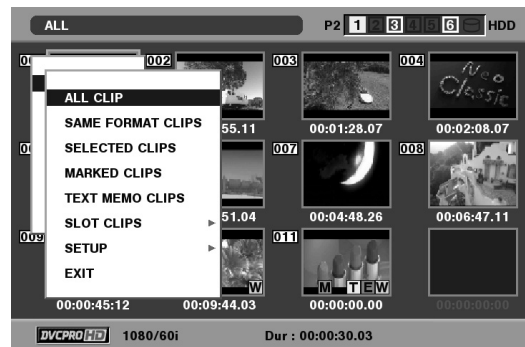
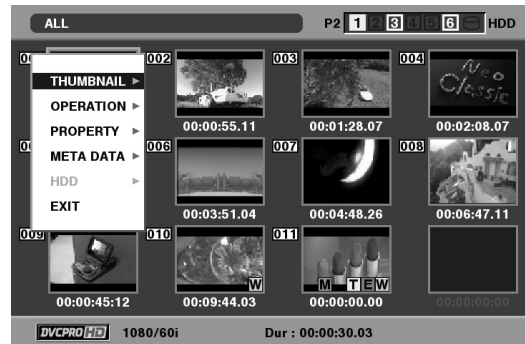
それぞれのモードでMENUボタンを押すと、メニューが表示されます。

メニューは、次のように操作します。



1 MENUボタンを押し、メニューを表示する

2 十字カーソルボタンで該当のメニュー項目にカーソルを合わせる



◆NOTE:

- ▲、▼ボタンを押すとポインターが上下します。
- ▶を押すと、下位のメニューが開きます。
- ◀またはEXITボタンで上の階層へ戻ります。

3 SETボタンを押す

◆NOTE:

- メニュー項目によっては、確認画面が表示されます。
- 十字カーソルボタンで処理を選択し、SETボタンを押します。

4 MENUボタンを押してメニューでの処理を終了する

◆NOTE:

- メニュー項目によっては、自動的に元の画面に戻ります。

記録・再生とP2カードの取り扱いについて

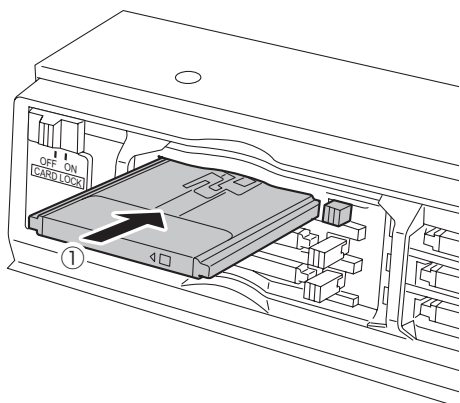
P2カードの挿入

◆NOTE:

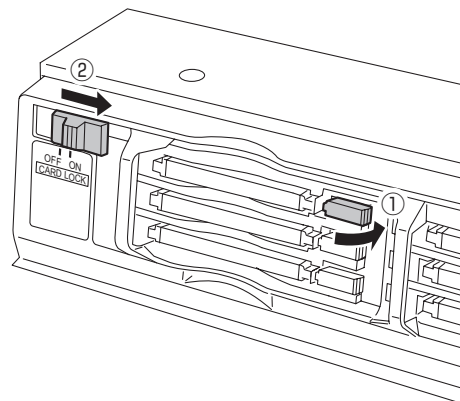
- 本機を最初に使用するときには、必ず内蔵の時計の設定を、セットアップメニューNo.069(CLOCK SET)で先に行ってください。

1 本機のPOWERスイッチをONにする

2 P2カードスロットにP2カードを挿入し、EJECTボタンが飛び出てくるまで押し入れる





3 飛び出たEJECTボタンを右に倒して、カードロックをONにする




- 本機にP2カードを挿入すると、P2カードアクセスLEDによりP2カードの状態表示を行います。
→P2カードの状態表示については「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」を参照。

記録と再生

録画モード中にストップモードでREC  ボタンとPLAY

 ボタンを同時に押すと、オレンジ色に点灯しているP2

カードに記録が始まります。STOP  ボタンを押すと記録が終了します。

PLAY  ボタンを押すと再生が始まります。

サムネール/プレイリストモードからの記録はできません。

→「各部の名称と機能」のボタンの説明を参照。

◆NOTE:

- 再生中は、他のスロットにP2カードを挿入しても、P2カードアクセスLEDは消灯のままで、P2カードは認識されません。再生終了後に認識されます。
- 記録中は、他のスロットにP2カードを挿入すると、P2カードアクセスLEDが点滅しP2カードを認識します。認識中はP2カードを取り出さないでください。

P2カードの取り出し

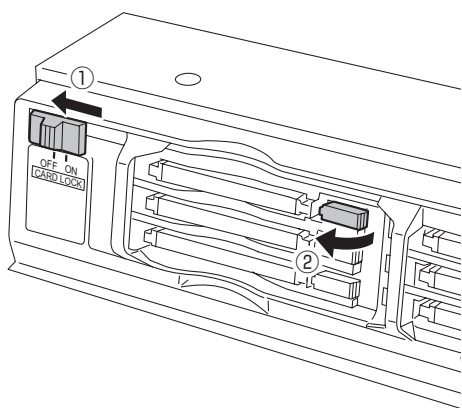
◆NOTE:

- アクセス中や、挿入後の認識中(P2カードアクセスLEDがオレンジ色に点滅時)には、P2カードを取り出さないでください。

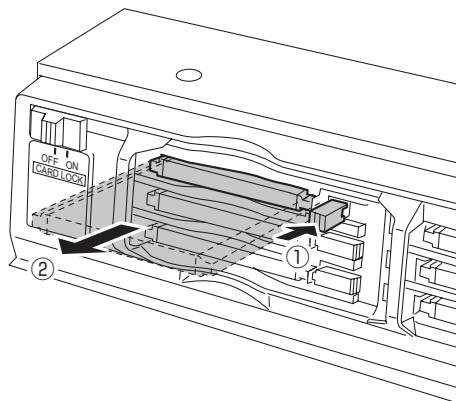
1 STOP ■ ボタンを押す

取り出したいP2カードのアクセスLEDがオレンジ色の点滅しているときは、STOP ■ ボタンを押して点滅を停止させてください。

2 カードロックをOFFにして、EJECTボタンを起こす



3 EJECTボタンを押し込んで、P2カードを取り出す

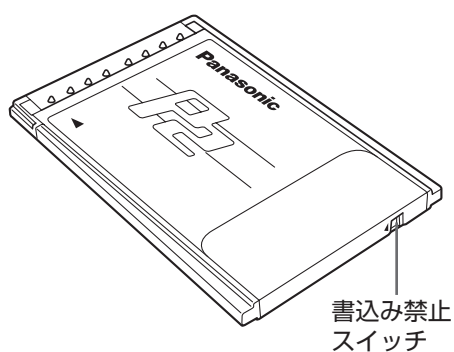


◆NOTE:

- サムネール画面表示中にP2カードを抜くと、自動的にサムネール画面から抜け出します。
- P2カードの故障の原因となりますので、アクセス中や、挿入後の認識中(P2カードアクセスLEDがオレンジ色に点滅時)に、P2カードを取り出さないでください。
万が一、アクセス中のP2カードを取り出したとき、液晶モニターには「E-30」の表示、表示パネルには「AUTO OFF」の警告表示を行います。また、P2カードアクセスLEDは、すべてオレンジ色の早い点滅となります。一度、電源を切ってください。
- アクセス中に取り出されたP2カードのクリップが、不正規の状態になることがあります。クリップをご確認の上、修復を行ってください。
→「不良クリップの修復」を参照。
- フォーマット中にP2カードが抜かれたときは、フォーマットが保証されません。再起動後、再度フォーマットを行ってください。

誤消去を防ぐには

P2カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2カードの書込み禁止スイッチを「PROTECT」側にします。



◆NOTE:

- 書込み禁止スイッチは、記録中や再生中などのアクセス中に切り替えても、再生や記録を終了してアクセス状態が終わるまで有効になりません。

P2カードアクセスLEDと P2カードの状態について

P2カードアクセスLED	P2カードの状態
緑色に点灯	書き込み／読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	書き込み／読み出しとも可能で、 現在記録の対象になっています。
オレンジ色の点滅	現在、書き込み／読み出し中です。
オレンジ色の早い点滅	P2カード認識中です。
緑色の点滅	P2カードのメモリー残量がありません。 読み出しのみ可能です。 P2カードのライトプロテクトスイッチが「PROTECT」側になっています。 読み出しのみ可能です。
消灯	P2カードが正規のフォーマットを されていません。本機でフォー マットをやり直してください。 本機では使用できないカードで す。カードを交換してください。 P2カードが挿入されていません。 USB DEVICEモードでP2カードに アクセスしていません。

◆NOTE:

- P2カードの状態を詳細に確認することができます。
49 ページの「カードの状態を確認する」をご覧ください。

4GB超でのクリップ分割について

本機で8 GB以上のP2カードを使用したとき、1回の連続記録時間が下表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。なお、P2機器にてクリップのサムネール操作(表示、削除、修復、コピーなど)を行うときは、1つのクリップとして操作できます。

ノンリニア編集ソフトおよびパーソナルコンピューターなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録フォーマット	記録時間
DVCPRO HD	約5分
DVCPRO50	約10分
DVCPRO / DV	約20分

P2カードおよびSDメモリーカードの 最新情報について

P2カードおよびSDメモリーカードの取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

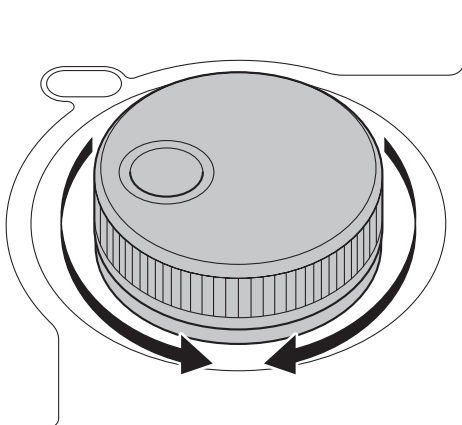
日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

サーチダイヤルによるジョグ／シャトル操作

サーチダイヤルは、映像の確認、検索のためのダイヤルです。
ダイヤルは、押す毎にSHTLモードとJOGモードが交互に切り替わります。
電源を入れた直後は、一度ダイヤルをSTILLの位置に戻さないと動作しません。

ジョグモード (JOGモード)



- 1** サーチダイヤルを押し込む
ジョグモードになります。

2 サーチダイヤルを回す

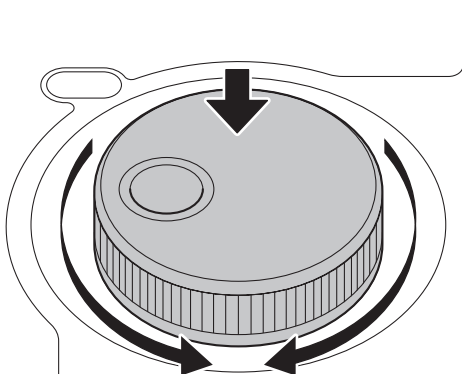
ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたスピード(-1~+1倍速)で再生が行われます。
ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。

3 ジョグモードから他のモードに移行するときは、移行するモードのボタンを押す

◆NOTE:

- 工場出荷時には、サーチダイヤルを回すと、シャトルモードまたは、ジョグモードに移行するダイレクトサーチモードに設定されています。
- セットアップメニューNo.100(SEARCH ENA)の設定を「KEY」にすることで、STILL / PAUSEボタンを押さないとサーチモードに移行しないように設定することができます。

シャトルモード (SHTLモード)



- 1** サーチダイヤルを押して、押し込まれたダイヤルを元に戻す
シャトルモードになります。
電源を入れた直後は、サーチダイヤルを回して、センターの位置にしてください。

2 STILL / PAUSEボタンを押す

3 サーチダイヤルを回す

ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが0~±32倍速まで変化します。
セットアップメニューNo.101(SHTL MAX)で最大速度の設定を±8、±16、±32、±60、±100倍速に変更できます。
ダイヤルをセンター位置でクリックすると、静止画になります。

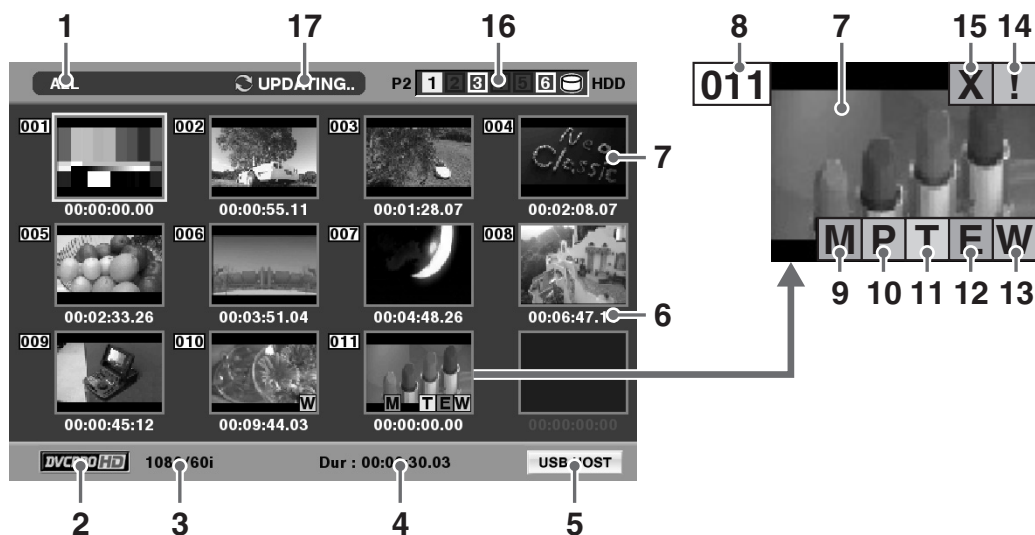
4 シャトルモードから他のモードに移行するときは、STOP ボタンまたは、他のボタンを押す

◆NOTE:

- オーディオモニター出力からは、-10~+10倍速の範囲で再生音を聞くことができます。
- サーチモードでの再生音にはノイズが含まれます。
- 複数のP2カードにまたがったクリップを±1倍速より速い速度で再生するとき、再生音が一瞬途切れることがありますが、故障ではありません。
- 10倍速再生するとき、再生音が途切れることがありますが、故障ではありません。

クリップの管理

サムネールとクリップの管理について



本機にはクリップを管理するためのサムネール画面があります。クリップとは、画像、音声、メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。通常は記録を開始して停止するまでの、1回の記録によって生成される1ショットが1クリップになります。ただし、複数のP2カードにまたがったショットは、各カードの映像が独立したクリップとして扱われます。

サムネール画面には、各クリップにある最初のフレームの画像が、そのクリップの代表画像として一覧表示されます。このサムネールを確認しながら、以下の操作を行ってクリップを管理できます。

- クリップの再生、削除、修復
- クリップにテキストメモを挿入
- テキストメモの確認と削除
- マーカーの表示と消去
- P2カードのフォーマット
- クリップのプロパティ表示
- P2カードの状態表示

◆NOTE:

- サムネールは実際の映像の一部成分から生成されています。そのため実際の映像より荒いものとなります。
- サムネール画面はVIDEO MONITOR端子にも出力されますが、接続されたモニターによっては画面からはみ出して表示されず。

サムネール画面各部の名称とはたらき

1. 表示状態

画面に表示されている情報の種類が、次のように示されます。

ALL:	すべてのクリップ
SAME FORMAT:	システムフォーマットと同じフォーマットのクリップ
SELECT:	SETボタンで選択したクリップ
MARKER:	ショットマークが付加されたクリップ
TEXT MEMO:	テキストメモデータがあるクリップ
SLOT n:	n番スロットのP2カード内のクリップ
PROPERTY:	クリップの詳細情報
P2 / REMAIN:	メディア情報(残量表記)
P2 / USED:	メディア情報(使用量表記)
META DATA:	設定されたメタデータ

→表示の切り替え方法は「表示する情報の種類を切り替える」を参照。

2. 記録モード

カーソル位置のクリップの記録モードが表示されます。

3. システムフォーマット

カーソル位置のクリップの記録フォーマットが表示されません。

4. デュレーション

カーソル位置のクリップのデュレーションが表示されます。

5. USBホストモードインジケーター

USBホストモードのときに表示されます。

6. 時間表示

クリップの記録開始時のTC(タイムコード)/UB(クリップの記録開始時のユーザーズビット)/撮影時刻/撮影日/撮影日時/ユーザークリップ名のいずれかが表示されます。

→「表示する項目を設定する」を参照。

7. サムネール

各クリップにある最初のフレームの画像が、そのクリップの代表画像として表示されます。

8. クリップ番号

記録日時が早い順に、P2カード上のクリップに割り当てた番号が表示されます。再生できないクリップは、クリップ番号が赤色で表示されます。

9. **[M]**ショットマークインジケーター

ショットマークが付加されたクリップに表示されます。

10. **[P]**プロキシインジケーター

AJ-SPX800などのカメラで記録したプロキシが付加記録されているクリップに表示されます。
本機ではプロキシを記録できません。

11. **[T]**テキストメモインジケーター

テキストメモデータが挿入されているクリップに表示されません。

12. **[E]**エディットコピーインジケーター

エディットコピーしたクリップに表示されます。

13. **[W]**ワイドインジケーター

16:9の画角で記録されたクリップに表示されます。ただしHDフォーマットのクリップのときは表示されません。

14. **[!]**不完全クリップインジケーター

複数のP2カードにまたがって記録されているにもかかわらず、その内のいずれかのP2カードが、P2カードスロットに挿入されていないときなどに表示されます。

15. **[X]**不良クリップ・**[?]**不明クリップインジケーター

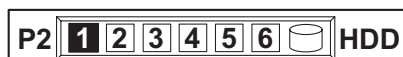
記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示されます。黄色の不良クリップインジケーターが表示されたクリップは、修復が可能な場合があります。

→「不良クリップの修復」を参照。







赤色の不良クリップインジケーターが表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できないときは、P2カードをフォーマットしてください。

P2規格のフォーマットなどが異なるクリップのときは、**[X]**の代わりに**[?]**が表示されます。


16.P2カードスロット番号・HDD状態



P2カードおよびUSBハードディスクドライブの状態が、次のように表示されます。

 (白色)	1～6 P2カードが挿入されているP2カードスロット番号が白色で表示されます。
 (黄色)	1～6 カーソル位置のクリップが記録されているP2カードのP2カードスロット番号が、黄色で表示されます。クリップが複数のP2カードにまたがって記録されているときは、そのクリップが記録されたカードのスロット番号すべてが表示されます。
 (灰色)	USB ホストモード以外か、USB ホストモードになっているがハードディスクドライブが非接続のとき、灰色で表示されます。
 (白色)	USB ホストモードになっていて、ハードディスクドライブが使用可能のとき、白色で表示されます。
 (黄色)	USB ホストモードになっていて、ハードディスクドライブのクリップがサムネール表示されているとき、黄色で表示されます。
 (赤色)	USB ホストモードになっていて、ハードディスクドライブがコピー可能な状態でないときに赤色で表示されます。

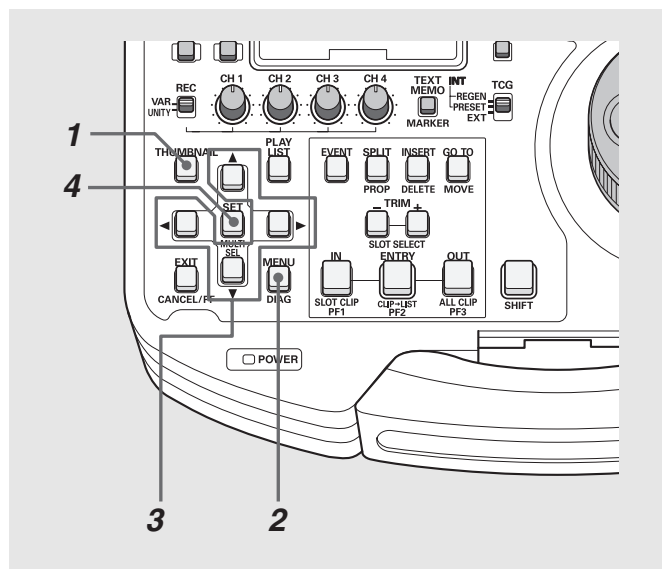
17.状態メッセージ

処理状態を示すメッセージが表示されます。たとえば、画面更新中には「UPDATING」の文字と回転するアイコンが表示されます。

サムネール画面の表示の変更

使用状況に応じてサムネール画面をカスタマイズし、効率よく操作を行うことができます。

表示する情報の種類を切り替える



1 サムネール画面を表示する

2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで[THUMBNAIL]の下位の、表示したいクリップの種類にカーソルを合わせる



ALL CLIP:	すべてのクリップを表示するとき
SAME FORMAT CLIPS:	システムフォーマットと同じフォーマットのクリップを表示するとき
SELECTED CLIPS:	SET ボタンで選択したクリップを表示するとき
MARKED CLIPS:	ショットマークが付加されたクリップを表示するとき
TEXT MEMO CLIPS:	テキストメモデータがあるクリップを表示するとき
SLOT CLIPS:	n番スロットのP2カード内のクリップを表示するとき

4 SETボタンを押す

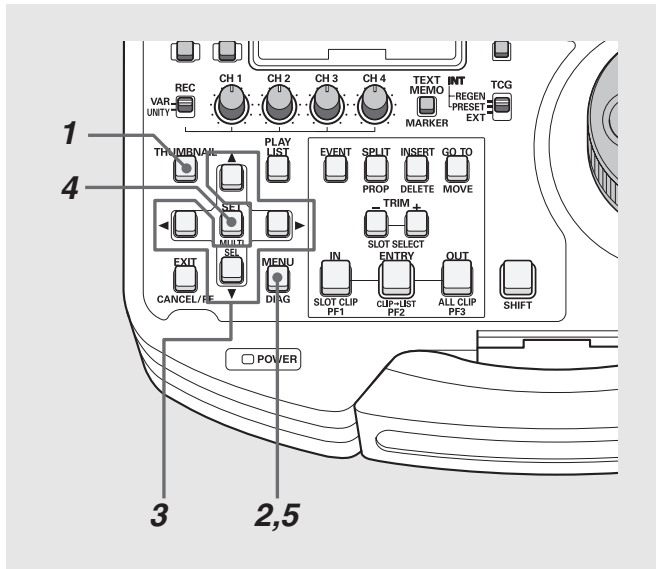
◆NOTE:

〈ボタンを操作しても切り替えることができます〉

- SHIFT+INボタンを押すたびにSELECTED→SLOT1→SLOT2…SLOT6→SELECTEDに切り替えることができます。
- SHIFT+OUTを押してALL CLIPに切り替えることができます。

表示する項目を設定する

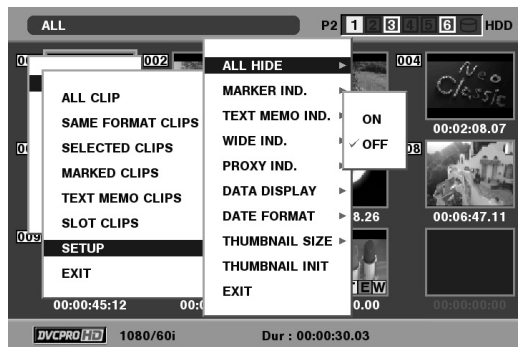
用途に合わせ、サムネールの表示方法をカスタマイズできます。サムネール表示のインジケータやデータ設定の切り替えを行います。



1 サムネール画面を表示する

2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで [THUMBNAIL] - [SETUP] の下位の設定したい項目にカーソルを合わせる



※ XXは初期値を表す。

ALL HIDE:	<u>ON</u>	インジケータをすべて非表示
	<u>OFF</u>	以下のメニューの設定に従って表示
MARKER IND.:	<u>ON</u>	ショットマークインジケータを表示
	OFF	ショットマークインジケータを非表示
TEXT MEMO IND.:	<u>ON</u>	テキストメモインジケータを表示
	OFF	テキストメモインジケータを非表示

WIDE IND.:	<u>ON</u>	ワイドインジケータを表示
	OFF	ワイドインジケータを非表示
PROXY IND.:	<u>ON</u>	プロキシインジケータを表示
	OFF	プロキシインジケータを非表示
DATA DISPLAY:	時間表示部(→「サムネール画面各部の名称とはたらき」の6を参照)に表示する内容を選択する	
	<u>TC</u>	タイムコード
	UB	ユーザズビット
	TIME	記録時刻
	DATE	記録日
	DATE TIME	記録日時
	USER CLIP NAME	ユーザークリップ名の先頭の最大 15文字 (英語表示の場合)
DATE FORMAT:	記録日時の表示書式を選択する	
	<u>Y-M-D</u>	年月日
	M-D-Y	月日年
	D-M-Y	日月年

◆NOTE:

- この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日、DATA DISPLAYでDATEを選択したときに表示される記録日時、およびプレイリストのイベントプロパティ画面のクリップ情報で表示される記録日、メタデータのロードなど各種ファイル表示の作成日時にも反映されます。

THUMBNAIL SIZE:	液晶モニターの一画面に表示されるサムネールの大きさ
	<u>LARGE</u> 大きい
	<u>NORMAL</u> 標準
THUMBNAIL INIT:	上記サムネールの表示設定を、工場出荷状態(初期値)に戻す

4 SETボタンを押す

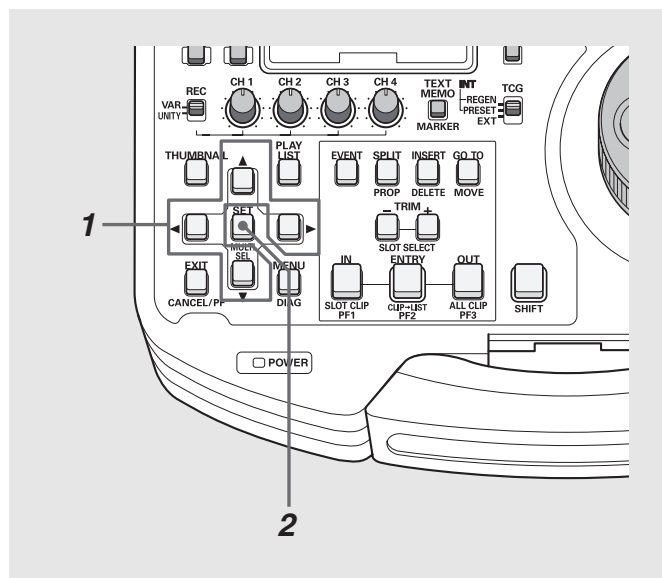
◆NOTE:

- [THUMBNAIL INIT]のときは確認画面が表示されますので、[YES]を選択します。

5 MENUボタンを押して、処理を終了する

クリップを選択する

サムネイル画面で操作を行うとき、操作の対象となるクリップを次のように選択します。



1 十字カーソルボタンで、黄色い枠(カーソル)を対象のクリップに合わせる



◆NOTE:

- SHIFTボタンを押しながらREW/FFボタンあるいは▲▼ボタンを押すと、カーソルを先頭クリップ/最終クリップへ移動できます。

2 SETボタンを押す

カーソルを合わせたクリップに青緑色の枠が表示され、選択状態になったことを表します。

◆NOTE:

- 1~2の操作を繰り返すと、複数のクリップを選択できます。
- クリップを選択した後、別のクリップにカーソルを移動し、SHIFTボタンを押しながらSETボタンを押すと、直前に選択したクリップからカーソル位置までのクリップをまとめて選択できます。

選択を解除するには

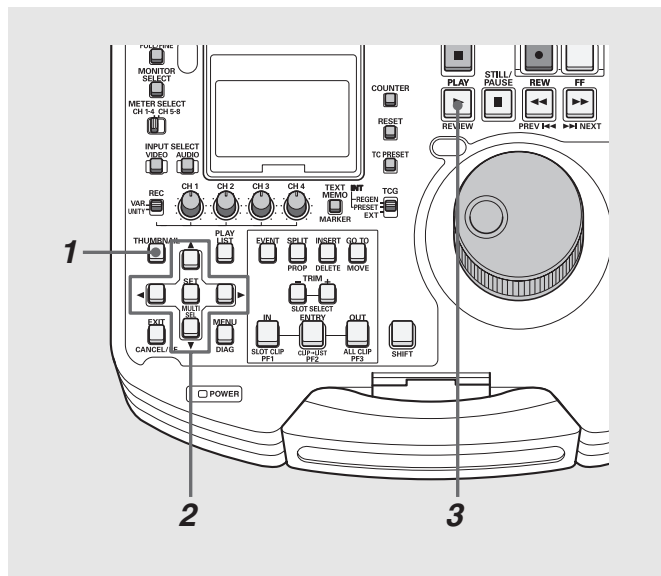
1 選択状態のクリップにカーソルを合わせ、再度 SET ボタンを押す

選択が解除されます。

◆NOTE:

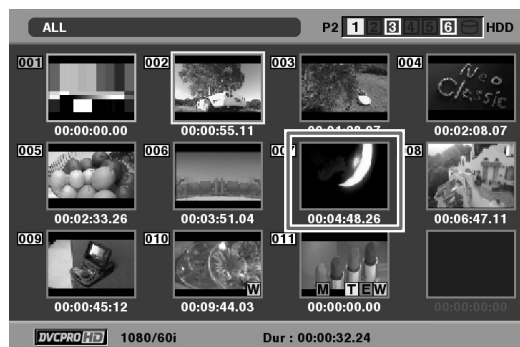
- SHIFT ボタンを押しながら EXIT ボタンを押すと、選択状態のクリップを一括して選択解除できます。

クリップを再生する



1 サムネール画面を表示する

2 十字カーソルボタンで、再生したいクリップにカーソルを合わせる







◆NOTE:

- JOG / SHTLダイヤルでもカーソルを動かすことができます。
- SHIFTボタンを押しながらREW / FFボタンあるいは▲▼ボタンを押すと、カーソルを先頭クリップ / 最終クリップへ移動できます。

3 PLAY▶ ボタンを押す

カーソルを合わせたクリップから、再生が始まります。カーソルを合わせたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが順に再生され、最後のクリップの再生が終わるとサムネール画面に戻ります。

◆NOTE:

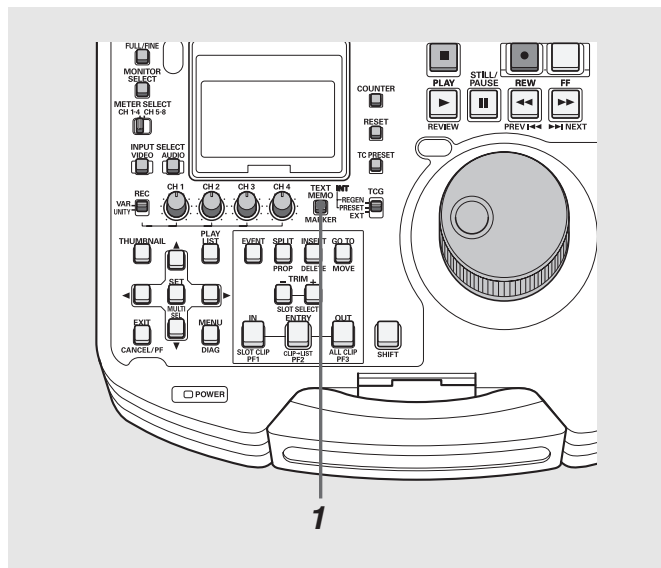
- クリップを再生するときには、クリップを選択(サムネールに青緑色の枠が表示された状態)にする必要はありません。
- サムネール表示設定を変更して、選択したクリップだけを再生したり、テキストメモが挿入されたクリップだけを再生したりすることができます。
- PLAYボタンの代わりにSTILL  ボタンを押すと、クリップの先頭フレームの映像が静止画として表示されます。
- クリップ番号が赤色に表示されたクリップは、再生できません。
- PLAYボタンの代わりに、REW  ボタンを押すと早戻し再生、FF  ボタンを押すと早送り再生が行えます。
- クリップの再生中にSTOP  ボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。
- 再生を停止すると、カーソル位置は停止直前に再生していたクリップに移動します。
- 異なったフォーマット(DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DV)を再生すると、クリップとクリップの間で映像・音声は乱れますが故障ではありません。
- THUMBNAILボタンを押してサムネール画面を閉じたとき、ほとんどの場合は再生開始位置が最も記録時刻の古いクリップ(クリップ番号1)に戻ります。

テキストメモやショットマークを挿入する

クリップの特定の箇所を区別するために、クリップにテキストメモを挿入することができます。また、他のクリップと区別するために、クリップにショットマークを表示することができます。ただし、書き込み禁止スイッチが PROTECT になっているカードには挿入できません。

テキストメモを挿入する

テキストメモを挿入すると、映像を再生中にNEXT / PREVボタンを押して、テキストメモの位置にシークすることができます。



1 記録・再生・サムネール表示中にTEXT MEMOボタンを押す

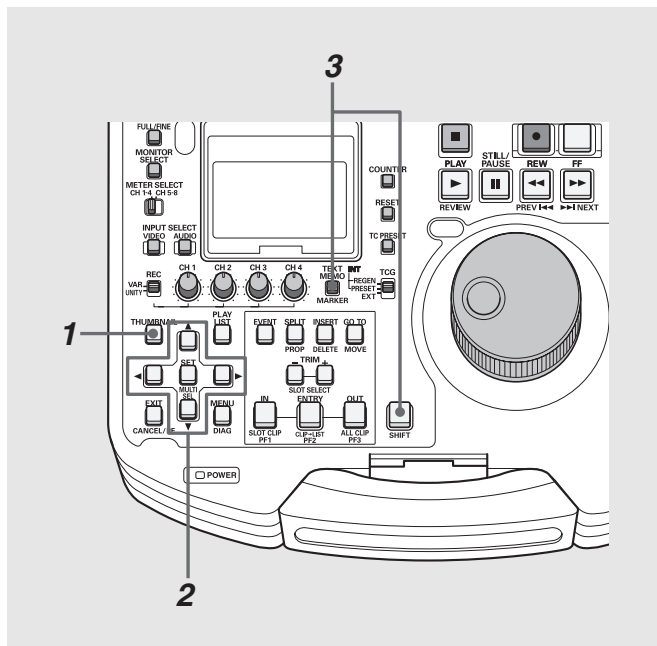
- 記録・再生中にこのボタンを押すと、押したときの位置にテキストメモが挿入されます。
- サムネール画面を表示中にこのボタンを押すと、クリップの先頭の位置にテキストメモが挿入されます。

◆NOTE:

- テキストメモは、1クリップに最大100個挿入できます。
- サムネール画面をテキストメモ表示に変更すると、テキストメモの位置の確認やテキストメモの削除を行うことができます。
- 再生中にTEXT MEMOボタンを押したときに、再生画が一瞬止まることがありますが故障ではありません。

ショットマークを表示する

ショットマークを表示すると、他のクリップと区別することができます。



1 サムネール画面を表示する

2 十字カーソルボタンで、対象のクリップにカーソルを合わせる

3 SHIFTを押しながらTEXT MEMOボタンを押すボタンを押すたびにショットマークインジケータのON / OFFが切り替わります。

◆NOTE:

- 複数のP2カードにまたがるクリップに対してショットマークを挿入または削除するときは、そのクリップが記録されたすべてのP2カードを挿入した状態で行ってください。

クリップをコピーする

クリップを、任意のP2カードスロットのP2カードにコピーできます。

◆NOTE:

- コピー中に電源をOFFにしたり、カードを抜き差ししたりしないでください。不良クリップができます。不良クリップができてしまった場合は、クリップを削除してから、再度コピーを行ってください。
- 不完全クリップは連結した後でコピーしてください。

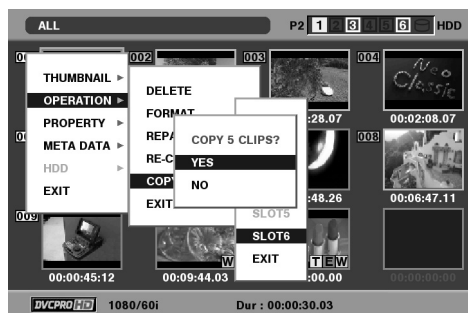
1 サムネイル画面を表示する

2 コピーするクリップを選択する

3 MENUボタンを押す

4 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [COPY] – [SLOTn] (コピー先P2カードスロット番号) にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

複数のクリップを選択していたときは、SETボタンを押した後に選択しているクリップ数が表示されます。



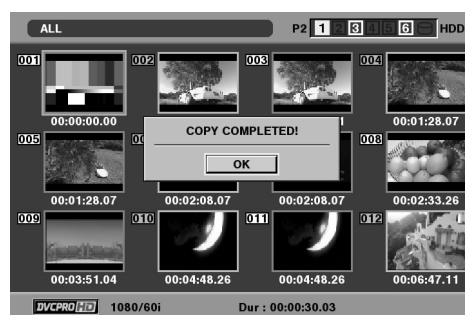
5 [YES] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す クリップのコピーが開始されます。



◆NOTE:

- 途中でコピーを中止するには、SHIFT+EXITまたはSETボタンを押してキャンセルしてください。途中でコピーされたコピー先のクリップは削除されます。
- コピー先に以前コピーするなどした同一クリップ (GLOBAL CLIP IDが同じ) が存在するときは、「OVER WRITE」と表示されます。上書きを行うときは [YES] を、コピーを行わないときは [NO] を選択し、SETボタンを押してください。(P2カードに、またがって記録された別のクリップをコピーするときも、「OVER WRITE」と表示されます)

6 完了メッセージが表示されたら確認 (SETボタン) を押す



7 MENUボタンを押して、処理を終了する

◆NOTE:

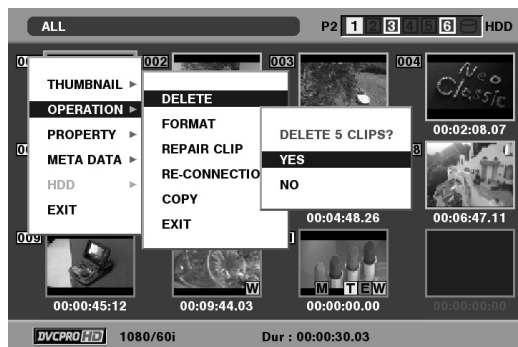
次のエラーメッセージが表示されたときは、コピーは行われません。

- 「LACK OF REC CAPACITY」
コピー先の記録容量が不足しているため、コピーは行われません。
- 「UNKNOWN CONTENTS FORMAT!」
選択したクリップに不良クリップが含まれているため、コピーは行われません。
- 「NO COPY TO SAME CARD!」
同一カードへコピーしようとしたため、コピーは行われません。
- 「TOO MANY CLIPS!」
選択したクリップが多すぎるため、コピーは行われません。

クリップを削除する

不要なクリップは、次の操作でP2カードから削除できます。

- 1 サムネイル画面を表示する
- 2 削除するクリップを選択する
- 3 MENU ボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [DELETE] にカーソルを合わせる



- 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
選択したクリップがすべて削除されます。
- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

◆NOTE:

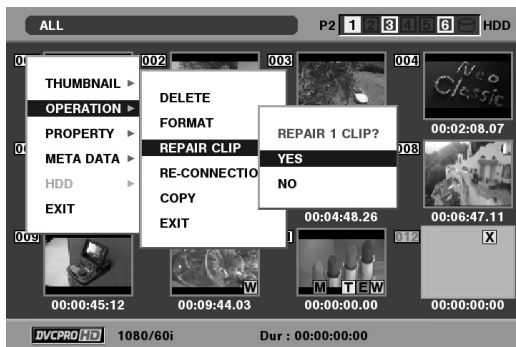
- 3～4の操作の代わりに、SHIFTを押しながらINSERTボタンを押してもクリップを削除できます。
- 途中で削除を中止するには、SHIFT+EXITまたはSETボタンを押してキャンセルしてください。途中まで削除されたクリップはキャンセルしても戻りません。

クリップを修復する・連結する

不良クリップの修復

記録中、急に電源が切れるなどの原因で発生した、不具合のあるクリップには不良クリップインジケータ(黄色の[X])が表示されます。不具合のあるクリップは、次の操作で修復できます。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 修復する不良クリップを選択する
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで、[OPERATION] - [REPAIR CLIP]にカーソルを合わせる



- 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

◆NOTE:

- 壊れ方によっては修復できないときがあります。そのときは赤色の[X]が表示されます。

不完全クリップの連結

複数のP2カードにまたがって記録されているクリップが連続したクリップとして認識されず、不完全クリップ(!インジケータ)になることがあります。このとき連結機能を使って、連続したクリップ(元の連続したクリップ)に復元することができます。

◆NOTE:

不完全クリップは以下のようなときにできます。

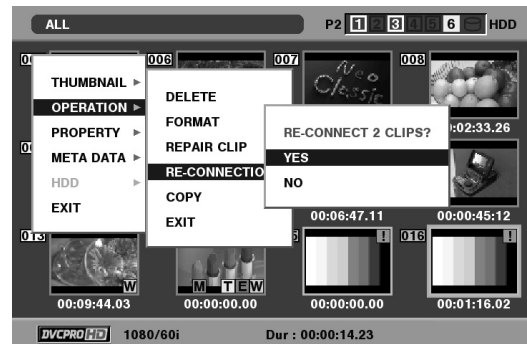
- 複数のP2カードに記録されたクリップを、P2カード毎に別々にコピーしたとき。
- 複数カードに記録されたクリップを、カード毎に別々にHDDへコピー後、P2カードへ書き戻したとき。
- DVCPRO HDで約5分以上(DVCPRO50では約10分、DVCPRO、DVIは約20分以上)の長いクリップをHDDへコピー後、P2カードに書き戻したとき。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 連結する不完全クリップを選択する

◆NOTE:

- 通常、不完全クリップマークのサムネールは、並んで表示されています。

- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで[OPERATION]-[RE-CONNECTION]にカーソルを合わせる



- 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

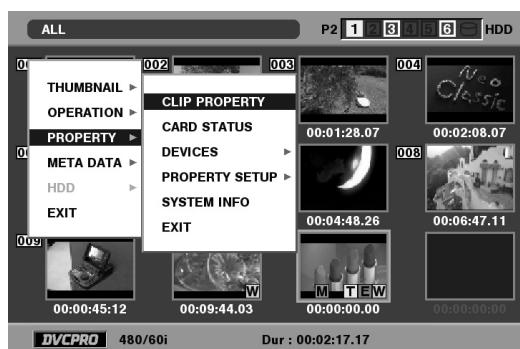
◆NOTE:

- 3つ以上に分かれた不完全クリップの一部分のクリップだけを連結しても、元のクリップを構成するすべてのクリップを連結するまでは、不完全クリップマークが付いたままになります。

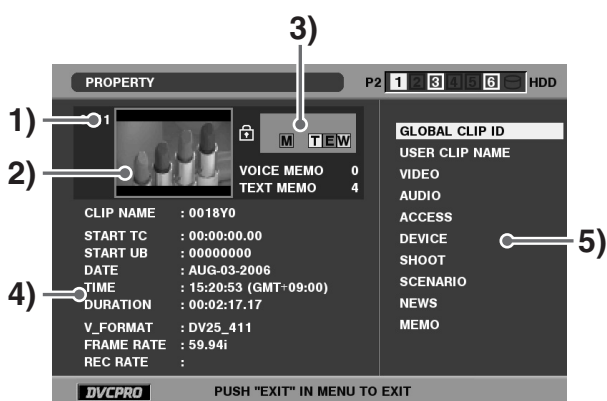
クリップの情報を表示する

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。


- 1) サムネール画面を表示する
- 2) 十字カーソルボタンで、対象のクリップにカーソルを合わせる
- 3) MENUボタンを押す
またはメニューを閉じた状態で、SHIFT ボタンを押しながらSPLITボタンを押す
- 4) 十字カーソルボタンで[PROPERTY]→[CLIP PROPERTY]にカーソルを合わせてSETボタンを押す



選択したクリップに関する情報が表示されます。



- 1) クリップ番号
- 2) サムネール
- 3) クリップ付加情報

クリップに挿入された各種インジケータ、挿入されているテキストメモやボイスメモの数が表示されます。また、クリップが記録されたP2カードに、ライトプロテクトがかかれているとき、マークが表示されます。

◆NOTE:

- ボイスメモ/インジケータ
ボイスメモが付加されたクリップに表示されます。クリッププロパティモードのときのみ表示されます。
- 本機ではボイスメモの記録/再生は行えません。

4) クリップ情報

次の情報が表示されます。

CLIP NAME:	クリップ名
START TC:	記録開始時のタイムコード
START UB:	記録開始時のユーザーズビットの値
DATE:	記録した日付
TIME:	記録開始時の時刻
DURATION:	クリップの長さ
V_FORMAT:	クリップの記録フォーマット
FRAME RATE:	再生フレームレート
REC RATE:	記録フレームレート(カメラレコーダーで特殊な記録をしたクリップで表示される)

5) クリップメタデータ

クリップの詳細情報(クリップメタデータ)を参照するための項目が表示されます。

5 必要に応じてクリップメタデータの内容を参照する



十字カーソルボタンでクリップメタデータの項目にカーソルを合わせ、SETボタンを押すと、次の情報が表示されます。

GLOBAL	グローバルクリップID
CLIP ID:	(同じ番号が他のクリップに付くことがない、世界で唯一の番号)
USER CLIP NAME:	ユーザーが付けることのできるクリップネーム 通常はGLOBAL CLIP IDが入っています。
VIDEO:	ビデオ信号方式など (フレーム、プルダウン、アスペクト比)
AUDIO:	オーディオの各チャンネル方式など (サンプリングレート、ビットレート)
ACCESS:	最終更新日など (作成者、作成日、最終更新日、最終更新者)
DEVICE:	記録した機器のシリアル番号など (機材メーカー名、シリアル番号、モデル名)
SHOOT:	記録開始、終了した日付など (撮影者、撮影開始日、撮影終了日、撮影地情報、高度、経度、緯度、撮影地情報源、撮影地)
SCENARIO:	番組名、シーンNo. など (プログラム名、シーン番号、テイク番号)
NEWS:	レポーター、取材対象など (レポーター、取材目的、取材対象)

MEMO: TEXT MEMOの番号、位置、名前、テキスト内容
(NO.、記録位置、メモ入力者、テキスト情報)

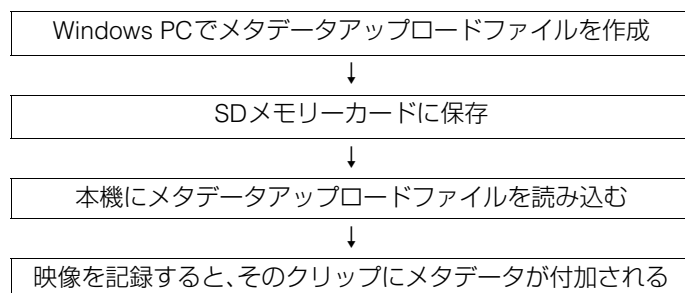
◆NOTE:

- OFFSET については、先頭からのフレーム数で表します。サムネールのテキストメモ表示では、このOFFSETをTCに直して表示しています。
- TEXT 内容は最大 1000 文字添付可能ですが、表示は先頭の100文字を表示します。
- テキスト番号は左右カーソルで動かします。

6 MENUまたはEXITボタンを押して、処理を終了する

クリップにメタデータを付加する

撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報を記述したメタデータアップロードファイルを、SDメモリーカードに保存しておく、それを読み込んで、クリップメタデータとして記録することができます。



メタデータアップロードファイルの準備

メタデータアップロードファイルは、パーソナルコンピューター上でP2ビューアーを使用して作成します。

P2ビューアーはP2カードに記録されたクリップを、Windows PCで操作するためのアプリケーションソフトで、下記のURLで無償配布しています。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://www.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

P2ビューアーをパーソナルコンピューターにインストールし、メタデータアップロードファイルを作成してSDメモリーカードに書き込んでください。

◆NOTE:

- P2ビューアーは最新アップデート版をご使用ください。
- メタデータアップロードファイルの作成方法については、P2ビューアーのヘルプを参照してください。
- SDメモリーカードについては、121ページのNOTEを参照してください。

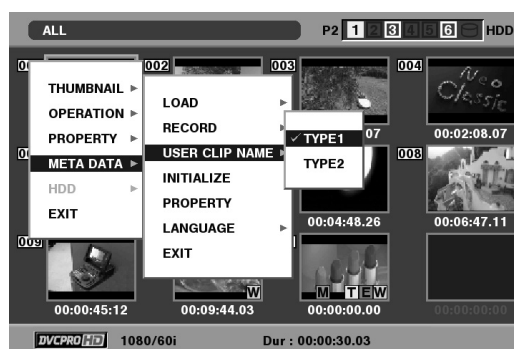
メタデータを付加するための設定

メタデータアップロードファイルを本機に読み込むための設定を行います。

USER CLIP NAMEの記録方法の選択

USER CLIP NAMEの記録方法を設定します。

- 1 サムネイル画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[META DATA]—[USER CLIP NAME]にカーソルを合わせる



4 [TYPE1] または [TYPE2] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

記録方法		記録される USER CLIP NAME
クリップメタデータ 利用する	TYPE1	読み込んだメタデータ 設定値
	TYPE2	読み込んだメタデータ 設定値+COUNT値
クリップメタデータ 利用しない ※	TYPE1	GLOBAL CLIP IDと同じ
	TYPE2	CLIP NAMEと同じ

※メタデータアップロードファイルを読み込んでいるが、
[META DATA] - [RECORD]が[OFF]の場合

5 MENU ボタンを押して、処理を終了する

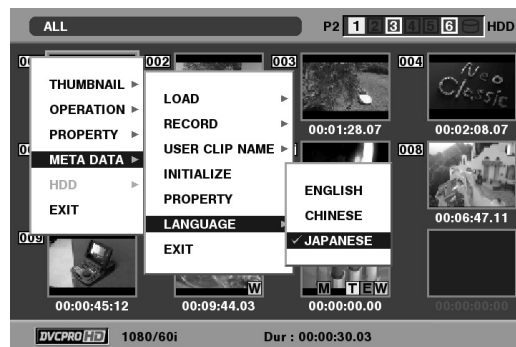
メタデータの表示言語を設定する

メタデータを表示するときの表示言語を設定します。

1 サムネイル画面を表示する

2 MENU ボタンを押す

3 十字カーソルボタンで[META DATA] - [LANGUAGE]にカーソルを合わせる



4 表示言語にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

ENGLISH:	英語
CHINESE:	中国語
JAPANESE:	日本語

◆NOTE:

- 日本語や中国語のメタデータを英語で表示したときやメタデータに英語の非表示文字などがあるときは、正しく表示されず、「*」で表示されます。

5 MENU ボタンを押して、処理を終了する

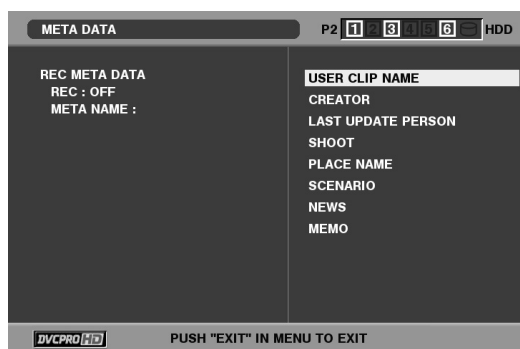
COUNT値について

COUNT値は、4桁の数字で表示されます。COUNT値は、USER CLIP NAMEの記録方法を[TYPE2]に設定してクリップメタデータファイルを読み込んだとき、記録を行って新しいクリップを生成するたびに1ずつ増加します。

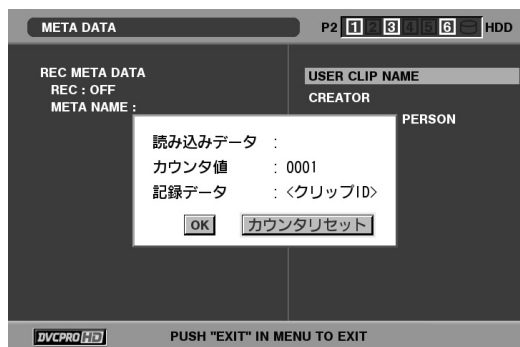
■ COUNT値をリセットするには

COUNT値は、次の操作でリセットできます。

1. サムネール画面を表示する
2. MENUボタンを押す
3. 十字カーソルボタンで[META DATA]—[PROPERTY]—[USER CLIP NAME]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



4. 十字カーソルボタンで[カウンタリセット]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



COUNT値が1にリセットされます。

5. MENUまたはEXITボタンを押して、処理を終了する

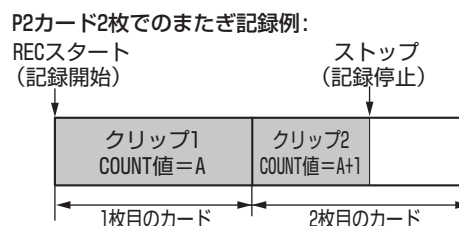
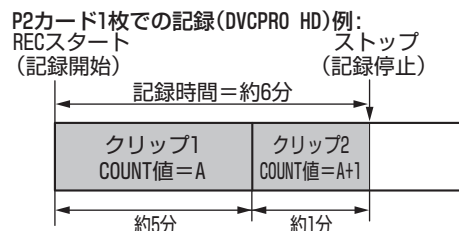
■ 4GB超でのUSER CLIP NAMEのCOUNT値インクリメントについて

次の場合は、1ショットが複数のクリップとして記録され、COUNT値も自動的に1ずつ増加して記録されます。

- 本機で8 GB以上のP2カードを使用して、1回の連続記録時間が一定時間を超えるとき。

→詳しくは、「4GB超でのクリップ分割について」を参照。

- 1回の記録がカードをまたいで記録されたとき。

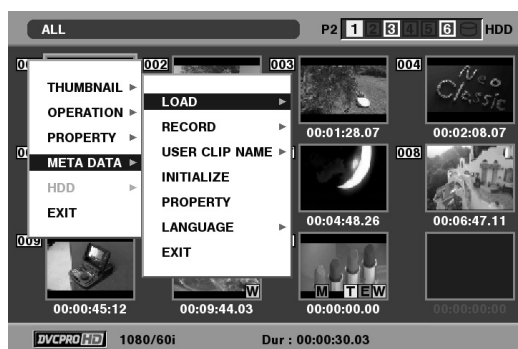


なお、P2 機器でクリップのサムネール表示およびプロパティ表示を行ったときは、クリップ1のサムネールおよびCOUNT値が表示されます。

メタデータ設定値の読み込み

次の操作でSDメモリーカードからメタデータ設定値を読み込みます。

- 1 メタデータアップロードファイルを保存しているSDメモリーカードを本機に挿入する
- 2 サムネイル画面を表示する
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで[META DATA]→[LOAD]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



SDメモリーカード内のメタデータアップロードファイルのファイル名が表示されます。

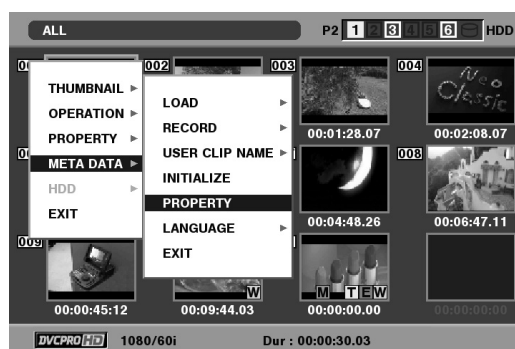
- 5 十字カーソルボタンで、読み込むファイルにカーソルを合わせて、SETボタンを押す
- 6 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
メタデータが読み込まれます。
- 7 MENUボタンを押して、処理を終了する

メタデータ設定値を確認する

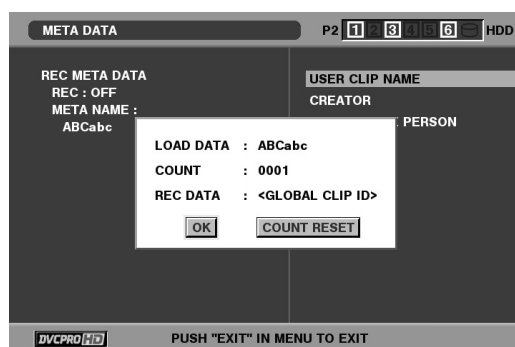
次の操作で、本機内部に保存されているメタデータ設定値を確認できます。

- 1 サムネイル画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[META DATA]→[PROPERTY]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

メタデータ設定値を参照するための項目が表示されます。



SET ▼ ▲ EXIT



4 メタデータの設定値を参照する

カーソルボタンで確認したいメタデータの項目にカーソルを合わせ、SETボタンを押すと、情報が表示されます。

USER CLIP NAME:	ユーザークリップネーム
CREATOR:	作成者
LAST UPDATE PERSON:	最終更新者
SHOOT:	撮影者
PLACE NAME:	撮影地
SCENARIO:	プログラム名、シーン番号、テイク番号
NEWS:	レポーター、取材目的、取材対象
MEMO:	記録位置、メモ入力者、テキスト情報

内容を確認できたら、EXITまたはSETボタンを押します。情報が表示されていた画面が消えます。

◆NOTE:

- 別の項目の情報を確認するときは、手順 4 の操作を繰り返します。

5 MENUボタンを押して、処理を終了する

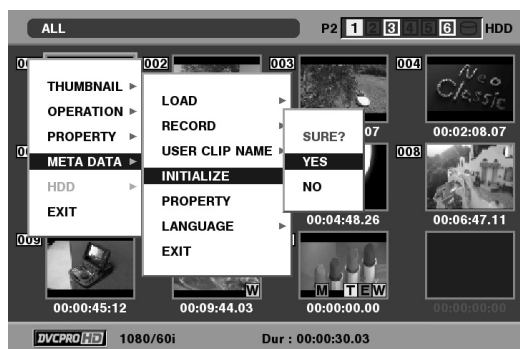
メタデータを削除する

次の操作で本機内部に保存されているメタデータを削除できます。

1 サムネイル画面を表示する

2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで[META DATA]—[INITIALIZE]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



4 確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

メタデータが削除されます。

5 MENUボタンを押して、処理を終了する

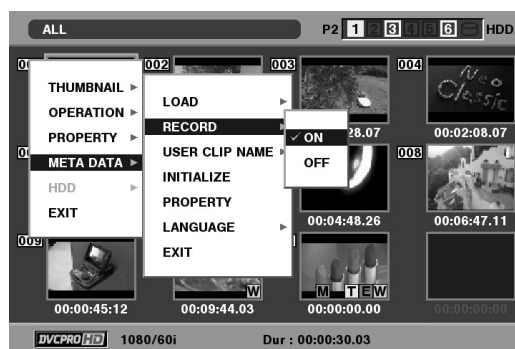
メタデータを付加したクリップの記録

クリップを記録するときに、読み込んだメタデータをクリップに付加します。

1 サムネイル画面を表示する

2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで[META DATA]—[RECORD]にカーソルを合わせる



4 [ON]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

この設定により、読み込んだメタデータを映像記録時に同時に記録します。また、USER CLIP NAMEは設定した記録方法に従ってメタデータとして付加されます。

5 MENUボタンを押して、設定を終了する

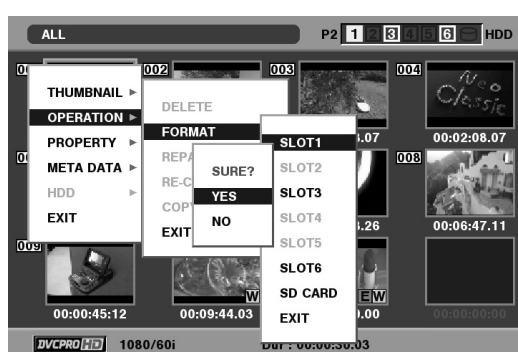
6 本機で映像を記録する

◆NOTE:

- 手順4で[OFF]に設定したときは、クリップにメタデータは付加されません。

P2カードをフォーマットする

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[OPERATION]→[FORMAT]→[SLOTn](フォーマットしたいP2カードが挿入されたP2カードスロット番号)にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



- 4 [YES]を選択しSETボタンを押す
フォーマットが開始されます。

◆NOTE:

- フォーマットしないときは [NO] を選択し、SET ボタンを押します。

- 5 完了メッセージが表示されたら確認 (SET ボタン) を押す

◆NOTE:

- 続けて別のP2カードスロットのP2カードやSDメモリーカードをフォーマットするときは、操作手順3～5の操作を繰り返します。

- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

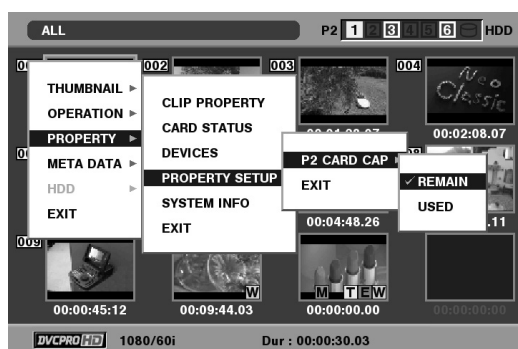
カードの状態を確認する

P2カードスロットの状態やP2カードの使用状況など、カードの情報を画面に表示して確認できます。

表示する情報を指定する

P2カードの情報を表示するときに、残容量と使用済み容量のどちらの表示を行うのかを設定します。

- 1 サムネイル画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[PROPERTY]－
[PROPERTY SETUP]－[P2 CARD CAP]
にカーソルを合わせる



- 4 十字カーソルボタンで設定したい項目にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

REMAIN: 残容量表示(初期値)

USED: 使用済み容量表示

- 5 MENUボタンを押して、処理を終了する

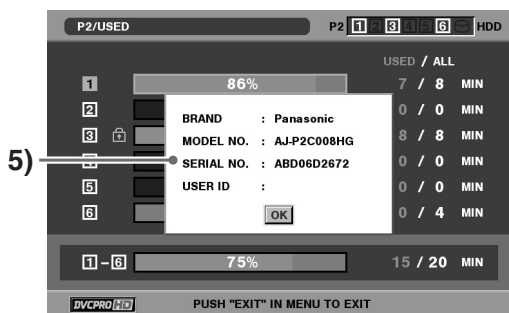
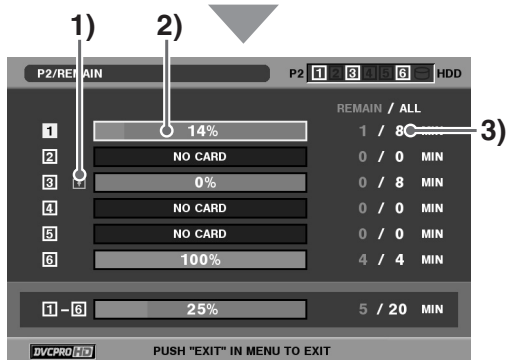
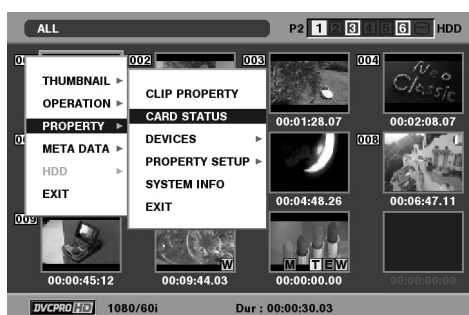
カードの状態に関する情報を表示する

前ページの操作で表示する情報を設定した後、次の操作で各P2カードスロットのP2カードの状態を確認できます。


1 サムネール画面を表示する

2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで [PROPERTY] - [CARD STATUS]にカーソルを合わせて、SETボタンを押す P2カードの状態が表示されます。



1)書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークが表示されます。

2)P2カード状態

記録残量表示のときは、P2カードの記録残量がメーターとパーセントで表示されます。

使用済み容量表示のときは、P2カードの使用容量がメーターとパーセントで表示されます。

また、カードの状態によって次のように表示されます。

FORMAT ERROR: フォーマットされていないP2カードが挿入されている。

NOT SUPPORTED: 本機に対応していないカードが挿入されている。

NO CARD: P2カードが挿入されていない。

3)P2カード残量(または使用容量)／総容量

P2カードの記録残量(または使用容量)／総容量が、分に換算して表示されます。分以下は切り捨て表示のため、P2カード毎の記録残量(または使用容量)の合計と総容量が一致しないことがあります。

4)スロット記録残量(または使用容量)合計

6つのP2カードスロットの記録残量(または使用容量)を総合計した数値が表示されます。

◆NOTE:

- ライトプロテクトがかかっているP2カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

5)P2カード詳細表示

P2カード状態表示のスロットにカーソルを合わせてSETボタンを押すと、P2カードのモデル番号などの詳細情報が表示されます。

もう一度SETまたはEXITボタンを押すと、詳細情報が消えます。

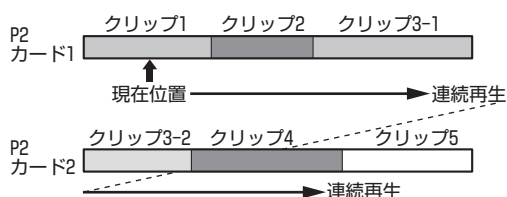
4 EXITボタンを押して、処理を終了する

プレイリストの利用

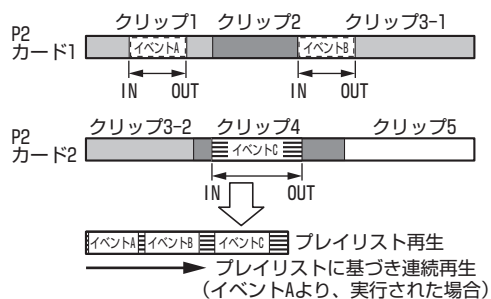
プレイリスト機能について

プレイリスト機能とは、本機に装着した6枚のP2カードに記録されたクリップの再生したい部分を登録したリスト(プレイリスト)を作成し、そのリストの順番に従って連続再生する機能です。

通常の再生では、再生を開始した位置から最後のクリップまでが連続して再生されます。



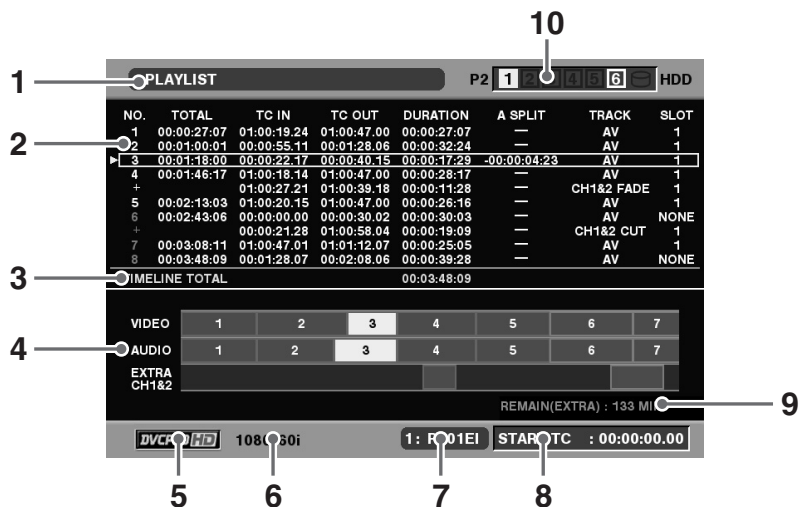
プレイリスト再生では、あらかじめ再生したい部分のIN点(開始位置)とOUT点(終了位置)を設定し、プレイリストを作成します。その後、プレイリスト再生を行うと、そのプレイリストに基づいて必要な部分だけを連続再生できます。



◆NOTE:

- プレイリスト機能は、プレイリスト画面(PLAY LISTボタンを押してボタンが点灯した状態)に切り替えて利用します。
- プレイリストは本機メモリーのプレイリスト領域に保存され、プレイリスト画面に切り替えるといつでも利用できます。また、必要に応じてプレイリストをP2カードに保存することができます。ただし、追加記録するオーディオデータはプレイリストと同じP2カードに保存するため、あらかじめプレイリストもP2カードに保存しておく必要があります。
- プレイリスト再生を行うためにプレイリスト画面の各行に設定された処理内容を、イベントと呼びます。
- プレイリスト再生は編集フォーマットとして設定されたフォーマットのみ、再生・登録が行えます。
- ノンリニア編集を行った24PNのクリップは、プレイリストに使用しないでください。編集点が正しく登録されない場合があります。

プレイリスト画面各部の名称とはたらき



1. 表示状態

画面に表示されているイベント画面の種類が次のように表示されます。

PLAY LIST:	イベントのリスト
EVENT PROPERTY:	イベントの詳細情報
P2 / USED (REMAIN):	メディア情報 (使用量 / 残量)

2. プレイリスト

イベントが一覧表示されます。イベント数は最大100イベント(追加オーディオイベント数も最大100)です。現在のカーソル位置は、黄色で囲まれて表示されます。選択されたイベントは、水色の文字で表示されます。

NO:	イベントの通し番号
TOTAL:	01イベントからのトータル時間
TC IN:	IN点のタイムコード
TC OUT:	OUT点のタイムコード
DURATION:	イベントの長さ
A SPLIT:	オーディオIN点スプリットのスプリット量
TRACK:	記録の種類
AV:	通常のAVイベント
CH* & *:	簡易ボイスオーバーの
CUT (FADE):	出力チャンネルと音の つなぎ方
SLOT:	イベントのクリップが入っている P2 カードスロット番号

再生できないイベント以降はイベント番号が赤色で表示されます。

AJ-SPD850で作成されたプレイリストは読み込むことはできませんが、編集はできません。そのときは、7. ファイル名が灰色で表示されます。

3. プレイリスト総合計時間

全イベントの合計再生時間が表示されます。

4. タイムライン表示

カーソル位置のイベントを中心としたイベントがタイムラインで表示されます。TRIM+ / - ボタンで表示の拡大(右) / 縮小(左)ができます。

VIDEO:	ビデオのタイムライン
AUDIO:	オーディオのタイムライン
EXTRA	追加オーディオのタイムライン
CH* & *:	追加オーディオのチャンネル (2チャンネル)

5. 記録モード表示

6. システムフォーマット

→「サムネール画面各部の名称とはたらき」を参照。

7. ファイル名

現在のプレイリストが保存されている、P2カードスロット番号およびファイル名が表示されます。

P2カードスロット番号:	ファイル名
P2カードスロット、 ファイル名とも白色:	正常
ファイル名が灰色:	読み込みはできるが、編集はできないファイル。編集するときは、一度P2カードに保存すると編集可能になります。
P2カードスロット番号が赤:	保存したファイルのカードが挿入されていないとき P2カード内に保存したファイルが存在しないとき

8. スタートTC

再生時にタイムコードを付け替えるときのスタートTC値が表示されます。

9. REMAIN(EXTRA)


オーディオを追加記録できる残量が表示されます。プレイリストをP2カードに保存していないときはグレー表示で、時間の表示はされません。

10. P2カードスロット番号・ハードディスクドライブ状態

P2カードおよびUSBハードディスクドライブの状態が表示されます。

→「サムネール画面各部の名称とはたらき」を参照。

ストップモードの設定

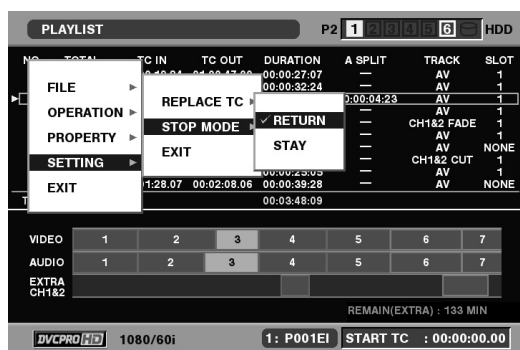
プレイリストの再生などの操作でSTOP  ボタンを押したときに、再生モードからプレイリストに戻るか戻らないかを設定できます。

操作の状況に合わせて、設定を変更してください。


1 プレイリスト画面を表示する


2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで[SETTING]→[STOP MODE]にカーソルを合わせる



4 [RETURN]または[STAY]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

RETURN: STOP  ボタンを押したとき(または全イベントの先頭、最後で自動停止したときなど)にプレイリスト画面に戻る。このときカーソル位置は停止操作を行ったときのイベントに移動する。

STAY: STOP  ボタンを押したとき(または全イベントの先頭、最後で自動停止したときなど)にもプレイリスト画面には戻らず、静止画出力が継続する。

停止時に、再生開始位置を変えたくないときに、この設定にする。

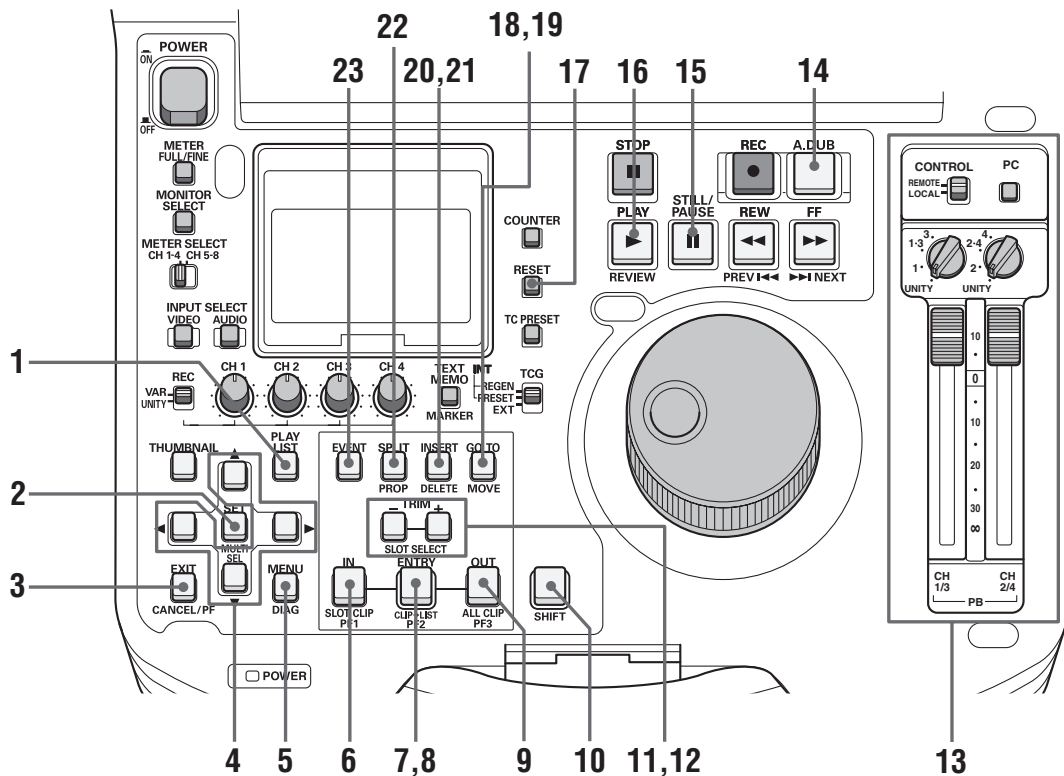
この設定時にイベントリストへ戻るには、PLAY LISTボタンまたはEXITボタンを押す。

5 MENUボタンを押して、設定を終了する

◆NOTE:

- 9Pからリモートでプレイリスト再生などを行うときは、STAYに設定して使用するとSTOPボタンを押しても位置が変わらず便利です。

プレイリストの操作で使用するボタンとその組み合わせ



1. PLAY LIST ボタン

プレイリストモードに切り替えるボタンです。プレイリストモード中はこのボタンが点灯します。ストップモードやサムネール表示中にこのボタンを押すと、プレイリスト画面が表示されます。プレイリストモードを終えるときは、点灯中のこのボタンを押すとストップモードに戻り、ボタンは消灯します。USBモード中はPLAYLISTモードには切り替えられません。

2. SET / MULTI SEL ボタン

イベントの選択および複数選択に使用します。最初にSET ボタンを押してイベントを選択した後、カーソルを移動してSHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、最初に選択したイベントからカーソル位置までの全イベントを一括して選択できます。

3. EXIT / CANCEL ボタン

- EXITボタン
メニュー表示中のEXIT選択と同等の処理を行います。
- CANCELボタン
イベントの選択の一括解除を行うときなどに、SHIFT ボタンを押しながらEXITボタンを押します。

4. ▲ ▼ ◀ ▶ カーソルボタン

プレイリスト表示中にこのボタンを押すと、プレイリストおよびタイムラインのポインター位置が移動します。

SHIFT ボタンを押しながら[▲] / [▼]ボタンを押すとEVENTの先頭/最終にポインターが移動します。

5. MENU ボタン

MENUが表示されます。再度押すと元に戻ります。

6. IN ボタン

7.ENTRYボタン、12.TRIM+ / - ボタン、17.RESETボタン、19.GO TOボタンの説明をご覧ください。

7. ENTRY ボタン

7[ENTRY]+6[IN] / 9[OUT]ボタン

プレイリストのイベントを作成するときに使用します。イベント登録モード(EVENTボタン点灯中)で、ENTRYボタンを押しながらIN / OUTボタンを押すと、ボタンを押した時点の位置がそれぞれイベントのIN点、OUT点として登録されます。また、イベントの新規登録時にOUT点を登録すると、自動的に次のイベントを登録できる状態になります(イベント自動インクリメント機能)。IN点を登録せずOUT点を先に登録したときは、そのクリップの先頭が自動的にIN点となります。

7[ENTRY]+22[SPLIT]ボタン

オーディオスプリットを行うときに使用します。イベント登録モード(EVENTボタン点灯中)でSPLITボタンを押しながらENTRYボタンを押すと、ボタンを押した時点の位置をイベントのオーディオスプリットのIN点として登録できます。

8. CLIP→LISTボタン

サムネール画面で選択したクリップをプレイリストに取り込むときに使用します。サムネール表示中にクリップを選択(複数選択も可)し、プレイリスト表示に切り替えて、SHIFTボタンを押しながらENTRYボタンを押すと、プレイリストのカーソル位置にクリップの先頭をIN点、最後をOUT点とするイベントが登録されます。

9. OUTボタン

7.ENTRYボタン、12.TRIM+ / -ボタン、17.RESETボタン、19.GO TOボタンの説明をご覧ください。

10.SHIFTボタン

11.+ / -ボタン

プレイリスト表示中にこのボタンを押すと、タイムライン表示を拡大(+)/縮小(-)できます。

12.TRIM + / -ボタン

プレイリストのイベントを修正するときに使用します。プレイリストの修正したいイベントにカーソルを合わせ、IN / OUT / SPLITボタンを押しながらTRIM + / -ボタンを押すと、IN点、OUT点、SPLIT点の色が変わり、IN点、OUT点、SPLIT点を1フレームずつ増加(+)/減少(-)させることができます。その後ENTRYを押すと、元の色に戻り、変更が反映されます。

◆NOTE:

- 24PNのときは4フレーム単位で変更できます。

13.UNITY / VAR / チャンネル選択スイッチと

オーディオ再生レベル調整ボリューム

- オーディオの再生および追加記録をするときになどに、再生信号のチャンネルの選択とレベルコントロールを行います。

14.A.DUBボタン

オーディオの再生および追加記録するときに使用します。

→「オーディオを追加記録する(簡易ボイスオーバー)」を参照。

15.STILL / PAUSEボタン

16.REVIEWボタン

カーソル位置のイベントのレビューを行うときに、SHIFTボタンを押しながらPLAYボタンを押します。IN点前(3秒)からOUT点後(1秒)が再生され、停止します。

17.RESETボタン

17[RESET]+6[IN] / 9[OUT] / 22[SPLIT]ボタン

イベント登録画面でIN / OUT / SPLITボタンを押しながらRESETボタンを押すと、それぞれ選択したイベントのIN点、OUT点、SPLIT点を削除できます。

10[SHIFT]+17[RESET]ボタン

プレイリスト画面でSHIFTボタンを押しながらRESETボタンを押すと、新規プレイリストファイルを作成([FILE]-[NEW]と同じ操作)できます。

18.MOVEボタン

プレイリスト表示中に、イベントを別の行へ移動したいときに使用します。プレイリスト表示中に移動したいイベントをSETボタンにより選択します。その後、移動したい行へカーソルを移動し、このボタンを押すと、選択していたイベントをカーソル位置の1つ前へ移動することができます。

19.GO TOボタン

19[GO TO]+6[IN] / 9[OUT] / 22[SPLIT]ボタン

イベント登録モード(EVENTボタン点灯中)で、IN点、OUT点、SPLIT点にシークするときに使用します。再生・静止などの再生動作中に、IN / OUT / SPLITボタンを押しながらGO TOボタンを押すと、IN点、OUT点、SPLIT点に移動し、動作が継続されます。

20.DELETEボタン

プレイリスト表示中に、イベントを削除したいときに使用します。対象のイベントにカーソルを合わせてSETボタンを押して選択し、SHIFTボタンを押しながらINSERTボタンを押すと、選択したイベントを削除できます。

21.INSERTボタン

プレイリスト表示中に、新規にイベント行を追加したいときに使用します。プレイリスト中の挿入したい行にカーソルを合わせてこのボタンを押すと、その行にイベントを追加する画面に切り替わり、イベントを登録できます。

22.SPLITボタン

7.ENTRYボタン、12.TRIM+ / -ボタン、17.RESETボタンの説明をご覧ください。

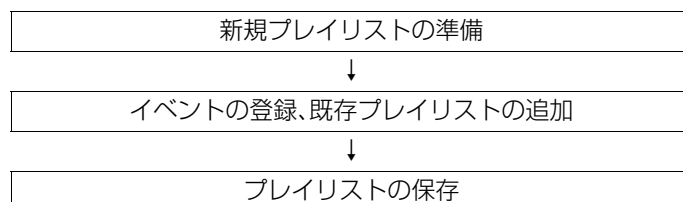
23.EVENTボタン

プレイリスト表示中に、このボタンを押すとイベント登録モードとなります。このとき画面は映像出力となります。

プレイリストを作成する

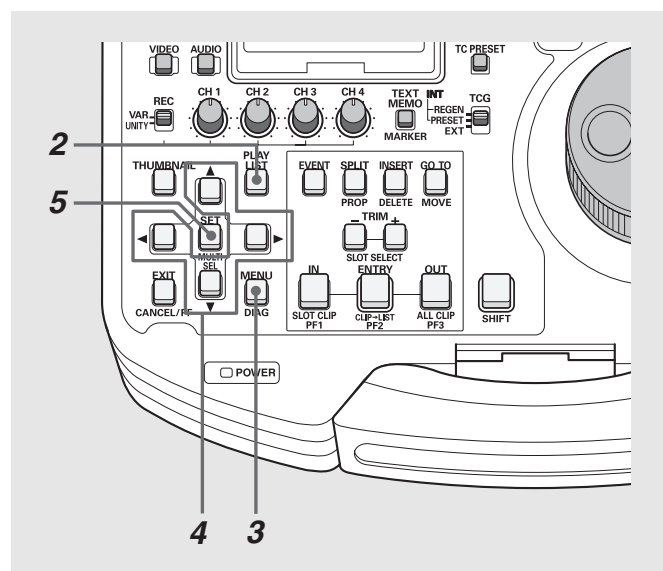
次の流れでプレイリストを作成します。

プレイリストの最大時間は24時間です。24時間を超えるリストは作成できません。



新規プレイリストの準備

本機メモリーのプレイリスト領域に保存されているプレイリストを削除し、新しいプレイリストを準備します。



1 セットアップメニューで編集フォーマットを設定する

- 編集フォーマットを設定します。設定したフォーマットのみ再生できます。
- 追加オーディオの再生チャンネルも設定します。

◆NOTE:

編集フォーマットは以下のセットアップメニューの設定内容により決まります。

- 020 SYS FORMAT(→「93 ページ」参照)
- 024 REC FMT(SD)(→「93 ページ」参照)
- 026 PLY LST FMT(→「93 ページ」参照)

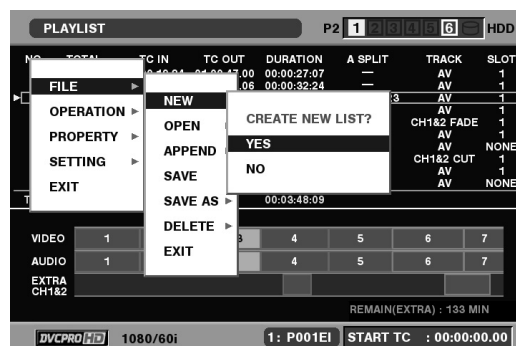
追加オーディオの設定は以下のセットアップメニューにより決まります。

- 792 A DUB CH(→「105 ページ」参照)
- 793 A DUB PB MIX(→「106 ページ」参照)
- 796 A DUB FADE(→「106 ページ」参照)

2 プレイリスト画面を表示する

3 MENUボタンを押す

4 十字カーソルボタンで[FILE] – [NEW]にカーソルを合わせる



◆NOTE:

SHIFTボタンを押しながらRESETボタンを押してもNEWを行います。

5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

表示中のプレイリストが削除され、何もイベントの設定されていない新しいプレイリストが表示されます。

◆NOTE:

- セットアップメニューにて編集フォーマットを変更した後は、必ず [FILE] – [NEW] を行ってください。行わないと編集フォーマットが変更されません。

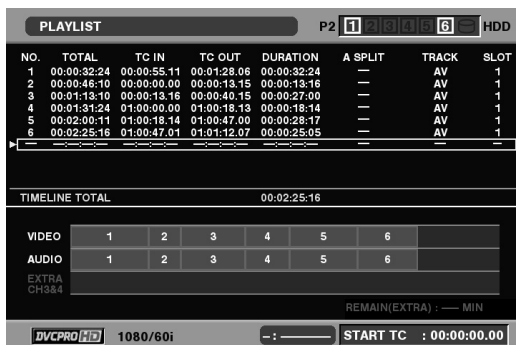
選択クリップのイベント登録

選択したクリップをプレイリストに追加します。この操作では、クリップの先頭をIN点、最後をOUT点とするイベントとして登録されます。

1 サムネイル画面でプレイリストに登録したいクリップを選択する



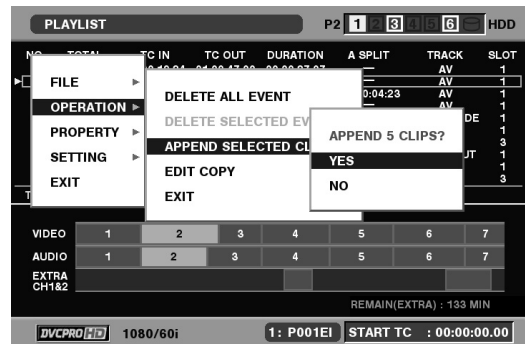
2 プレイリスト画面を表示する



3 十字カーソルボタンで、イベントを追加したい位置にカーソルを合わせる

4 MENUボタンを押す

5 十字カーソルボタンで [OPERATION] - [APPEND SELECTED CLIP]にカーソルを合わせる



6 SETボタンを押す

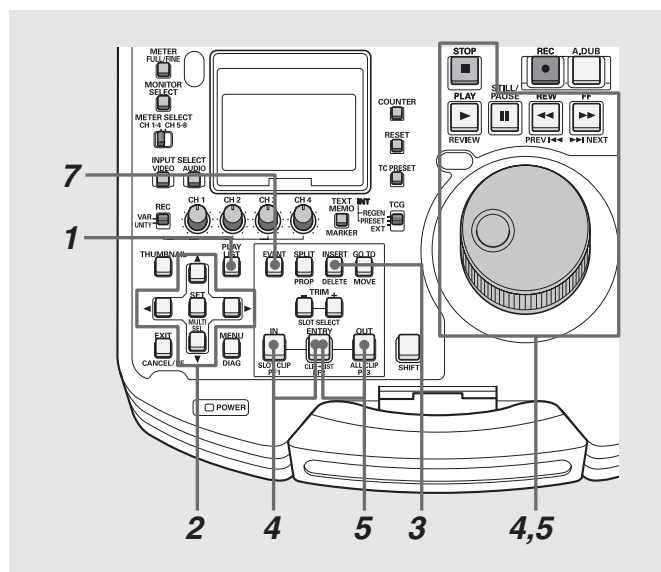
選択したクリップの先頭をIN点、最後をOUT点とするイベントが登録されます。

◆NOTE:

- 選択したクリップが現在のプレイリストのフォーマットと異なるときはエラーが表示され登録できません。
- プレイリスト画面でSHIFTボタンを押しながらENTRYボタンを押しても、クリップをイベントとして追加できます。
- 追加した結果、イベント数が100を超えるときは、追加できません。

映像からのイベント登録

映像を再生しながらIN点とOUT点を指定して、イベントを登録できます。



1 プレイリスト画面を表示する

2 十字カーソルボタンで、イベントを挿入したい位置もしくはイベントの登録されていない行にカーソルを合わせる

3 INSERT ボタンを押す

イベント登録モードに切り替わります。

4 IN点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを開始したい位置を探し、INボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

5 OUT点を登録する

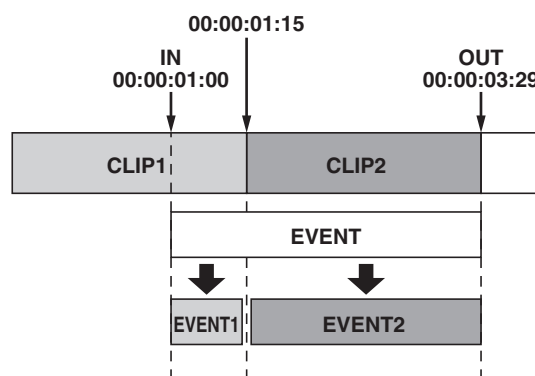
操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを終了したい位置を探し、OUTボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

6 必要に応じて手順4～5を繰り返し、別のイベントを登録する

7 EVENTボタンを押し、登録を終了する

◆NOTE:

- 各イベントのデュレーションが10フレーム以上になるように、IN点、OUT点を設定してください。短いイベントが続くと正しく再生できないことがあります。
- カーソル位置の次のイベントが未登録のときは、自動インクリメント機能でイベント番号が1ずつ増加します。
- 登録イベントが複数クリップにまたがっているときは、複数のイベントとして登録されます。

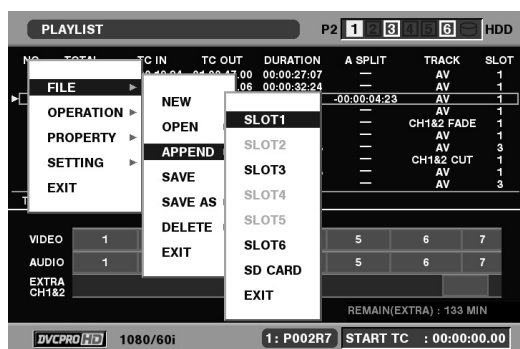


- IN点とOUT点の位置が逆になったときは、クリップの先頭がIN点として登録されます。

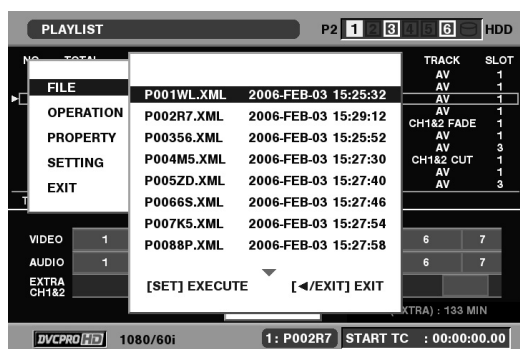
既存のプレイリストファイルの追加取り込み

P2カードに保存しているプレイリストを取り込んで、カーソル位置にイベントを追加します。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、イベントを挿入したい位置にカーソルを合わせる
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで[FILE] – [APPEND]にカーソルを合わせる



- 5 十字カーソルボタンで取り込み元のP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 ファイル取り込み画面でファイルを指定し、SET ボタンを押す



指定したプレイリストのイベントがカーソル位置に追加されます。

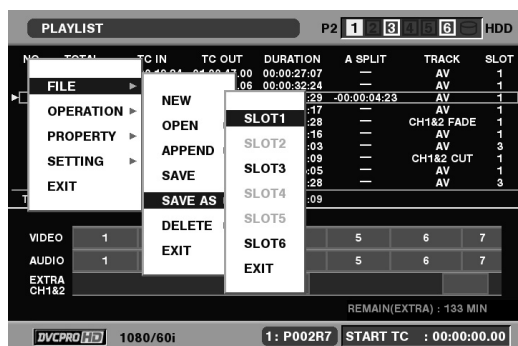
◆NOTE:

- 取り込むプレイリストファイルのフォーマットが現在のプレイリストのフォーマットと異なるときは、取り込めません。
- イベント数が100を超えると、100を超えた分のプレイリストデータは取り込めません。

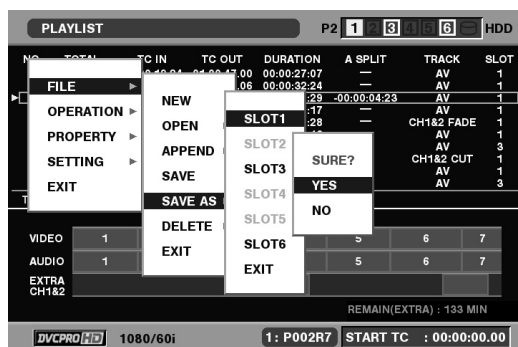
プレイリストを保存する

本機メモリーのプレイリスト領域に保存されているプレイリストを、次の操作でP2カードに保存できます。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[FILE]–[SAVE AS]にカーソルを合わせる



- 4 十字カーソルボタンで保存先のP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 5 ファイル保存画面でファイル名を確認し、[YES] にカーソルを合わせてSETボタンを押す



プレイリストが保存されます。

◆NOTE:

- ファイル名は自動で生成され、変更することはできません。パーソナルコンピューターなどで変更すると、読み込むことができません。

プレイリストを編集する

プレイリストにさまざまな編集を行うことができます。

既存のプレイリストファイルを開く

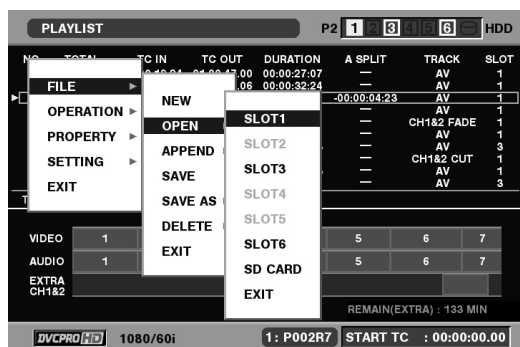
プレイリスト画面を表示すると、本機メモリーのプレイリスト領域のプレイリストが表示されます。

次の操作で、P2カードやSDメモリーカードに保存している既存のプレイリストを読み込んで、本機メモリーのプレイリスト領域のプレイリストと置き換えることができます。

1 プレイリスト画面を表示する

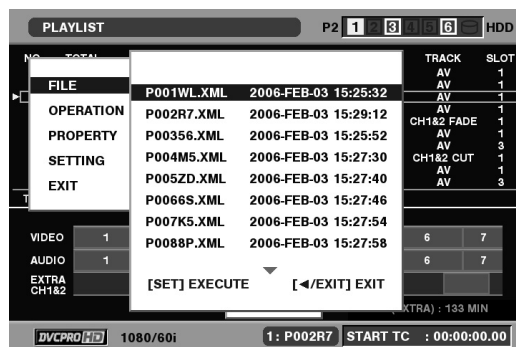
2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで [FILE] – [OPEN] にカーソルを合わせる

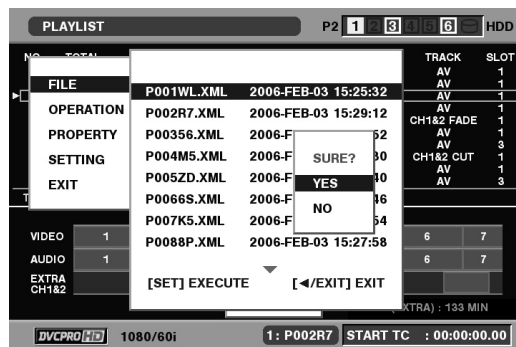


4 十字カーソルボタンで取り込み元の P2 カードスロット番号または [SD CARD] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

5 ファイル取り込み画面で取り込むファイルにカーソルを合わせ、SET ボタンを押す



6 確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す



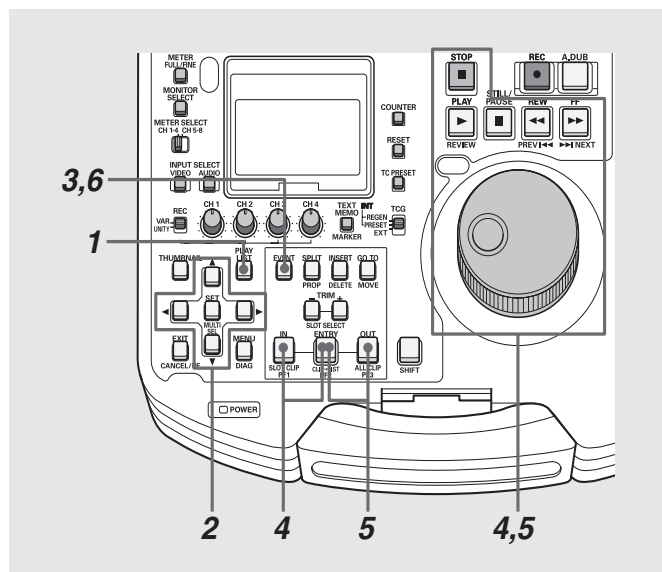
プレイリストが読み込まれます。

◆NOTE:

- イベント数が 100 を超えるプレイリストファイルを開いたときは、100 を超えた分のプレイリストデータは取り込まず、プレイリストも読み取り専用となります。
- AJ-SPD850で作成されたプレイリストファイルは本機では編集できないため、読み取り専用で開きます。編集するときには、一度保存をした後で行ってください。

イベントのIN点、OUT点の修正

映像を再生しながら、プレイリストのイベントのIN点、OUT点を修正できます。



1 プレイリスト画面を表示する

2 修正対象のイベントにカーソルを合わせる

3 EVENTボタンを押す

イベント登録モードに切り替わります。

4 IN点を再登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを開始したい位置を探し、INボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

5 OUT点を再登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを終了したい位置を探し、OUTボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

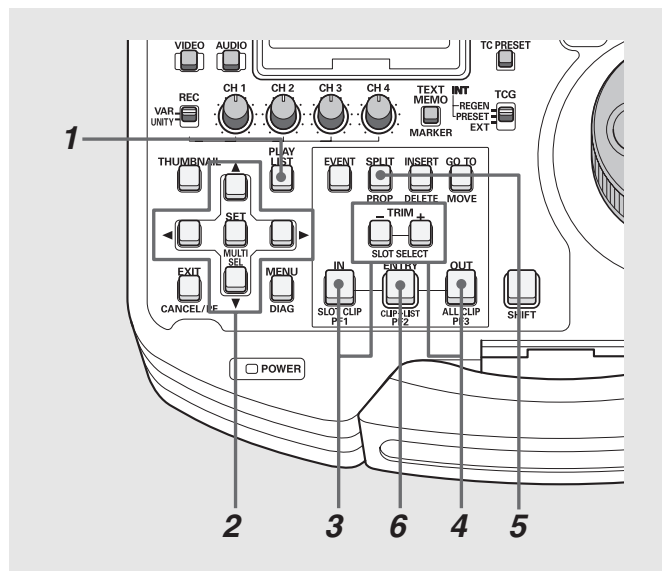
6 EVENTボタンを押し、修正を終了する

◆NOTE:

- 操作手順4と5は、必要に応じて一方だけを行ってもかまいません。
- 修正したIN点が、登録済みのOUT点よりも後になるときは、既存のOUT点はリセットされます。そのままプレイリスト画面に戻ると、OUT点はそのクリップの最後に自動登録されます。
- 修正したOUT点が、登録済みのIN点よりも前になるときは、プレイリスト画面へ戻ると、IN点はそのクリップの先頭に自動修正されて登録されます。
- オーディオが追加記録(ボイスオーバー)されたイベントは修正できません。ボイスオーバーを削除してからイベントを修正してください。

イベントのトリミング修正

イベントのIN点、OUT点をフレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で修正できます。



1 プレイリスト画面を表示する

2 修正対象のイベントにカーソルを合わせる

3 IN点を修正する

INボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。IN点が1フレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で増減します。

4 OUT点を修正する

OUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。OUT点が1フレーム(24PNのときは4フレーム)単位で増減します。

5 SPLIT点を修正する

SPLITボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。SPLIT点が1フレーム(24PNのときは4フレーム)単位で増減します。

6 ENTRYボタンを押し、修正を確定する

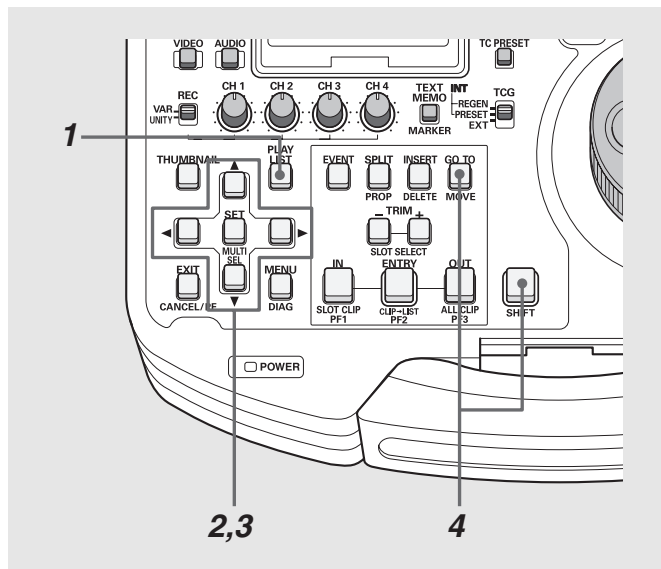
◆NOTE:

- 操作手順4と5は、必要に応じて一方だけを行ってもかまいません。
- 次のボタンを押しても変更を確定できます。
 - 下カーソルボタンを押す
 - SETボタンを押す

- 次のいずれかの操作を行うと、変更内容を破棄してプレイリスト画面に戻ります。
 - EXITボタンを押す
 - SHIFTボタンを押しながらEXITボタンを押す
 - PLAY LISTボタンを押す
- クリップの先頭と最後を越えて修正することはできません。
- IN点、OUT点が逆転するような修正はできません。
- オーディオが追加記録(ボイスオーバー)されたイベントは修正できません。ボイスオーバーを削除してからイベントを修正してください。
- イベント登録画面ではトリミングは行えません。

イベントの順序の変更

プレイリストのイベントを移動して、順序を変更できます。



◆NOTE:

- 連続した行をすばやく選択するにはSHIFTボタンを押しながらSETボタンを押す(MULTI SEL)と、前回SETボタンを押して選択したイベントからMULTI SELボタンを押したカーソル位置までの全イベントを選択することができます。
- 選択を解除するには選択状態のイベントにカーソルを合わせて、SETボタンを押すとその行の選択が解除されます。
- 選択を全解除するにはSHIFTボタンを押しながらEXITボタンを押すと、すべての行の選択状態が解除されます。

3 十字カーソルボタンで、移動先の位置にカーソルを合わせる

4 SHIFTボタンを押しながらGO TOボタンを押す

1 プレイリスト画面を表示する

2 移動対象のイベントにカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

PLAYLIST								P2	1	2	3	4	5	6	HDD	
NO.	TOTAL	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	TRACK	SLOT									
1	00:00:27:07	01:00:19:24	01:00:47:00	00:00:27:07	—	AV	1									
2	00:01:00:01	00:00:55:11	00:01:28:06	00:00:32:24	—	AV	1									
3	00:01:18:00	00:00:52:17	00:00:40:15	00:00:17:59	-00:00:04:23	AV	1									
4	00:01:46:17	01:00:18:14	01:00:47:00	00:00:28:17	—	AV	1									
+	01:00:27:21	01:00:39:18	00:00:11:28	—	—	CH1&2 FADE	1									
5	00:02:13:09	01:00:20:15	01:00:47:00	00:00:26:16	—	AV	1									
6	00:02:43:06	00:00:00:00	00:00:30:02	00:00:30:03	—	AV	3									
+	00:00:21:28	01:00:58:04	00:00:19:09	—	—	CH1&2 CUT	1									
7	00:03:08:11	01:00:47:01	01:01:12:07	00:00:25:05	—	AV	1									
8	00:03:48:09	00:01:28:07	00:02:08:06	00:00:39:28	—	AV	3									
TIMELINE TOTAL								00:03:48:09								
VIDEO								1	2	3	4	5	6	7		
AUDIO								1	2	3	4	5	6	7		
EXTRA CH1&2																
REMAIN(EXTRA) : 133 MIN																
DVCPRO HD 1080/60i 1: P002R7 START TC : 00:00:00.00																

イベントが選択され、青色で表示されます。必要に応じてこの操作を繰り返し、複数のイベントを選択します。

PLAYLIST								P2	1	2	3	4	5	6	HDD	
NO.	TOTAL	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	TRACK	SLOT									
1	00:00:27:07	01:00:19:24	01:00:47:00	00:00:27:07	—	AV	1									
2	00:01:00:01	00:00:55:11	00:01:28:06	00:00:32:24	—	AV	1									
3	00:01:18:00	00:00:52:17	00:00:40:15	00:00:17:59	-00:00:04:23	AV	1									
4	00:01:46:17	01:00:18:14	01:00:47:00	00:00:28:17	—	AV	1									
+	01:00:27:21	01:00:39:18	00:00:11:28	—	—	CH1&2 FADE	1									
5	00:02:13:09	01:00:20:15	01:00:47:00	00:00:26:16	—	AV	1									
6	00:02:43:06	00:00:00:00	00:00:30:02	00:00:30:03	—	AV	3									
+	00:00:21:28	01:00:58:04	00:00:19:09	—	—	CH1&2 CUT	1									
7	00:03:08:11	01:00:47:01	01:01:12:07	00:00:25:05	—	AV	1									
8	00:03:48:09	00:01:28:07	00:02:08:06	00:00:39:28	—	AV	3									
TIMELINE TOTAL								00:03:48:09								
VIDEO								1	2	3	4	5	6	7		
AUDIO								1	2	3	4	5	6	7		
EXTRA CH1&2																
REMAIN(EXTRA) : 133 MIN																
DVCPRO HD 1080/60i 1: P002R7 START TC : 00:00:00.00																

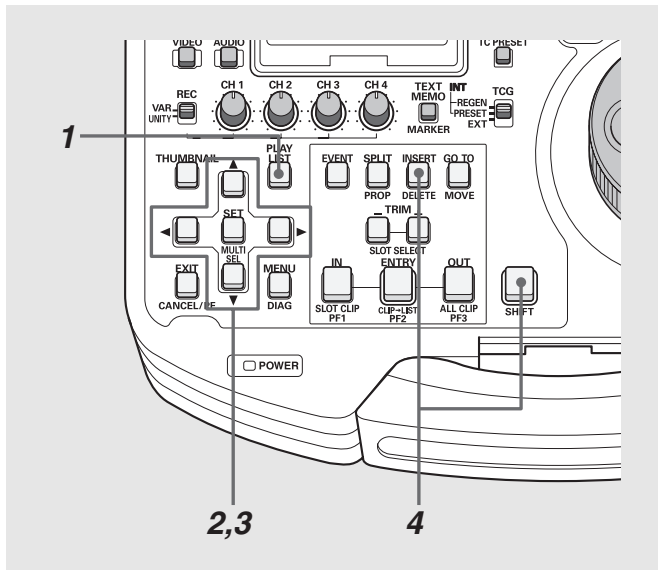
選択したイベントがカーソル位置の1つ前へ移動し、カーソル位置以下のイベントは下に移動します。

◆NOTE:

- オーディオが追加記録(ボイスオーバー)されたイベントのみを移動することはできません。追加記録のオーディオとまとめて移動してください。

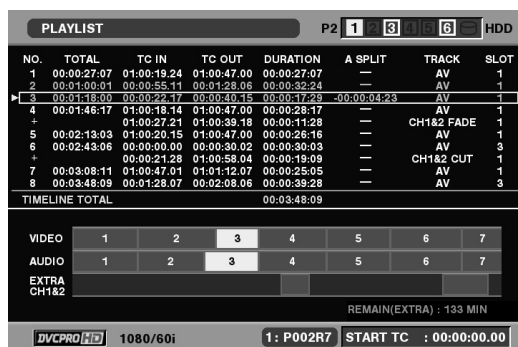
イベントの削除

プレイリストから次の操作でイベントを削除できます。



1 プレイリスト画面を表示する

2 修正対象のイベントにカーソルを合わせ、SET ボタンを押す



イベントが選択され、青色で表示されます。
必要に応じてこの操作を繰り返し、複数のイベントを選択します。

◆NOTE:

- 連続した行をすばやく選択するにはSHIFTボタンを押しながらSETボタンを押す(MULTI SEL)と、前回SETボタンを押して選択したイベントから、MULTI SELボタンを押したカーソル位置までの全イベントを選択することができます。
- 選択を解除するには選択状態のイベントにカーソルを合わせて、SETボタンを押すとその行の選択が解除されます。
- 選択を全解除するにはSHIFTボタンを押しながらEXITボタンを押すと、すべての行の選択状態が解除されます。

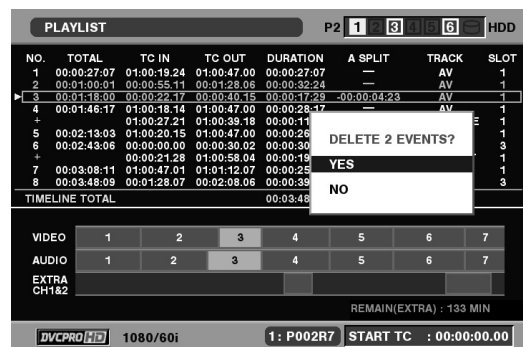
3 MENUボタンを押す

64 プレイリストの利用：プレイリストを編集する

4 十字カーソルボタンで、[OPERATION] – [DELETE SELECTED EVENT]にカーソルを合わせる

5 SETボタンを押す

6 削除の確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



選択したイベントが削除されます。

◆NOTE:

- 手順3でSHIFTボタンを押しながらINSERTボタンを押しても、選択イベントの削除ができません。
- オーディオが追加記録(ボイスオーバー)されたイベントのみを削除することはできません。追加記録のオーディオを削除してから削除、もしくはまとめて削除してください。

全イベントをまとめて削除するには

オペレーションメニューからイベントを一括削除できます。

1 プレイリスト画面を表示する

2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [DELETE ALL EVENT]にカーソルを合わせる



4 SETボタンを押す

5 削除の確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

プレイリストのイベントがすべて削除されます。

イベントの上書き保存

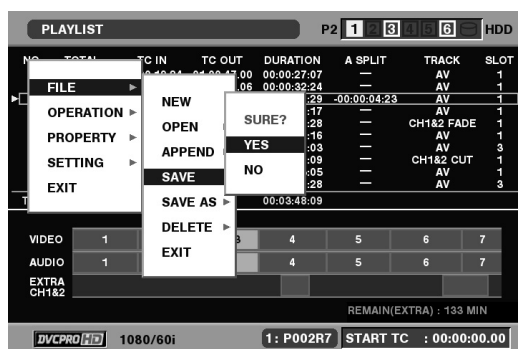
プレイリストファイルを読み込んで編集しているときや、編集集中にすでに[FILE]－[SAVE AS]で保存を行っているときは、次の操作で上書き保存できます。

一度も保存していないときは、SAVE ASで保存を行ってください。

1 プレイリスト画面を表示する

2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで[FILE]－[SAVE]にカーソルを合わせる



4 SETボタンを押す

5 確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

プレイリストが上書き保存されます。

オーディオスプリットを設定する

プレイリストにおいてビデオのIN点を基準とし、オーディオのIN点をずらす(オーディオのIN点スプリット)ことができます。このとき、オーディオのチャンネルを指定することはできません。全チャンネルをまとめてずらすのみとなります。

プレイリストの例1

新規スプリットイベント **6**
オーディオ先行 **6**

Timeline diagram showing video tracks 4, 5, 6, 7 and audio tracks 4, 5, 6, 7. Track 6 is highlighted in grey. A double-headed arrow labeled '6/A-' indicates the audio split point occurring before the video track 6 starts.

NO.	TOTAL	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	TRACK	SLOT
1	00:00:27:07	01:00:19:24	01:00:47:00	00:00:27:07	—	AV	1
2	00:01:00:01	00:00:55:11	00:01:28:06	00:00:32:24	—	AV	1
3	00:01:18:00	00:00:22:17	00:00:40:15	00:00:17:29	-00:00:08:15	AV	1
4	00:01:46:17	01:00:18:14	01:00:47:00	00:00:28:17	—	AV	1
5	00:02:13:03	01:00:20:15	01:00:47:00	00:00:26:16	—	CH1&2 FADE	1
6	00:02:43:06	00:00:00:00	00:00:30:02	00:00:30:03	—	AV	3
7	00:03:08:11	00:00:21:28	01:00:58:04	00:00:19:09	—	CH1&2 OUT	1
8	00:03:48:09	01:00:47:01	01:01:12:07	00:00:25:05	—	AV	1
8	00:03:48:09	00:01:28:07	00:02:08:06	00:00:39:28	—	AV	3
TIMELINE TOTAL				00:03:48:09			

VIDEO: 1 2 3 4 5 6 7
AUDIO: 1 2 3 4 5 6 7
EXTRA CH1&2
REMAIN(EXTRA) : 133 MIN
DVCPRO HD 1080/60i 1: P002R7 START TC : 00:00:00.00

プレイリストの例2

新規スプリットイベント **6**
オーディオ遅延 **6**

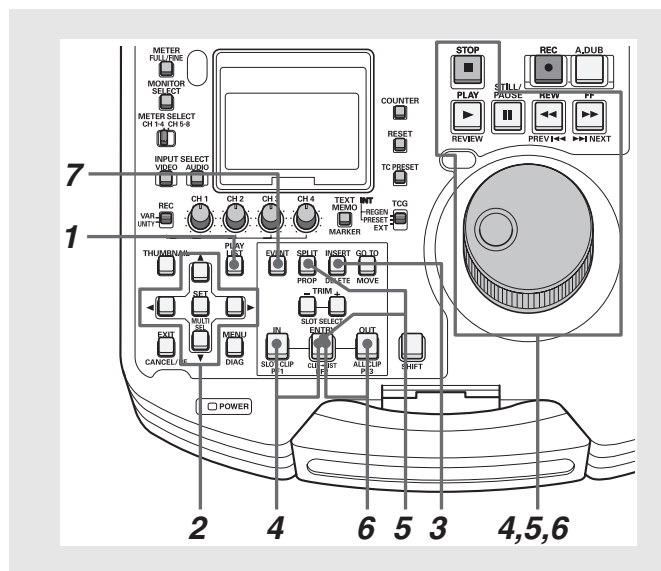
Timeline diagram showing video tracks 4, 5, 6, 7 and audio tracks 4, 5, 6, 7. Track 6 is highlighted in grey. A double-headed arrow labeled '6/A+' indicates the audio split point occurring after the video track 6 starts. A callout box points to the audio track 6 with the text "無音となります" (becomes silent).

映像からの登録

オーディオスプリットを設定したイベントを新規に登録するときは、次のように操作します。

◆NOTE:

- すでに登録しているイベントにオーディオスプリットを追加するときは、「スプリット点の追加登録」の方法で行います。



1 プレイリスト画面を表示する

2 十字カーソルボタンで、イベントを挿入したい位置にカーソルを合わせる

3 INSERT ボタンを押す

イベント登録モードに切り替わります。

4 IN点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを開始したい位置を探し、INボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

5 オーディオのSPLIT点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してオーディオのSPLIT点にしたい位置を探し、SPLITボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

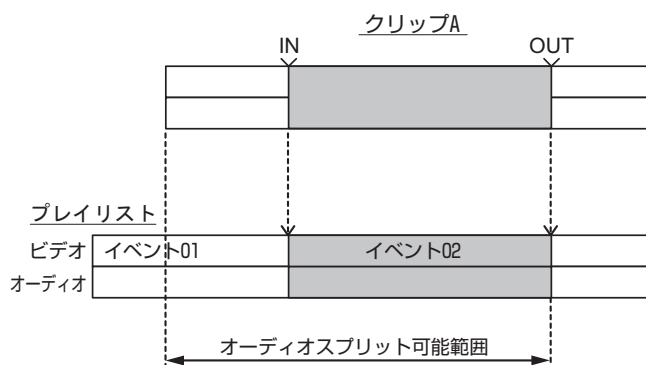
6 OUT点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを終了したい位置を探し、OUTボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

7 EVENTボタンを押し、登録を終了する

◆NOTE:

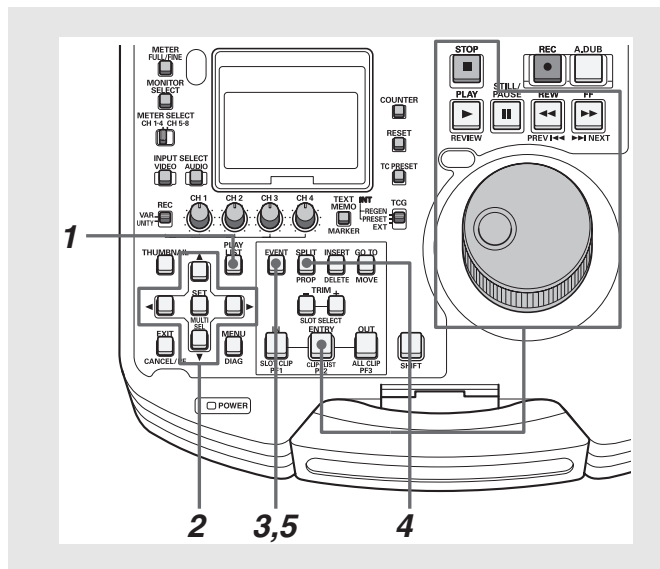
- スプリット表示で、-は前方向、+は後ろ方向にずれていることを表します。
- スプリットの登録範囲は、元のクリップの先頭からイベントのOUT点までとなります。



- IN点はSPLIT点より先に決めてください。
- クリップの先頭がIN点のイベントは、オーディオ先行のスプリットはできません。
- INSERTボタンによるイベントの新規登録のとき、あるいは最後のイベントへのEVENTボタン押しによるイベント登録のときは、OUT点を登録すると次のイベントの登録へ移るため、SPLIT点はOUT点より先に登録してください。

スプリット点の追加登録（登録点修正）

プレイリストに登録されているイベントにオーディオスプリットの設定の追加や、オーディオスプリット点の修正を行うことができます。



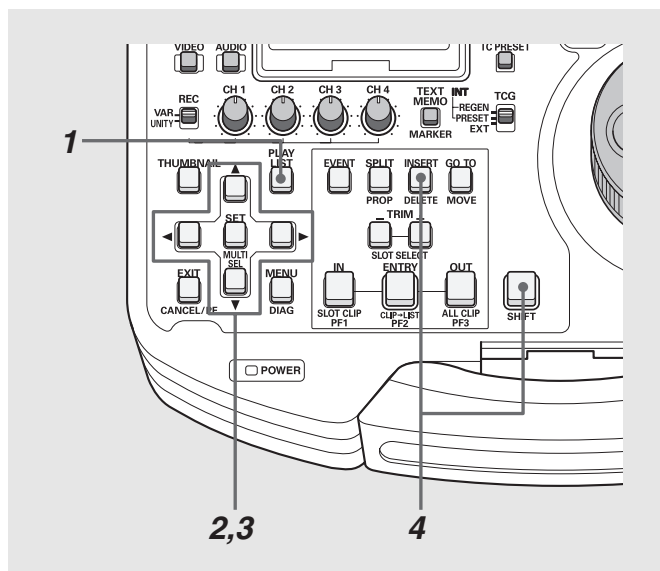
- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、SPLIT点を追加(または修正)したいイベントにカーソルを合わせる
- 3 EVENTボタンを押す
イベント登録モードに切り替わります。
- 4 オーディオのSPLIT点を登録する
操作ボタン/サーチダイヤルを操作してオーディオのSPLIT点にしたい位置を探し、SPLITボタンを押しながらENTRYボタンを押します。
- 5 EVENTボタンを押し、登録を終了する

◆NOTE:

- 手順4の前にIN点の変更操作を行ったり、手順4の後でOUT点の変更操作を行っても追加できます。

オーディオスプリット点のトリミング

オーディオSPLIT点をフレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で修正できます。



3 SPLIT点を修正する

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、SPLIT点を修正したいイベントにカーソルを合わせる

NO.	TOTAL	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	TRACK	SLOT
1	00:00:27.07	01:00:19.24	01:00:17.00	00:00:27.07	—	AV	1
2	00:01:00.01	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32.24	—	AV	1
3	00:01:18.00	00:00:22.17	00:00:40.15	00:00:17.29	00:00:04.25	AV	1
4	00:01:46.17	01:00:18.14	01:00:47.00	00:00:28.17	—	AV	1
+	01:00:27.21	01:00:39.18	00:00:11.28	—	—	CH1&2 FADE	1
5	00:02:13.03	01:00:20.15	01:00:47.00	00:00:26.16	—	AV	1
6	00:02:43.06	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30.03	—	AV	3
+	00:00:21.28	01:00:58.04	00:00:19.09	—	—	CH1&2 CUT	1
7	00:03:08.11	01:00:47.01	01:01:12.07	00:00:25.05	—	AV	1
8	00:03:48.09	00:01:28.07	00:02:08.06	00:00:39.29	—	AV	3
TIMELINE TOTAL							
		00:00:48.09					
VIDEO	1	2	3	4	5	6	7
AUDIO	1	2	3	4	5	6	7
EXTRA							
CH1&2							
REMAIN(EXTRA) : 133 MIN							
DVCPRO 1080/60i 1: P002R7 START TC : 00:00:00.00							

SPLITボタンを押しながらTRIM+ボタンまたはTRIM-ボタンを押します。IN点が入力1フレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で増減します。

◆NOTE:

- トリミング中は、プレイリスト画面のイベントリスト表示でスプリット部分が黄色地に黒色の数字で表示されます。

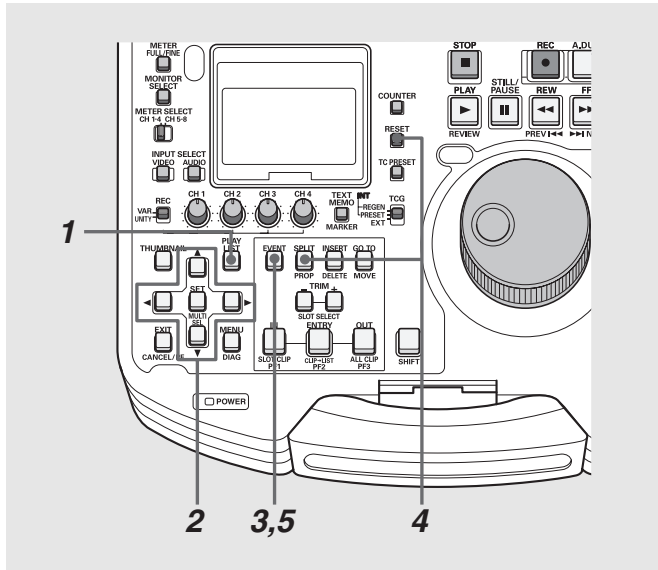
4 ENTRYボタンを押し、修正を確定する

◆NOTE:

- 元のクリップの記録開始点を超えてのトリミングはできません。
- イベント登録モードではトリミングは行えません。

オーディオスプリット設定の解除

オーディオスプリットの設定を、次の操作で解除できます。



3 SPLITボタンを押しながらRESETボタンを押す
オーディオスプリットの設定が解除されます。

◆NOTE:

- スプリット設定の解除は、プレイリスト画面とイベント登録モードのどちらでも行うことができます。
- イベントのIN点を削除、または異なるクリップへ移動したときにも、オーディオスプリットが解除されます。

1 プレイリスト画面を表示する

2 十字カーソルボタンで、オーディオスプリット設定を解除したいイベントにカーソルを合わせる

NO.	TOTAL	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	TRACK	SLOT
1	00:02:27.07	01:00:19.24	01:00:47.00	00:00:27.07	—	AV	1
2	00:01:00.01	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32.24	—	AV	1
3	00:01:18.00	00:00:22.17	00:00:40.15	00:00:17.29	-00:00:04.25	AV	1
4	00:01:46.17	01:00:18.14	01:00:47.00	00:00:28.17	—	AV	1
+		01:00:27.21	01:00:39.18	00:00:11.28	—	CH1&2 FADE	1
5	00:02:18.09	01:00:20.15	01:00:47.00	00:00:26.16	—	AV	1
6	00:02:43.08	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30.03	—	AV	3
+		00:00:21.28	01:00:58.04	00:00:19.09	—	CH1&2 CUT	1
7	00:03:08.11	01:00:47.01	01:01:12.07	00:00:25.05	—	AV	1
8	00:03:48.09	00:01:28.07	00:02:08.06	00:00:39.28	—	AV	3
TIMELINE TOTAL				00:03:48.09			
VIDEO	1	2	3	4	5	6	7
AUDIO	1	2	3	4	5	6	7
EXTRA CH1&2							
REMAIN(EXTRA) : 133 MIN							
DVCPRO HD 1080/60i 1: P002R7 START TC : 00:00:00.00							

オーディオを追加記録する（簡易ボイスオーバー）

オーディオの追加記録を行い、追加記録した音声を優先して再生できます。
記録チャンネル数は1あるいは2チャンネルです。記録時に入力チャンネルと、再生音とのミックスを指定することもできます。

◆NOTE:

- 追加記録のオーディオデータは、プレイリストを保存しているカードのプレイリストと同じフォルダーに書き込まれます。したがって、オーディオ記録の前にはプレイリストを保存しておく必要があります。保存していないときはエラーとなり、記録できません。
- 最大記録時間は約720分です。
- 追加記録できるオーディオの数は最大99です。
- プレイリストを保存するときは、P2カードの残量を確認して保存してください。残量が少ないと、ボイスオーバーを記録できる時間も少なくなります。P2カードがFULLのときはエラーとなり、記録することができません。

オーディオ追加記録の準備

オーディオ記録を行う前に、関連するセットアップメニューの設定を行います。

→設定操作については、「セットアップ」を参照。

記録トラックを設定する

セットアップメニューNo.792(A DUB CH)で、オーディオ追加記録を行うトラックを、次のいずれかに設定します。

CH1、CH2、CH3、CH4、CH1+2、CH3+4

◆NOTE:

- 記録トラックの設定は、追加記録したオーディオがプレイリストにない状態で有効です。追加記録したオーディオがあるときには、以降の追加記録もその記録トラックに従います。

再生音とのミックスを設定する

セットアップメニューNo.793(A DUB PB MIX)で、オーディオ追加記録をするときに再生音をミックスするかどうかを設定します。

ミックスするときは、さらにセットアップメニューのサブ画面でミックスする再生チャンネルを選択します。

選択したチャンネルの再生音声はA DUB CHとミックスされ、記録されます。

A DUB CHが複数あるときはそれぞれ設定します。

オーディオIN点、OUT点の音のつなぎ方を設定する

セットアップメニューNo.796(A DUB FADE)で、オーディオ追加記録を行うときの下地の音とのつなぎをカットでつなぐか、Vフェード処理でつなぐかを設定します。

A DUB時の出力音声を設定する

セットアップメニューNo.797(A DUB MONI)で、オーディオ追加記録実行中の記録音声を出力するかどうかを選択します。

設定例

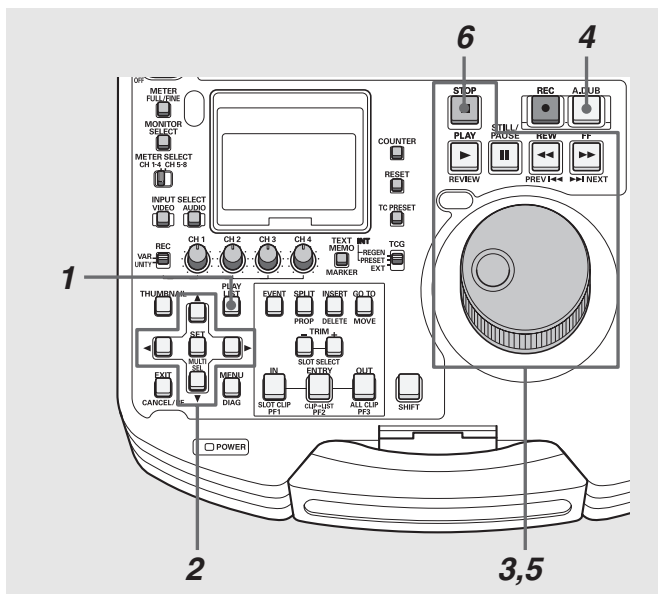
アナログCH2にマイクを入力し、CH2の再生音にマイクをミックスしてCH2にカットつなぎで記録する。記録時には、ヘッドホンで再生音を聞く。

記録トラック設定	A DUB CH=CH2
再生音とのミックス設定	A DUB PB MIX=ON CH2 MIX= CH2
オーディオの音のつなぎ方設定	A DUB FADE = CUT
A DUB時の同時再生設定	A DUB MONI = OFF

◆NOTE:

- SDI入力の音声をミックスするときは、リファレンス信号を入力してください。
- IEEE1394入力の音声をオーディオ追加記録することはできません。


静止画状態からの追加記録



1 プレイリスト画面を表示する

2 十字カーソルボタンで、オーディオ追加記録を行うイベントにカーソルを合わせる


3 オーディオを追加記録する位置を探す

操作ボタン／サーチダイヤルを操作して、オーディオを追加記録する位置でSTILL  を押します。

4 A.DUBボタンを押す

STILLの位置で静止画を出力したままA DUB PAUSE状態になります。

5 STILL ボタンを押す

再度STILL  ボタンを押し、音を記録します。

2秒間オートバックし、2秒間のショートプレイ後、音が記録されます。

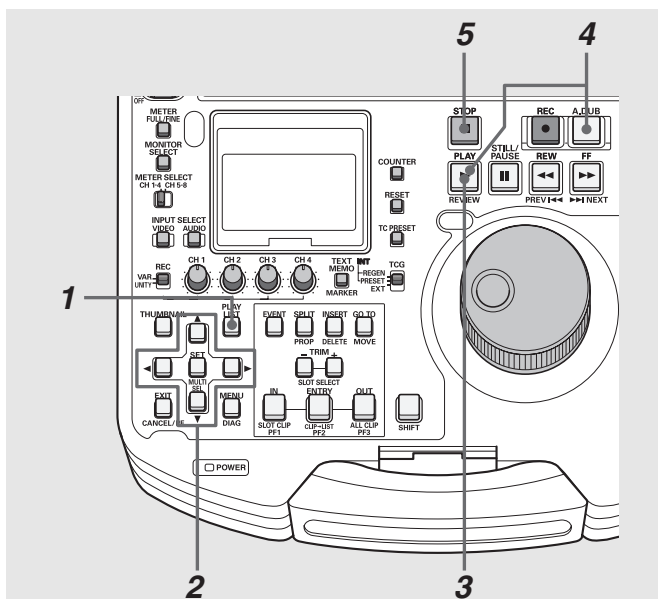
必要に応じてVR(オーディオボリューム)を操作し、再生音のレベル調整を行います。

6 STOP ボタンを押してオーディオ追加記録を終了する

◆NOTE:

- セットアップメニューNo.026 (PLY LST FMT) で設定しているプレイリストのフォーマットが24PNのときは、オーディオ追加記録のIN点、OUT点は4フレーム単位で設定されます。それ以外の点で記録を開始または終了したときは、IN点、OUT点とも記録範囲の内側へ自動的に補正されます。
- イベントの先頭からオーディオを追加記録するときは、オートバックの時間が短すぎると記録できません。オートバックの時間は2秒以上確保してください。

再生状態からの追加記録



1 プレイリスト画面を表示する

2 十字カーソルボタンで、オーディオ追加記録を行うイベントにカーソルを合わせる

3 オーディオを追加したい位置より前からPLAY ボタンで再生する

4 追加開始位置でA.DUBボタンを押しながらPLAY ボタンを押す

音の記録が始まります。

必要に応じてVR(オーディオボリューム)を操作し、再生音のレベル調整を行います。

5 STOP ボタンを押してオーディオ追加記録を終了する

◆NOTE:

- セットアップメニューNo.026 (PLY LST FMT) で設定しているプレイリストのフォーマットが24PNのときは、オーディオ追加記録のIN点、OUT点は4フレーム単位で設定されます。それ以外の点で記録を開始または終了したときは、IN点、OUT点とも記録範囲の内側へ自動的に補正されます。

追加記録したオーディオのイベント表示について

追加記録したオーディオは、プレイリスト画面では、次のように表示されます。

NO.	TOTAL	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	TRACK	SLOT
1	00:00:27.07	01:00:19.24	01:00:47.00	00:00:27.07	—	AV	1
2	00:01:00.01	00:00:55.11	00:01:29.05	00:00:32.24	—	AV	1
3	00:01:18.00	00:00:22.17	00:00:40.15	00:00:17.29	-00:00:04.23	AV	1
4	00:01:46.17	01:00:18.14	01:00:47.00	00:00:28.17	—	AV	1
+	01:00:27.21	01:00:38.15	00:00:11.28	—	—	CH1&2 FADE	1
5	00:02:13.03	01:00:20.15	01:00:47.00	00:00:26.16	—	AV	1
6	00:02:43.06	00:00:30.00	00:00:30.02	00:00:30.03	—	AV	3
+	00:00:21.28	01:00:58.04	00:00:19.09	—	—	CH1&2 CUT	1
7	00:03:08.11	01:00:47.01	01:01:12.07	00:00:25.05	—	AV	1
8	00:03:48.09	00:01:28.07	00:02:08.06	00:00:39.28	—	AV	3

TIMELINE TOTAL 00:03:48.09

REMAIN(EXTRA) : 133 MIN

DVCPRO HD 1080/60i 1: P002R7 START TC : 00:00:00.00

1) プレイリスト部

- オーディオの記録開始点のあるイベントの次の行に追加されます。
- NO.には、イベント番号ではなく「+」が表示されます。
- TRACKには、記録チャンネルと音のつなぎ方が表示されます。
- SLOTには、オーディオデータを記録したP2カードスロット番号(プレイリストを保存したP2カードスロットと同じ)が表示されます。

2) タイムライン部

- 拡張トラックとしてEXTRA部に表示されます。
- 記録したチャンネル番号を合わせて表示します。

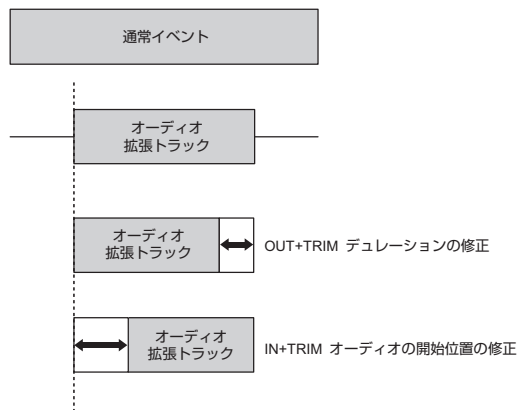
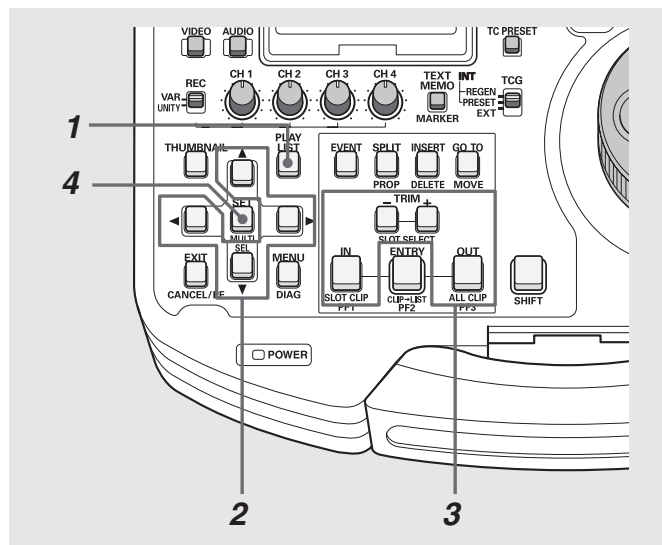
◆NOTE:

- TRIMボタンで拡大(+)/縮小(-)表示ができます。

オーディオの記録位置のトリミング修正

追加記録したオーディオの記録位置を1フレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で調整できます。

3 次の操作でオフセットとデュレーションを修正する



1 プレイリスト画面を表示する

2 修正対象のイベントにカーソルを合わせる

開始位置の修正: INボタンを押しながらTRIM+ボタンまたはTRIM-ボタンを押します。開始位置が1フレーム(24PNのときは4フレーム)単位で増減します。

終了位置の修正: OUTボタンを押しながらTRIM+ボタンまたはTRIM-ボタンを押します。OUT点が1フレーム(24PNのときは4フレーム)単位で増減します。

4 ENTRYボタンを押し、修正を確定する

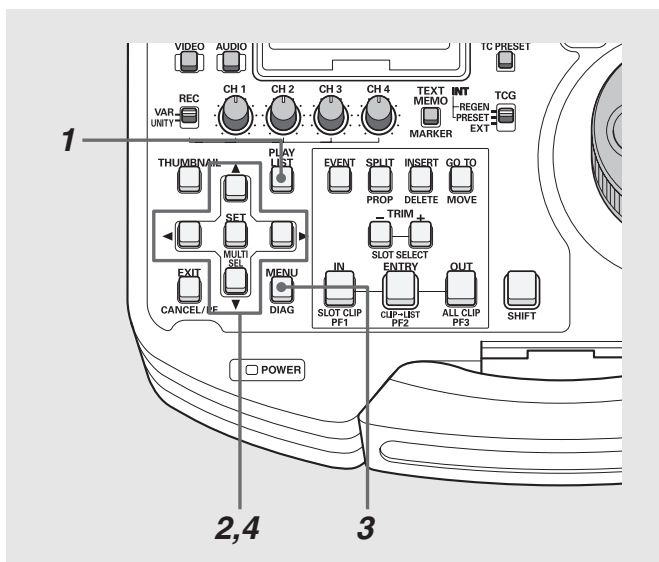
◆NOTE:

- ENTRYボタン以外に、SETボタンや十字カーソルボタンでポインターを移動させても修正は確定します。

イベントの情報を表示する

イベントのプロパティの表示

イベントの各種情報を表示して、内容を確認できます。



◆NOTE:

- イベント情報画面は、手順2のときにSHIFTボタンを押しながら SPLITボタンを押しても表示されます。
- イベント情報表示中に、十字カーソルボタンで前後のイベント表示へ移動することができます。

1) イベントの情報

- イベント番号
- IN点、OUT点のサムネールとTC値
- TOTAL (1番イベント先頭から現在のイベントの最後までまでの長さ)
- DURATION (イベント長)
- A SPLIT (オーディオスプリット長)
- TRACK (トラック状態: AV=オーディオとビデオ / CH+ =CH*オーディオのみ)

2) イベントの元クリップ情報

- クリップの番号(サムネール表示時の番号と同じ)
- クリップのサムネール
- 各種インジケーターとライトプロテクト状態
- CLIP NAME (クリップ名)
- START TC (タイムコード開始値)
- START UB (ユーザーズビット開始値)
- DATE (記録日付)
- TIME (記録時間)
- USER CLIPNAME (ユーザークリップ名)

3) タイムライン

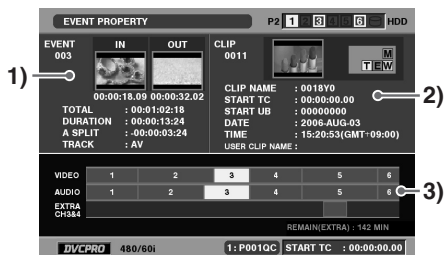
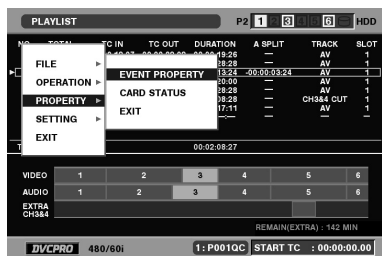
5) EXITボタンを押して、情報の表示を終了する

1 プレイリスト画面を表示する

2 十字カーソルボタンで、情報を表示するイベントにカーソルを合わせる

3 MENUボタンを押す

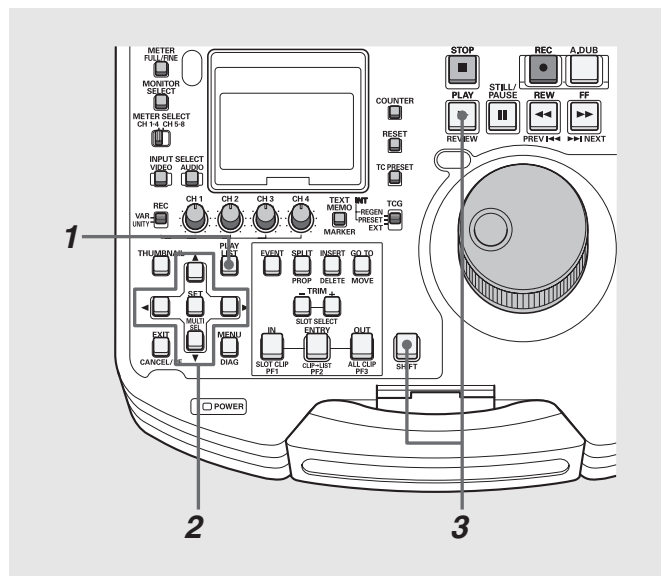
4 十字カーソルボタンで [PROPERTY] - [EVENT PROPERTY]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



イベントの情報が表示されます。

イベントのレビュー

イベントのIN点とOUT点の間を再生し、内容を確認できます。



1 プレイリスト画面を表示する

2 十字カーソルボタンで、レビューしたいイベントにカーソルを合わせる

PLAYLIST								P2	1	3	6	HDD
NO.	TOTAL	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	TRACK	SLOT					
1	00:00:27.07	01:00:19.24	01:00:47.00	00:00:27.07	—	AV	1					
2	00:01:00.01	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32.24	—	AV	1					
3	00:01:18.00	00:00:22.17	00:00:40.15	00:00:17.29	-00:00:04.23	—	AV					
4	00:01:46.17	01:00:18.14	01:00:47.00	00:00:28.17	—	AV	1					
+	01:00:27.24	01:00:39.18	00:00:11.23	—	—	CH1&2	FADE					
5	00:02:13.03	01:00:20.15	01:00:37.00	00:00:26.16	—	AV	1					
6	00:02:43.06	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30.03	—	AV	3					
+	—	00:00:21.29	01:00:58.04	00:00:19.09	—	CH1&2	CUT					
7	00:03:08.11	01:00:47.01	01:01:12.07	00:00:25.05	—	AV	1					
8	00:03:48.09	00:01:28.07	00:02:08.06	00:00:39.28	—	AV	3					
TIMELINE TOTAL				00:03:48:09								
VIDEO	3	4	5	6	7							
AUDIO	3	4	5	6	7							
EXTRA												
CH1&2												
								REMAIN(EXTRA) : 133 MIN				
DVCPRO HD 1080/60i								1: P002R7 START TC : 00:00:00.00				

3 SHIFTボタンを押しながらPLAY▶ボタンを押す IN点前(プリロール時間は3秒)からOUT点後(ポストロール時間は1秒)の間が再生されます。

◆NOTE:

- 先頭および最後のクリップでは、それぞれプリロール時間、ポストロール時間は0秒となります。
- レビュー終了あるいは STOP ■ ボタンを押したときは再生が停止し、プレイリスト画面に戻ります。
レビュー中、STOP ■ ボタン以外は無効になります。
- レビュー実行中に、再度レビューを行うこともできます。

プレイリストを再生する

再生時のタイムコード (TC) の設定

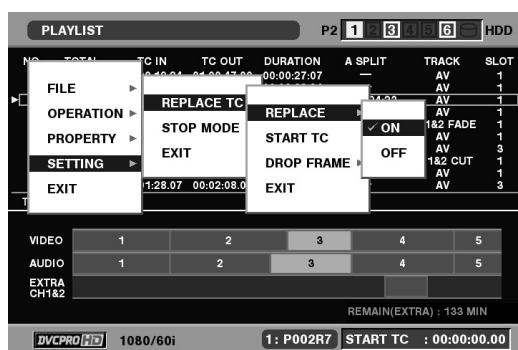
プレイリスト再生時にタイムコードを連続した値に付け替えて出力するのか、各クリップのタイムコードをそのまま出力するのかを切り替えることができます。

タイムコードを付け替えて出力するとき、タイムコードの開始値を設定することもできます。

1 プレイリスト画面を表示する

2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで[SETTING]—[REPLACE TC]—[REPLACE]にカーソルを合わせる



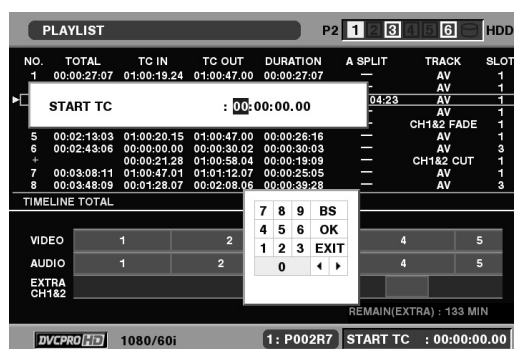
4 [ON]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

この設定により、再生時にタイムコードの付け替えが行われます。

◆NOTE:

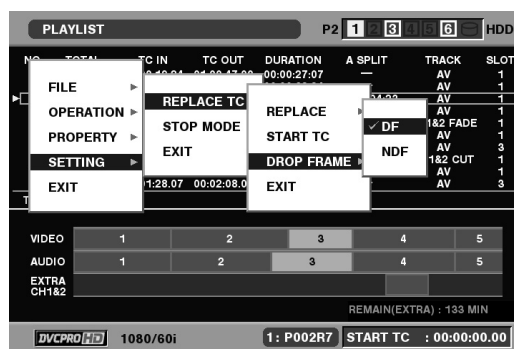
- [OFF] にすると、付け替えは行われず、各クリップのタイムコードがそのまま出力されます。
- [OFF]に設定したときは、手順7に進んで、設定を終了します。

5 十字カーソルボタンで[SETTING]—[REPLACE TC]—[START TC]にカーソルを合わせてSETボタンを押し、タイムコードの開始値を入力する



付け替えるタイムコードの開始値の初期値は 00:00:00:00 です。

6 十字カーソルボタンで[SETTING]—[REPLACE TC]—[DROP FRAME]にカーソルを合わせてSETボタンを押し、[DF](ドロップフレーム)または [NDF](ノンドロップフレーム)を設定する



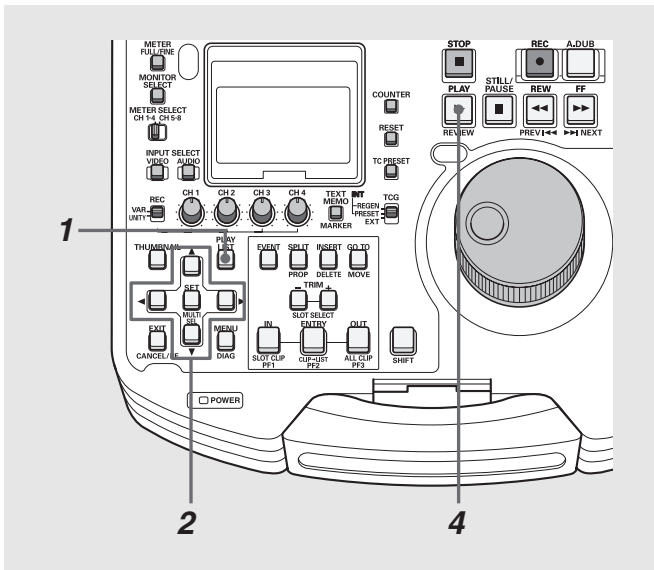
◆NOTE:

- 24PNのときは、[DF]の設定はできません。

7 MENUボタンを押して、設定を終了する

プレイリストの再生

次の操作でプレイリストを再生できます。



1 プレイリスト画面を表示する

2 十字カーソルボタンで、再生を開始したいイベントにカーソルを合わせる

NO.	TOTAL	TC IN	TC OUT	DURATION	A SPLIT	TRACK	SLOT
1	00:02:27.07	01:00:19.24	01:00:47.00	00:00:27.07	—	AV	1
2	00:01:00.01	00:00:55.11	00:01:28.06	00:00:32.24	—	AV	1
3	00:01:18.00	00:00:22.17	00:00:40.15	00:00:17.29	-00:00:04.23	AV	1
4	00:01:46.17	01:00:18.14	01:00:47.00	00:00:28.17	—	AV	1
+		01:00:27.21	01:00:39.18	00:00:11.28	—	CH1&2 FADE	1
5	00:02:18.03	01:00:20.15	01:00:47.00	00:00:26.16	—	AV	1
6	00:02:43.08	00:00:00.00	00:00:30.02	00:00:30.03	—	AV	3
+		00:00:21.28	01:00:58.04	00:00:19.09	—	CH1&2 CUT	1
7	00:03:08.11	01:00:47.01	01:01:12.07	00:00:25.05	—	AV	1
8	00:03:48.09	00:01:28.07	00:02:08.06	00:00:39.28	—	AV	3

TIMELINE TOTAL		00:03:48.09			
VIDEO	3	4	5	6	7
AUDIO	3	4	5	6	7
EXTRA CH1&2					

REMAIN(EXTRA) : 133 MIN

DVCPRO 1080/60i 1: P002R7 START TC : 00:00:00.00

3 必要に応じて再生時のタイムコードの設定を行う

→「再生時のタイムコードの設定」を参照。

4 PLAY ボタンを押す

カーソル位置からプレイリストの最後、あるいは再生可能なイベントまでを連続再生します。

◆NOTE:

- プレイリストの再生を行うときは、プレイリストを構成するすべてのP2カードを挿入してください。プレイリスト再生が正しくできません。再生できないイベント以降はイベント番号が赤色になります。
- 再生中はSTOP ボタンで再生を中断することができます。
- プレイリストの再生中にSTOP ボタンを押すか、または全イベントの先頭または最後で自動停止したときには、本機の初期設定ではストップモードがRETURNになっているので、プレイリスト画面に戻ります。このときカーソル位置は停止操作を行ったときのイベントに移動します。
- メニューのストップモードをSTAYに設定すると、再生を停止してもプレイリスト画面には戻らず、静止画出力を継続することができます。
- メニューのストップモードがSTAYのときは、再生停止後にPLAY LISTボタンまたは、EXITボタンを押してプレイリスト画面に戻ります。
- プレイリスト再生中でもリモート切り替えが可能です。RS-422Aで制御するときは、ストップモードをSTAYにしておくと、停止時にプレイリスト画面へ移動しないので、再生位置が変わらず便利です。
- フォーマットが24PNNのときは、編集単位は24フレーム/秒ですが、再生するタイムコードは30フレーム/秒となります。

プレイリストから新しいクリップを作成する（エディットコピー）

プレイリストを元に、新たに1つのクリップを作成することができます。

この機能をエディットコピーと呼びます。

◆NOTE:

- 再生時のタイムコードの設定により、エディットコピー後のタイムコードを、設定した値から始まるようにすることができます。必要に応じてあらかじめ再生時のタイムコードの設定を行ってください。
→「再生時のタイムコードの設定」を参照。
- エディットコピーでは、複数のカードにまたがったショットは作成できません。1枚のカード内に作成されますので、コピー先のカードの残量を確認してから開始してください。
- AJ-SPD850 で作成したプレイリストファイルは、読み込むことはできますが、エディットコピーはできません。ただし、一度SAVE ASで保存を行った後にエディットコピーを行うことは可能です。

◆NOTE:

- エディットコピー先のP2カードの空き容量が足りないときは「WARNING : LACK OF REC CAPACITY!」と表示され、エディットコピーは開始されません。
- エディットコピー中は進行状況の目安が表示されます。
- エディットコピー中にSETボタン、またはCANCELボタンを押すと、エディットコピーが中止されます。
- エディットコピーしたクリップの編集点(各イベントの先頭)にはテキストメモが自動的に挿入されます。
- エディットコピー時にはユーザークリップネーム以外の情報はコピーされません。
- アスペクトが混在しているときは、エラーになります。
- 再生できないイベントがあるときは、再生できる範囲でエディットコピーを行います。
- 実行中は関係するP2カードスロットのLEDが点滅しますので、抜かないでください。

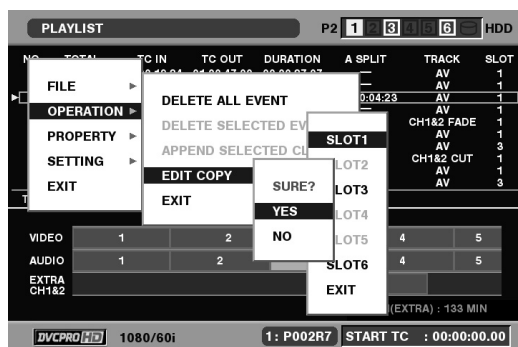
1 プレイリスト画面を表示する

2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで[OPERATION]— [EDITCOPY]にカーソルを合わせる

4 エディットコピー先のP2カードスロット番号に カーソルを合わせ、SETボタンを押す

5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



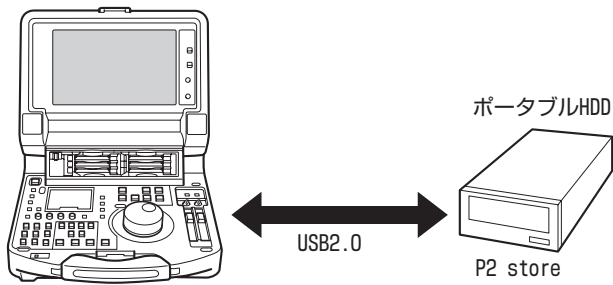
エディットコピーが開始されます。

USB 端子や SD メモリーカードを利用する

USB 端子を利用する

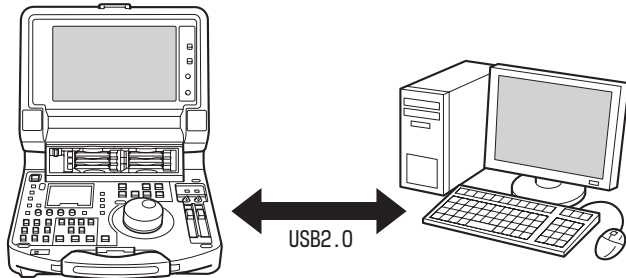
本機のUSB2.0端子にハードディスクやパーソナルコンピューターを接続し、クリップの保存や管理を効率よく行うことができます。

USBホストとして利用する



USB2.0対応のハードディスク1台と接続して、P2カードデータの保存や、保存したクリップサムネールの閲覧、P2カードへのインポートを行うことができます。

USBデバイスとして利用する



パーソナルコンピューターなどとUSB2.0で接続することにより、本機のP2カードスロットに挿入されたP2カードをマスタストレージとして扱うことができます。このとき、パーソナルコンピューターには、USB 専用ドライバーをインストールする必要があります (USB2.0でご使用ください)。

また、弊社が下記のURLで無償配布しているP2ビューアーを使用すると、P2カードに記録されたクリップを、Windows PCで操作できます。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/p2/>

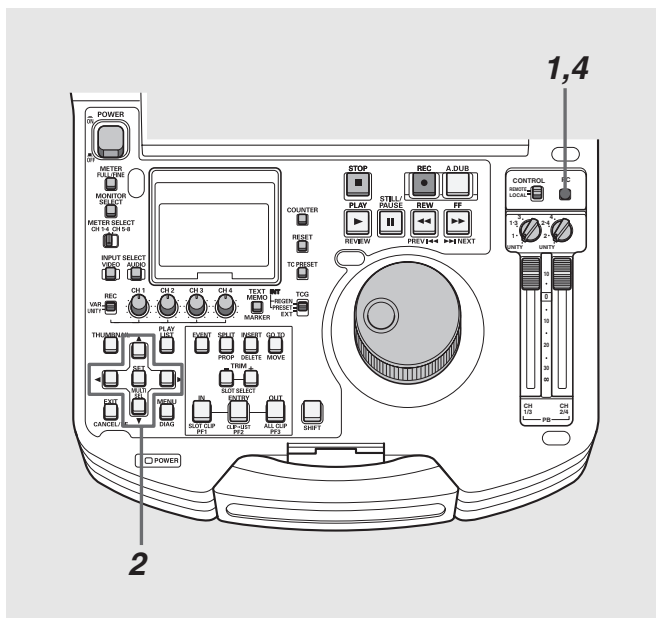
英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

◆NOTE:

- この接続での操作については、利用するコンピューターやアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

本機にパーソナルコンピューターを接続して利用する

USBデバイスモードへの切り替え



1 停止状態のときにPCボタンを押す

2 選択画面で、[USB DEVICE]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



液晶モニターのUSB DEVICEの文字が点滅してモードが切り替わります。モードが切り替わると、表示パネルの画面上にUSB DEVICE DISCONNECTと表示されます。その後パーソナルコンピューターとの接続が完了すると、USB DEVICE CONNECTの表示に切り替わります。

3 USBデバイスモードでの操作を行う

4 PCボタンを押して、通常のモードに戻る

◆NOTE:

- USBデバイスモードでは、録画・再生を含むほとんどの操作はできません。
- プレイリストモード、リモート中はPCボタンは受け付けません。
- USBデバイスモードでは、表示パネルにUSBと表示され、VIDEO、AUDIOのINPUT SELECT表示が消えます。

本機にハードディスクを接続して利用する

使用できるハードディスク

次のハードディスクを使用できます。

- Panasonicポータブルハードディスクユニット
P2 store(AJ-PCS060G)
- USB2.0で接続できるハードディスク

ハードディスクのタイプと 利用できる機能について

使用するハードディスクにより、利用できる機能が異なります。ハードディスクのタイプは本機のホストモードでのエクスペローラー画面の左側に「PARTITION:」に続けて表示されます。

◆NOTE:

USBバスパワー(5V, 0.5A)にも対応していますが、ハードディスクによっては起動できないものもあります。その場合はハードディスクに別途電力を供給してください。

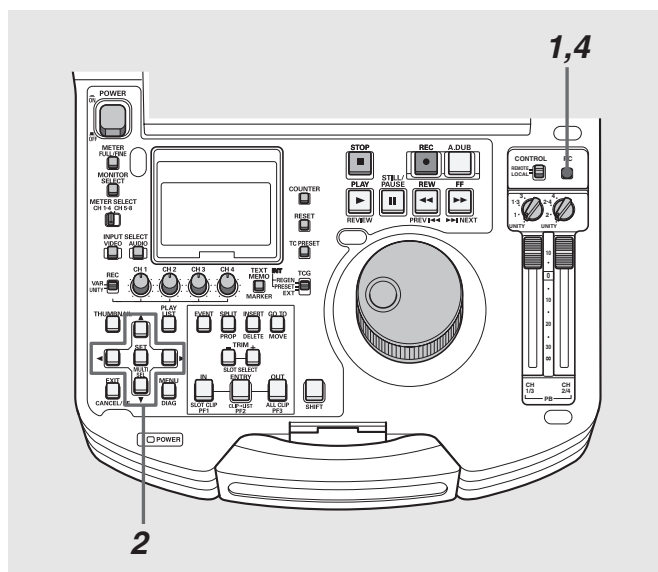
ハードディスクタイプ	特徴	利用できる機能
TYPE S	カード単位で高速に書き込み／読み込みするための特殊形式です。本機でフォーマットすると、この形式になります。	カード単位での書き込み／読み込み、サムネール表示、クリップ単位での読み込み、フォーマット
P2STORE	P2 store(AJ-PCS060G)のことです。書き込みはできません。	カード単位での読み込み、サムネール表示、クリップ単位での読み込み
FAT	パーソナルコンピューターなどで先頭の基本パーティションがFAT16またはFAT32になっており、そのパーティションのルートに「CONTENTS」ディレクトリが必要です。	サムネール表示、クリップ単位での読み込み、フォーマット ※本機でフォーマットした後は、「TYPE S」のハードディスクとして扱えます。
OTHER	上記以外のハードディスクです。 ※ルートに「CONTENTS」ディレクトリがない場合やNTFSなどのFAT16、FAT32以外のファイルシステムの場合です。	フォーマット ※本機でフォーマットした後は、「TYPE S」のハードディスクとして扱えます。

◆NOTE:

- ハードディスクは以下の条件でご使用ください。
 - 1) ハードディスクの動作保証範囲内(温度など)で使用する。
 - 2) ハードディスクを振動する場所や不安定な場所に置かない。
- ハードディスクによっては正しく動作しないことがあります。
- コピーに十分な容量のハードディスクをご使用ください。
- 電源が入っていないハードディスクであっても、ハブなどを介した複数台の接続は行わないでください。
- フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、対象のP2カードを取り出したり、本機やハードディスクの電源を切ったりしないでください。本機およびハードディスクの電源の再起動が必要になります。
- ハードディスクは非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれがあります。
ハードディスクの故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- 本機からのコピーで使用したハードディスクを他のパーソナルコンピューターなどで中身を置き換えた場合、以後の本機での動作、およびハードディスクのデータは保証できません。
- 不良クリップが含まれるP2カードは、事前に修復してからハードディスクへコピーすることをお勧めします。
- ハードディスクのクリップは再生できません。

USBホストモードへの切り替え



1 停止状態のときにPCボタンを押す

◆NOTE:

- プレイリストモード、リモート中はPCボタンは受け付けません。

2 選択画面で、[USB HOST]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



液晶モニターのUSB HOSTの文字が点滅してモードが切り替わります。モードが切り替わるとサムネイル画面が表示され、右下にUSB HOSTと表示されます。

3 USBホストモードでの操作を行う

◆NOTE:

- USBホストモードでP2カードの再生を行うと、液晶モニターへの表示は行えますが、背面の各種入出力は動作しなくなります。
- P2カードへの記録は行えません。

4 PCボタンを押して、通常のモードに戻る

カードにアクセス中は、PCボタンを押しても無効です。

◆NOTE:

〈USB HOSTに切り替えたととき〉

- USBモードでは、プレイリストモードへは切り替わりません。
- USBホストモード時は表示パネルのVIDEO、AUDIOのINPUT SELECT表示が消えます。

ハードディスクのフォーマット

ハードディスクをTYPE Sで使用できる形式に初期化します。

◆NOTE:

- ハードディスクのフォーマットを行うと、ハードディスクの内容はすべて消去されますので注意してください。

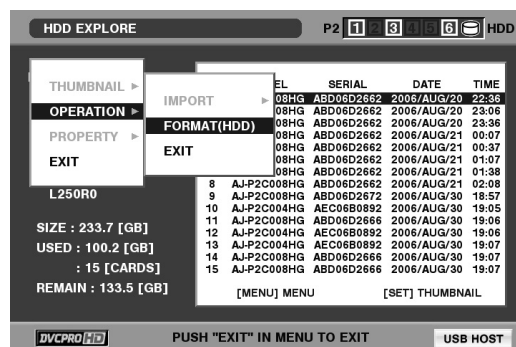
1 USBホストモードに切り替える

2 USBハードディスクを接続する

3 MENUボタンを押す

4 十字カーソルボタンで[HDD] – [EXPLORE]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す エクスプローラー画面が開きます。

5 MENUボタンを押し、十字カーソルボタンで [OPERATION] – [FORMAT(HDD)]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



6 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

7 再度確認メッセージが出たら、[YES]にカーソルを合わせてSETボタンを押す

ハードディスクがフォーマットされます。

カード単位でのハードディスクへのエクスポート

TYPE Sのハードディスクの場合、P2カード単位でハードディスクへエクスポート(P2カードからハードディスクへの書き出し)を行うことができます。

ハードディスクは事前に本機でフォーマットを行ってください。最大15枚のカードをハードディスクへ保存することができます。

エクスポートしたデータは、コンピューターなどではエクスポートしたP2カード毎に別々のドライブとして認識されます。

1 USBホストモードに切り替える

2 USBハードディスクを接続する

ハードディスクを本機でフォーマットしていないときは、ハードディスクをフォーマットします。

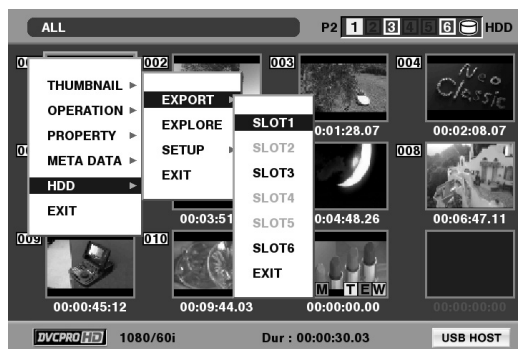
→「ハードディスクのフォーマット」を参照。

3 P2カードを挿入する

4 サムネール画面を表示する

5 MENUボタンを押す

6 十字カーソルボタンで[HDD] - [EXPORT]にカーソルを合わせる



7 コピー元の P2 カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

8 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

エクスポートが始まります。

◆NOTE:

- エクスポート中は進捗バーが表示されます。
- エクスポートを中断したいときは、SET ボタンを押し、CANCEL の確認表示で[YES]にカーソルを合わせ、SET ボタンを押すと中断できます。
- エクスポート時のペリファイを行わないように設定すると、エクスポート完了までの時間が短くなります。設定はメニューの[HDD]-[SETUP]-[VERIFY]を[OFF]にします。
- ペリファイ中に処理を中断しても、P2カードのコピーは終了しています。

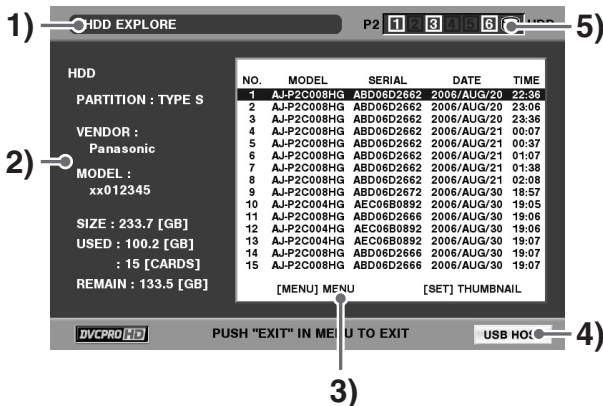
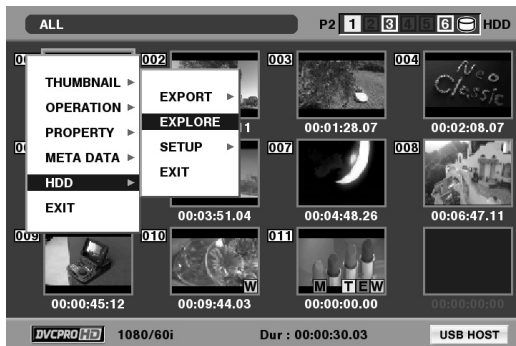
エクスポートを完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。



ハードディスクの情報の表示 (エクスプローラー画面)

ハードディスクの情報を表示できます。

- 1) USBホストモードに切り替える
- 2) USBハードディスクを接続する
- 3) サムネール画面を表示する
- 4) MENUボタンを押す
- 5) 十字カーソルボタンで [HDD] - [EXPLORE] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



ハードディスクの情報が表示されます。

1) 表示状態

HDD EXPLORE画面であることを示します。

2) ディスク情報

次の情報が表示されます。

カード単位で書き込み／読み出しが可能な特殊形式のハードディスク	PARTITION	TYPE S / P2STORE
	VENDOR	ベンダー名
	MODEL	モデル名
	SIZE	総容量(単位:GB)
	USED	使用量(単位:GB) 使用P2カード領域(単位:枚数)最大15
一般のハードディスク	REMAIN	残量(単位:GB)
	PARTITION	FAT/OTHER
	VENDOR	ベンダー名
	MODEL	モデル名
	SIZE	総容量(単位:GB)

3) パーティション情報

→詳細は次ページを参照

◆NOTE:

- P2 storeに無効なパーティションがあるときは、パーティション情報がグレーで表示されます。
- FATでフォーマットされたハードディスクのとき、最初の1パーティションのみ情報が表示されます。

4) USB HOST

USBホストモードインジケータが表示されます。

5) HDD状態

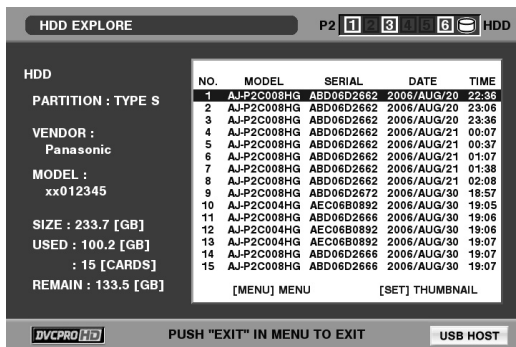
接続／未接続の区別、ハードディスクのタイプが表示されます。

ハードディスクのクリップのサムネール表示

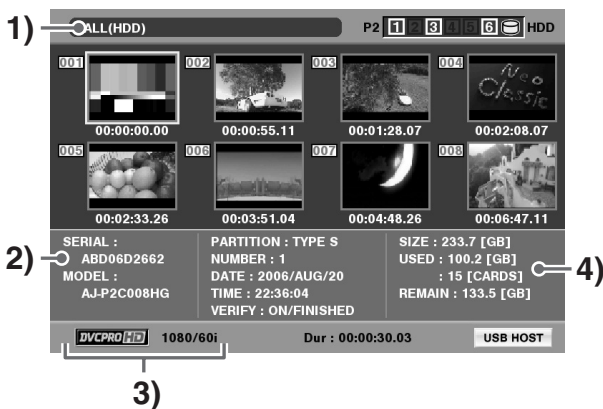
ハードディスクに保存したクリップも、本機に装着したP2カードと同様にサムネール表示して管理できます。

1 エクスプローラー画面を表示する

2 十字カーソルボタンでサムネール表示したいパーティションにカーソルを合わせ、SETボタンを押す
そのパーティションのクリップがサムネール表示されます。



SET EXIT



1) 表示状態

ハードディスクのクリップのサムネール表示状態を示します。

2) パーティション情報

次の情報が表示されます。

SERIAL:	P2カードのシリアル番号
MODEL:	P2カードのモデル名
NUMBER	パーティション番号(1~)
(NO.):	
DATE /	パーティション記録日時
TIME:	

VERIFY: 記録時のベリファイの設定とベリファイ結果

ON: FINISHED ベリファイ実施し、一致

ON: FAILED ベリファイ実施したが不一致

OFF ベリファイしていない

※P2 storeのときは「-」と表示します。

3) 記録モード、システムフォーマット

カーソル位置クリップの記録モード、システムフォーマットが表示されます。

4) ディスク情報

→詳細は前ページを参照。

◆NOTE:

- EXITボタンを押すと、エクスプローラー画面に戻ります。
- 必要に応じてサムネール画面の表示の変更を行うことができます。操作はP2カードのサムネール表示と同じです。
→「サムネール画面の表示の変更」を参照。
- 「FAT」タイプのハードディスクであっても、1001 個目以降のクリップは表示されません。
- TRIM+ / - ボタンを使うと、前後のパーティションのサムネール表示へ移動できます。

ハードディスクのクリップの情報を表示する

ハードディスクに保存したクリップの各種メタ情報を表示できます。内容はP2カードのクリップのプロパティと同じです。

1 ハードディスクのサムネール画面で、対象のクリップを選択する

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。

2 MENUボタンを押す

3 十字カーソルボタンで[PROPERTY]→[CLIP PROPERTY]にカーソルを合わせて、SETボタンを押す

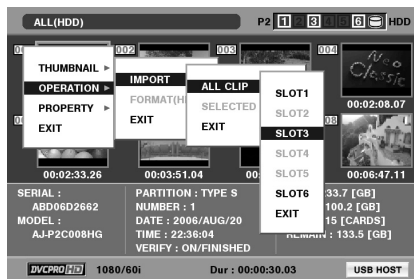
→詳細は「クリップの情報を表示する」を参照。

ハードディスクからP2カードへのインポート

TYPE SのハードディスクやP2 storeからパーティション単位でインポートする

パーティション単位(カード単位)で、元のカードと同サイズのP2カードへ高速にインポート(ハードディスクからP2カードへの読み込み)することができます。

- 1 インポート先となるP2カードを挿入する
- 2 P2のサムネール画面を表示する
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで [HDD] – [EXPLORE] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 5 コピー元のパーティションにカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 MENUボタンを押す
- 7 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [IMPORT] – [ALL CLIP] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



- 8 フォーマット済のP2カードを挿入したインポート先のP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 9 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
インポートが始まります。
インポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

◆NOTE:

- 元のP2カードとは異なるP2カードにインポートしたとき、クリップによっては不完全(⚠インジケータ付き)クリップになることがあります。この場合、連結機能を使ってクリップを再構成してください。→「不完全クリップの連結」を参照。
- メニュー設定により、コピー時にベリファイを行うかどうかを切り替えることができます。

クリップ単位でP2カードへのインポート

ハードディスクのクリップを指定して、P2カードにインポートできます。

- 1 インポート先となるP2カードを挿入する
- 2 ハードディスクのサムネール画面を表示する
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで [HDD] – [EXPLORE] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 5 コピー元のパーティションにカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 コピーするクリップを選択する
- 7 MENUボタンを押す
- 8 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [IMPORT] – [SELECED CLIPS]にカーソルを合わせる
- 9 インポートするP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 10 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
インポートが始まります。
インポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

◆NOTE:

- クリップ単位でインポートするときは、ベリファイは行われません。
- 「クリップ単位でのインポート」動作は、「クリップのコピー」と類似の動作です。
→クリップ単位でのインポート時の注意事項は「クリップをコピーする」を参照。

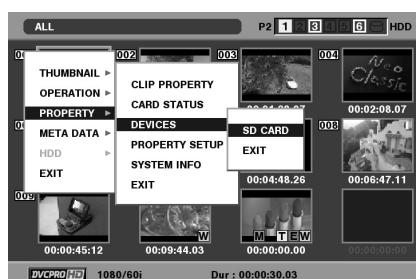
SD メモリーカードを利用する

本機ではSDメモリーカードも利用できます。

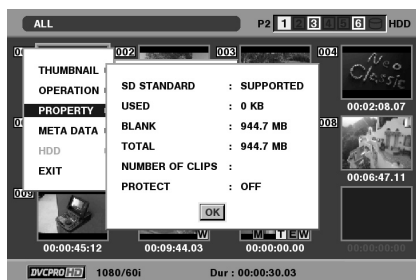
SDメモリーカードの各種情報を表示する

SDメモリーカードの使用状況を画面に表示して確認できます。

- サムネール画面を表示する
- MENUボタンを押す
- 十字カーソルボタンで[PROPERTY]－[DEVICE]－[SD-CARD]にカーソルを合わせて、SETボタンを押す



カードの状態が、次のように表示されます。



SD STANDARD:	SDメモリーカードがSD準拠でフォーマットしているか表示する。
	SUPPORTED:SD準拠
	NOT SUPPORTED:SD非準拠
USED:	使用済み容量[バイト]
BLANK:	空き容量[バイト]
TOTAL:	全容量[バイト]
NUMBER OF CLIPS:	プロキシやP2カムにてSDメモリーカードへクリップコピーを行ったときに、SDメモリーカードに入っているクリップ数
PROTECT:	書き込み禁止状態

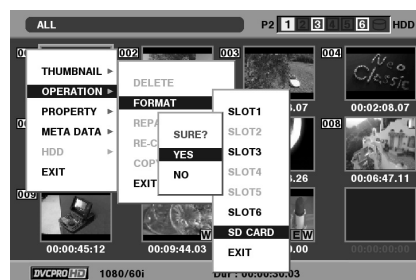
•本機ではプロキシの記録はできません。

- SETボタンを押した後、MENUボタンを押して、処理を終了する

SDメモリーカードをフォーマットする

次の操作でSDメモリーカードスロットのSDメモリーカードをフォーマットできます。

- サムネール画面を表示する
- MENUボタンを押す
- 十字カーソルボタンで[OPERATION]－[FORMAT]－[SD CARD]を選択する
- [YES]を選択しSETボタンを押す



フォーマットが開始されます。

◆NOTE:

•フォーマットしないときは[NO]を選択し、SETボタンを押します。

- 完了メッセージが表示されたら確認(SETボタン)を押す

◆NOTE:

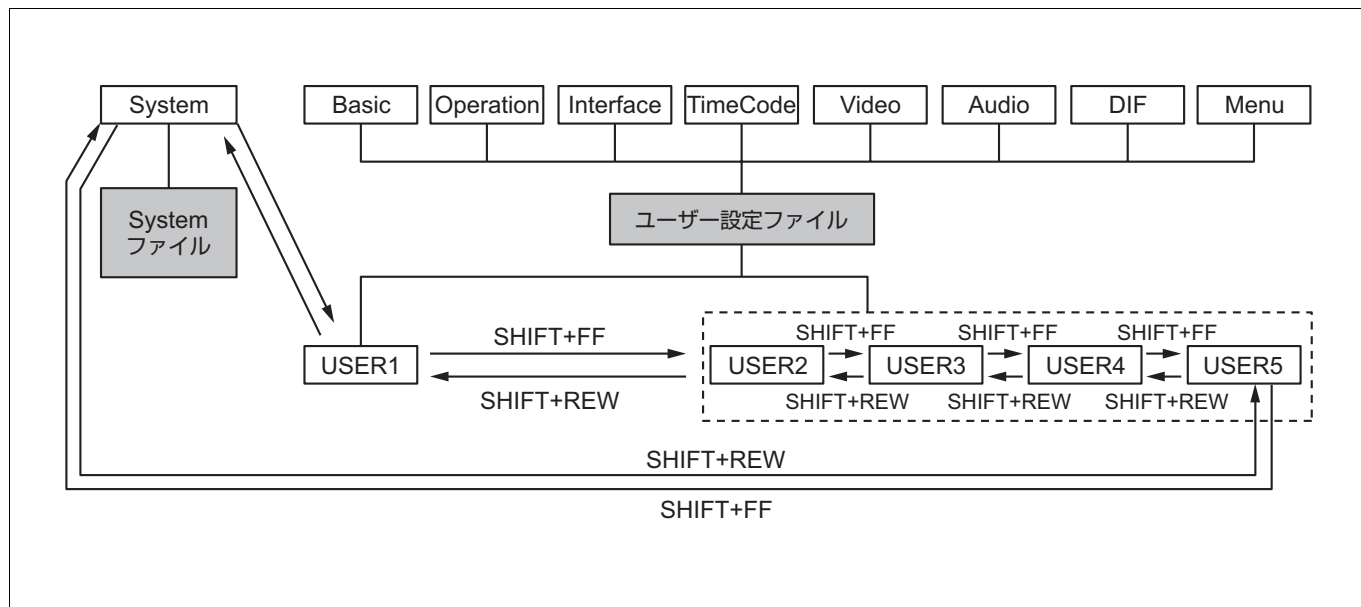
•続けて別のP2カードスロットのP2カードをフォーマットするときは、操作手順2～4の操作を繰り返します。

- MENUボタンを押して、処理を終了する

セットアップ

本機の設定について

本機の設定項目は、SYSTEM、BASIC、OPERATION、INTERFACE、TIME CODE、VIDEO、AUDIO、DIF、MENUに分かれています。このうち、SYSTEMの設定項目の設定値はSYSTEMファイルに保存されます。また、それ以外の設定項目は、ユーザー設定ファイルに保存できます。ユーザー設定ファイルは、USER1～USER5の5つまで保存できます。



5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なるメニュー設定の中からいずれかを選択して使用することができます。

必要に応じて設定値を変更できます。

→「変更の操作」(次ページ)を参照。

変更後、USER1の内容をUSER2～USER5へセーブ(複写)することができます。

→「セットアップメニューNo.A01(SAVE)」を参照。

電源を入れたときのユーザー設定ファイルの自動ロードについて

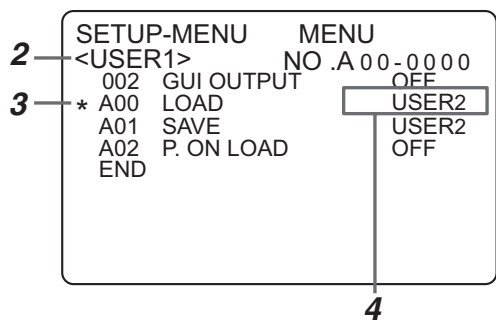
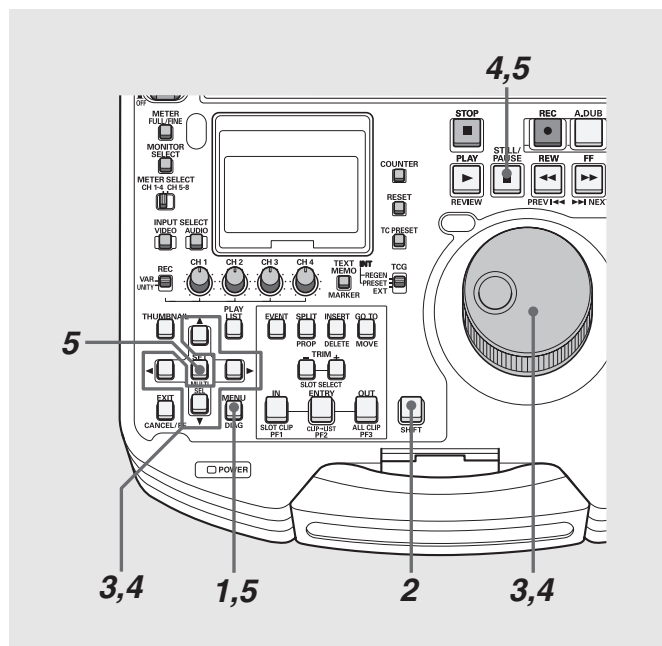
電源を入れたときに、USER1へロードするユーザー設定ファイルを指定しておくことができます。また、前回の設定をそのまま使用するように設定することもできます。

→「セットアップメニューNo.A02(P.ON LOAD)」を参照。

設定の変更

設定の変更は、液晶モニターまたはANALOG COMPOSITE MONITOR OUT端子に接続したモニター（液晶モニター右側のSUPERスイッチが「ON」のとき）の画面にメニューを表示して行います。

変更の操作



1 MENUボタンを押す

液晶モニターにセットアップメニューの画面が表示され、カウンター表示部にセットアップメニューの項目No.が表示されます。

2 変更対象ファイルを選ぶ

SHIFTボタンを押しながらFF▶ボタンまたは、REW◀ボタンを押すと、次のファイルまたは、前のファイルに切り替わります。

3 変更項目を選ぶ

サーチダイヤルを回すか、または上(▲)下(▼)ボタンを押して、カーソル(*)を変更する項目に移動します。

- サーチダイヤルは、なるべくJOGモードで使用してください。
- 右に回すと項目No.が001→002→003→004→のように増加し、左に回すと減少します。
- PLAY▶ボタンを押しながらFF▶ボタンまたは、+ボタンを押すと次の項目に、PLAY▶ボタンを押しながらREW◀ボタンまたは-ボタンを押すと、前の項目に切り替わります。

4 設定値を変更する

変更する項目で、STILL / PAUSE■ボタンを押しながらサーチダイヤルを回すか、または、左(◀)右(▶)ボタンを押し、設定値を変更します。

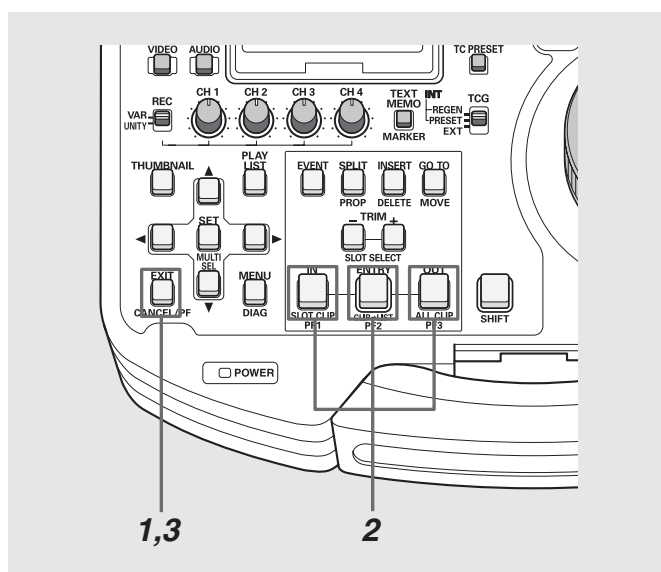
- ダイヤルを右に回す(または右▶ボタンを押す)と設定No.が増加し、左に回す(または左◀ボタンを押す)と減少します。
- 変更後は、STILL / PAUSEボタンを放します。
- サーチダイヤルがSHTLモードのときは、中央位置にしないと項目が移動します。
- 他に変更する項目があるときは、手順3~4を繰り返します。

5 変更を確定する

MENUボタンを押します。

確認メッセージが表示されますので、変更するときはSETボタン、キャンセルするときはEXITボタンを押すと、MENUが閉じて変更が終了します。

PFボタンによる変更



変更頻度の高い項目を3つまでPFボタンに割り当てておき、PFボタンを押して設定値をすばやく変更できます。

あらかじめPFボタンに設定項目を割り当てておき、次の操作で設定値を変更します。

→PFボタンへの設定項目の割り当ては、「セットアップメニュー No.A04~A06(PF1 ASSIGN~PF3 ASSIGN)」を参照。

1 PF(EXIT)ボタンを押す

液晶モニターに登録されている項目が表示されます。

2 設定を変更する項目に対応するPFボタン(1~3)を押す

ボタンを押すたびに設定値が更新されます。

3 PF(EXIT)ボタンを押して設定変更を終了する

◆NOTE:

- 約5秒間何も操作しないと、自動的に変更操作が終了します。
- サムネイルモード/プレイリストモード中は、PFボタンは無効です。

ロックによるユーザー設定ファイルの保護

システムファイルおよびユーザー設定ファイル(USER2~USER5)が誤って変更されないように、ロックすることができます。

→システムファイルのロックの設定および解除は、「セットアップメニューNo.30(MENU LOCK)」を参照。

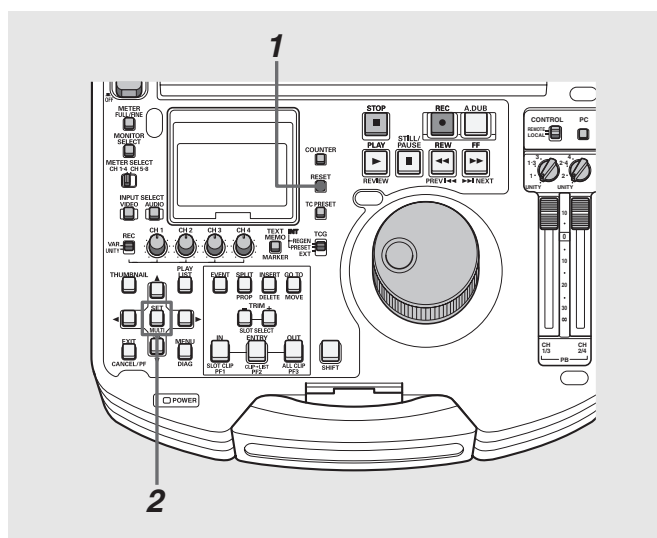
→ユーザーファイルのロックの設定および解除は、「セットアップメニューNo. A03(MENU LOCK)」を参照。

工場出荷時の設定(初期設定)に戻すには

メニューが表示されているときに、画面に表示されているユーザー設定ファイルの内容を工場出荷時の設定に戻すことができます。

◆NOTE:

- 画面に表示されているユーザー設定ファイルの内容が工場出荷時の設定に戻ります。他のユーザー設定ファイルには影響を与えません。
- システムファイルが画面に表示されているとき、システムの項目内容は、工場出荷時の設定に戻りません。その他の項目は戻ります。
- MENU LOCKのときは工場出荷時の設定には戻りません。MENU LOCKをOFFにしてください。



1 メニューが表示されているときに RESET ボタンを押す

2 SETボタンを押す

各項目の設定内容

SYSTEM

アナログコンポーネント(HD)出力、アナログコンポジット出力、音声出力の位相調整、システム周波数、HD出力のSD REF入力に対する位相、システムファイルのロックの設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
12	SYS H(HD)	0000 <u>1375</u> 2750	- 1375 <u>0</u> 1375	アナログコンポーネント(HD)出力およびHD SDI出力のシステム位相を調整します(13.5nsステップ)。 - : 位相を進める + : 位相を遅らせる NOTE: この項目は、工場出荷時の設定に戻す操作を行っても設定値に戻すことはできません。ただし、項目を点滅させている状態でRESETボタンを押すと設定値は戻ります。
14	SYS SC(SD)	0000 <u>0128</u> 0255	- 128 <u>0</u> 127	アナログコンポジット出力およびSD SDI出力のシステム位相を調整します(トータル可変範囲 ±180°)。 NOTE: この項目は、工場出荷時の設定に戻す操作を行っても、設定値に戻すことはできません。ただし、項目を点滅させている状態でRESETボタンを押すと設定値は戻ります。
15	SYS H(SD)	0000 <u>0864</u> 1728	- 864 <u>0</u> 864	アナログコンポジット出力およびSD SDI出力のシステム位相を調整します(37nsステップ)。 - : 位相を進める + : 位相を遅らせる NOTE: この項目は、工場出荷時の設定に戻す操作を行っても、設定値に戻すことはできません。ただし、項目を点滅させている状態でRESETボタンを押すと設定値は戻ります。
18	SCH COAR(SD)	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>0</u> 90 180 270	アナログコンポジット出力のSCH位相を調整します(90° 毎の4ポジション)。
19	SCH FINE(SD)	0000 <u>0032</u> 0064	- 32 <u>0</u> 32	アナログコンポジット出力のSCH位相を調整します(トータル可変範囲 ±45° 以上)。 SC位相が変化し、H位相は変化しません。 No.18 SCH COAR(SD)と合わせて±180° をカバーします。
20	AV PHASE	0000 <u>0128</u> 0255	- 128 <u>0</u> 127	映像出力に対する音声出力の位相を調整します(20.8μsステップ)。 - : 映像出力に対して、音声出力の位相を進める + : 映像出力に対して、音声出力の位相を遅らせる

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
25	SYSTEM FREQ	<u>0000</u> 0001	<u>59.94</u> 50	<p>システム周波数を設定します。</p> <p>0: 59.94Hz 1: 50Hz</p> <p>NOTE: この項目の設定を変更しただけでは、メニュー項目が点滅するだけで、設定内容が本機に反映されません。設定内容を本機に反映するためには、一度、電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。</p>
26	HD SYS H ADV	<u>0000</u> 0001	<u>0H</u> 90H	<p>SD REF入力時に、HD出力をSD REF入力に対して、90H位相を進ませるかどうかを設定します。</p> <p>0: SD REFと同位相で出力 1: HD出力はSD REF出力より90H進んだ位相で出力</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーディオ出力およびTC出力は、HD出力と同位相で出力します。 ・720pのときは、120Hの位相差となります。 ・メニューNo.25 SYSTEM FREQを50に設定しているときは、表示されません。
30	MENU LOCK	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	<p>システムファイルのロックモードの設定／解除を行います。</p> <p>0: ロック解除(変更可能) 1: ロック設定(変更禁止)</p>

BASIC

「REMOTE」のときにキーパネルで操作できるボタン、CTLカウンター表示の12 / 24時制表示の切り替え、スーパー表示、スーパーやセットアップメニューなどの文字の表示、記録フォーマット、プレイリストに追加できるフォーマット、内蔵時計の時刻の設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
001	LOCAL ENA	0000 <u>0001</u> 0002	DIS <u>STOP</u> ENA	REMOTE / LOCALスイッチが「REMOTE」のときに、キーパネルで操作できるボタンを制限します。 0: すべて不可 1: STOPボタンのみ可能 2: すべて可能
002	CTL DISP	<u>0000</u> 0001	± <u>12h</u> 24h	CTLカウンター表示の12 / 24時間表示を切り替えます。 0: 12時間表示 1: 24時間表示
003	REMAIN SEL	0000 0001 <u>0002</u> 0003	OFF 2L <u>1L</u> R/TTL	VIDEO MON端子および液晶パネルのスーパー表示に、残量時間および総量を表示するかどうかを設定します。 0: 表示しない 1: 2行目にメディア残量時間を表示 2: 1行目にメディア残量時間を表示 3: 1行目にメディア残量時間、2行目にメディア総量を表示 NOTE: ・ 2L選択時、セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)がTIMEに設定されているときは表示されません。 ・ R / TTL選択時、セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)がTIMEに設定されているときは、総量は表示しません。
006	DISPLAY SEL	0000 <u>0001</u> 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009	TIME <u>T&STA</u> T&S&M T&RT T&YMD T&MDY T&DMY T&UB T&CTL T&T	VIDEO MON端子および液晶パネルのスーパー表示内容を設定します。 ここで、データとはCOUNTERボタンで選択されているCTL / TC / UBの値のことを指します。 0: データのみ 1: データ・動作状態 2: データ・動作状態・モード 3: データ・REC TIME 4: データ・REC DATE(年月日) 5: データ・REC DATE(月日年) 6: データ・REC DATE(日月年) 7: データ・ユーザーズビット ただし、COUNTERボタンでUBを選択しているときは、ユーザーズビットの次にタイムコードが表示される。 8: データ・CTL ただし、COUNTERボタンでCTLを選択しているときは、CTLデータの次にタイムコードが表示される。 9: データ・タイムコード NOTE: T&S&Mに設定したときは、ワーニングやエラーが発生するとエラーメッセージがスーパー表示されます。
007	CHARA H-POS	0000 <u>0004</u> 0016	0 <u>4</u> 16	VIDEO MON端子および液晶パネルのスーパー表示の水平方向文字位置を設定します。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
008	CHARA V-POS	0000 <u>0020</u> 0022	0 <u>20</u> 22	VIDEO MON端子および液晶パネルのスーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。
009	CHARA TYPE	<u>0000</u> 0001	<u>WHITE</u> W/OUT	VIDEO MON端子および液晶パネルのスーパーや、セットアップメニューなどの表示タイプを設定します。 0: 白文字を、黒のベタ塗りの背景で表示 1: 白文字を、黒の縁取りで表示
020	SYS FORMAT	59.94Hz設定時		本機の記録フォーマットを設定します。 0: 1080iモード 1: 720pモード 2: 480iモード(59.94Hz設定時) / 576iモード(50Hz設定時)
		<u>0000</u> 0001 0002	<u>1080i</u> 720p 480i	
		50Hz設定時		
		<u>0000</u> 0001 0002	<u>1080i</u> 720p 576i	
024	REC FMT(SD)	<u>0000</u> 0001 0002	<u>50M</u> 25M DV	メニューNo.020 SYS FORMATが480iまたは576iに設定されているときの記録フォーマットを設定します。 0: DVCPRO50(50Mbps) 1: DVCPRO(25Mbps) 2: DV(25Mbps)
026	PLY LST FMT	59.94Hz設定時		プレイリストで使用するフォーマットを設定します。 0: メニューNo.020 SYS FORMAT、No.024 REC FMT(SD)で設定されたフォーマット 1: 720 / 30PN(59.94Hz設定時) / 720 / 25PN(50Hz設定時) 2: 720 / 24PN
		<u>0000</u> 0001 0002	<u>SYSFMT</u> 30PN 24PN	
		50Hz設定時		
		<u>0000</u> 0001	<u>SYSFMT</u> 25PN	
032	REC REF	<u>0000</u> 0001	<u>NORMAL</u> SLTC	記録する映像フレームを同期させるリファレンスを選択します。 0: 入力されている映像信号のフレームを自動判別してリファレンスにします。 1: HD SDI入力端子に入力されているタイムレコードからフレームを判別してリファレンスにします。 NOTE: SLTCを選択したとき、この項目の設定を有効にするためには、下記の設定が必要になります。 ・メニューNo.25 SYSTEM FREQ:59.94 ・メニューNo.020 SYS FORMAT:720p ・キーパネルのINPUT SELECTボタン:SDI
050	P.ON GUI	0000 <u>0001</u>	OFF <u>THUMB</u>	電源を入れたときにサムネール画面を表示するかどうかを設定します。 0: 表示しない 1: 表示する
069	CLOCK SET			内蔵時計の時刻を合わせます。 NOTE: STOPまたはSETボタンを押すとサブ画面に移ります。サブ画面で日時を変更後、SETボタンを押すと時計に日付が設定されます。日付設定しないでサブ画面から戻るには、再度STOPまたはEXITボタンを押します。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
サブ画面				
00	YEAR	0000 0030	2000 2030	年を設定します。
01	MONTH	0001 0012	JAN DEC	月を設定します。 NOTE: 2、4、6、9、11月の設定で存在しない日を設定したときは、翌月の1日として設定されます。
02	DAY	0001 0031	1 31	日を設定します。 NOTE: 2、4、6、9、11月の設定で存在しない日を設定したときは、翌月の1日として設定されます。
03	HOUR	0000 0023	0 23	時間を設定します。 24時間制で設定してください。
04	MINUTE	0000 0059	0 59	分を設定します。
05	TIME ZONE	<u>0000</u> 0001 0002 0026 0027 0050	<u>00:00</u> +00:30 +01:00 +13:00 -12:00 -00:30	年月日時分を設定した場所の世界標準時からの差を設定します。 次の表を参考に、設定してください。

時差	地域
00:00	グリニッジ
+00:30	
+01:00	中央ヨーロッパ
+01:30	
+02:00	東ヨーロッパ
+02:30	
+03:00	モスクワ
+03:30	テヘラン
+04:00	アブダビ
+04:30	カブール
+05:00	イスラマバード
+05:30	ボンベイ
+06:00	ダッカ
+06:30	ラングーン
+07:00	バンコク
+07:30	
+08:00	北京
+08:30	
+09:00	東京
+09:30	ダーウィン諸島
+10:00	グアム
+10:30	ロード・ハウ・アイランド
+11:00	ソロモン諸島
+11:30	ノーフォーク諸島
+12:00	ニュージーランド
+12:45	チャタム諸島
+13:00	
-12:00	クワジャリン

時差	地域
-11:30	
-11:00	ミッドウェイ諸島
-10:30	
-10:00	ハワイ
-09:30	マルケサス諸島
-09:00	アラスカ
-08:30	
-08:00	ロスアンジェルス
-07:30	
-07:00	デンバー
-06:30	
-06:00	シカゴ
-05:30	
-05:00	ニューヨーク
-04:30	
-04:00	ハリファックス
-03:30	ニューファンドランド島
-03:00	ブエノスアイレス
-02:30	
-02:00	中部大西洋
-01:30	
-01:00	アゾレス諸島
-00:30	

◆NOTE:

- 時計精度は、電源OFF状態で月差約±30秒程度です。
- 正確な時刻を必要とするときは、電源がONのときに、時刻確認、再設定を行ってください。

OPERATION

サーチダイヤル操作への移行方法、シャトル動作の最大速度、FF、REW動作の最大速度、NEXT、PREVシーク動作、REF. VIDEOが接続されていないときのワーニング表示、PLAYの立ち上がり時間、バッテリーの種類、電圧低下時にワーニングや電源OFFを行う電圧の設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
100	SEARCH ENA	<u>0000</u> 0001	<u>DIAL</u> KEY	サーチモード(サーチダイヤル操作)への移行方法を設定します。 サーチダイヤル操作への移行方法を設定します。 0: STILLボタンを押すか、サーチダイヤルを操作したとき移行 1: STILLボタンを押したとき移行
101	SHTL MAX	0000 <u>0001</u> 0002 0003 0004	×8 × <u>16</u> ×32 ×60 ×100	シャトル動作の最大速度を設定します。 0: ×8倍速 1: ×16倍速 2: ×32倍速 3: ×60倍速 4: ×100倍速
102	FF.REW MAX	<u>0000</u> 0001 0002 0003	× <u>32</u> ×60 ×100 SEEK	FF、REW動作の最大速度を設定します。 0: ×32倍速 1: ×60倍速 2: ×100倍速 3: クリップの先頭へのシーク動作 NOTE: ・SEEK選択時も9P、1394からのFFおよびREWコマンドに対しては、×100倍速のFF、REW動作となります。 ・シーク動作は、STILL、およびSTOP PB時に有効となります。
103	SEEK SEL	<u>0000</u> 0001	<u>CLIP</u> CLIP & T	NEXT (SHIFT + FF)、PREV (SHIFT + REW) シーク動作で移動する位置を選択します。 0: クリップの先頭 1: クリップの先頭、およびテキストメモの設定点 NOTE: 本設定はFF、REW操作時は有効となりません。
104	REF ALARM	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	REF. VIDEOが接続されていないときにワーニング表示するかどうかを選択します。 0: 表示しない 1: STOPランプを点滅させることでワーニング表示する
108	PLAY DELAY	<u>0000</u> 0015	<u>0</u> 15	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。
122	STOP EE SEL	<u>0000</u> 0001	<u>EE</u> PB	STOP時にEEモードにするか再生モードにするかを設定します。 0: EEモード 1: 再生モード NOTE: IEEE1394信号入力設定時はこのメニューにかかわらずEEモードとなります。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
155	AUTO REC	<u>0000</u> 0001 0002	<u>OFF</u> TYPE1 TYPE2	<p>弊社カメラレコーダーからのHD SDI入力信号のRecording Markに従って、自動的に記録／停止を行うかどうかを選択します。</p> <p>0: 自動的に記録／停止を行いません。</p> <p>1: HD SDIに付加されているLTC情報内のRecording Markに従って自動的に記録／停止を行います。</p> <p>2: HD SDIに付加されているSVITC情報内のRecording Markに従って自動的に記録／停止を行います。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CONTROLスイッチはREMOTEの位置にしてください。TYPE1、またはTYPE2の選択は、次ページ「弊社カメラレコーダー、記録フォーマットとRecording Mark」を参照してください。 ・ TYPE1またはTYPE2を選択し、自動記録を開始するには、RECボタンとSTILLボタンを同時に押して本機をREC PAUSE状態にしてください。REC PAUSE状態以外では動作しません。また、自動停止を受け付けた後は、REC PAUSE状態になります。 ・ 通常操作で本機が記録状態にあるときには、本設定は無効となり、自動停止しません。
180	BATTERY SEL	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004 0005 0006	<u>NiCd12</u> NiCd13 NiCd14 S-LION I-LION TYPE-A TYPE-B	<p>バッテリーの種類を設定します。</p> <p>0: 12V系バッテリー1個用の設定 (NEAR: 11.2V, END: 10.6V)</p> <p>1: 13V系バッテリー1個用の設定 (NEAR: 12.0V, END: 10.6V)</p> <p>2: 14V系バッテリー1個用の設定 (NEAR: 13.6V, END: 10.6V)</p> <p>3: リチウムイオンバッテリー“BP-L90A”1個用の設定 (NEAR: 11.0V, END: 10.6V)</p> <p>4: リチウムイオンバッテリー“ENDURA80”1個用の設定 (NEAR: 13.4V, END: 12.4V)</p> <p>5: メニューNo.181 TYPE-A NEAR項目とNo.182 TYPE-A END項目で設定したバッテリー</p> <p>6: メニューNo.183 TYPE-B NEAR項目とNo.184 TYPE-B END項目で設定したバッテリー</p>
181	TYPE-A NEAR	0000 <u>0023</u> 0044	10.6 <u>12.9</u> 15.0	<p>メニューNo.180 BATTERY SEL項目で選択したTYPE-Aとして使用するバッテリーの電圧が低下して、ワーニング情報としてカウンター表示を点滅させるときの電圧を設定します (0.1Vステップ)。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目の設定を15.0V付近にした場合、AC電源を使用しているときでもカウンター表示が点滅することがあります。 ・ ENDより小さくなるような設定はできません。
182	TYPE-A END	0000 <u>0018</u> 0034	10.6 <u>12.4</u> 14.0	<p>メニューNo.180 BATTERY SEL項目で選択したTYPE-Aとして使用するバッテリーの電圧が低下して、本機の電源を自動的にOFFにするときの電圧を設定します (0.1Vステップ)。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NEARより大きくなるような設定はできません。
183	TYPE-B NEAR	0000 <u>0023</u> 0044	10.6 <u>12.9</u> 15.0	<p>メニューNo.180 BATTERY SEL項目で選択したTYPE-Bとして使用するバッテリーの電圧が低下して、ワーニング情報としてカウンター表示を点滅させるときの電圧を設定します (0.1Vステップ)。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目の設定を15.0V付近にした場合、AC電源を使用しているときでもカウンター表示が点滅することがあります。 ・ ENDより小さくなるような設定はできません。
184	TYPE-B END	0000 <u>0018</u> 0034	10.6 <u>12.4</u> 14.0	<p>メニューNo.180 BATTERY SEL項目で選択したTYPE-Bとして使用するバッテリーの電圧が低下して、本機の電源を自動的にOFFにするときの電圧を設定します (0.1Vステップ)。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NEARより大きくなるような設定はできません。

弊社カメラレコーダー、記録フォーマットとRecording Mark

機種	記録フォーマット	Recording Mark TYPE	備考
AJ-HDC27F, H	720/**p over 60p	TYPE1	
AJ-HDX400, A	1080/59.94i	— *1	TYPE1 / TYPE2への切り替えが可能です。 操作方法は、弊社カメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。
AJ-HDX400E	1080/50i	— *1	
	1080/25p over 50i	— *1	
AJ-HDX900	720/59.94p	TYPE1	
	720/23.98p over 59.94p	TYPE1	
	720/23.97p over 59.94p	TYPE1	
	1080/59.94i	— *1	
	1080/23.98p over 59.94i	TYPE2	
	1080/23.97p over 59.94i	— *1	
	1080/50i	— *1	
	1080/25p over 50i	— *1	
	720/50p	TYPE1	
	720/50p over 50p	TYPE1	

*1: 初期設定の状態では、HD SDI信号にRecording Mark は重畳されていません。

INTERFACE

コントローラーに返すID情報の設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
202	ID SEL	0000 <u>0001</u> 0002	OTHER <u>DVCPRO</u> ORIG	コントローラーに返すID情報を設定します。 0: OTHER 1: DVCPRO 2: ORIG NOTE: ・「OTHER」にはDVCPRO以外のVTRのID情報を設定しています。 ・「ORIG」は特定のパナソニック製のコントローラー(AJ-A850など、別売品)との接続時のみ設定してください。

TIME CODE

タイムコードの設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
500	VITC BLANK	0000 <u>0001</u>	BLANK <u>THRU</u>	再生時、メニューNo.501 VITC POS-1とNo.502 VITC POS-2で指定した位置にVITC信号を出力するかどうかを設定します。 0: 出力しない 1: 出力する NOTE: ・この設定は、アナログコンポジット出力およびSD SDI出力にのみ有効です。 ・EE時は、入力信号に多重されたVITC信号がそのまま出力されます。
501	VITC POS-1	59.94Hz設定時		VITC信号の挿入位置を設定します。 NOTE: ・メニューNo.502 VITC POS-2と同じラインは選択できません。 ・この設定は、アナログコンポジット出力およびSD SDI出力にのみ有効です
		0000	10L	
		<u>0006</u>	<u>16L</u>	
		0010	20L	
		50Hz設定時		
		0000	7L	
		<u>0004</u>	<u>11L</u>	
		0015	22L	
502	VITC POS-2	59.94Hz設定時		VITC信号の挿入位置を設定します。 NOTE: ・メニューNo.501 VITC POS-1と同じラインは選択できません。 ・本設定は、アナログコンポジット出力およびSD SDI出力にのみ有効です。
		0000	10L	
		<u>0008</u>	<u>18L</u>	
		0010	20L	
		50Hz設定時		
		0000	7L	
		<u>0006</u>	<u>13L</u>	
		0015	22L	
504	RUN MODE	<u>0000</u>	<u>REC</u>	内蔵タイムコードジェネレーターが歩進する動作モードを設定します。 0: 記録中のみ歩進 1: 電源がONの間、動作モードに関係なく歩進
		0001	FREE	
505	TCG REGEN	<u>0000</u>	<u>TC&UB</u>	TCG(タイムコードジェネレーター)がリジェネモードのとき、リジェネする信号を設定します。 0: タイムコード、ユーザーズビット共にリジェネ 1: タイムコードのみリジェネ 2: ユーザーズビットのみリジェネ
		0001	TC	
		0002	UB	
507	EXT TC SEL	<u>0001</u>	<u>EXT L</u>	外部タイムコードを用いるときに使用するタイムコードを設定します。 0: TIME CODE IN端子のLTC 1: HD SDI INに入力されたシリアル信号に付加されているLTC情報 2: HD SDI INに入力されたシリアル信号に付加されているVITC情報 NOTE: SLTC、SVITC設定時、入力信号としてアナログコンポジットまたはSD SDIが選択されているときは、入力ビデオ信号のVITCを使用します。また、入力信号として1394が選択されているときは、設定にかかわらずIEEE 1394デジタル入力信号のタイムコードを使用します。
		0002	SLTC	
		0003	SVITC	

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
508	BINARY GP	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	<u>000</u> 001 010 011 100 101 110 111	TCGで発生するタイムコードのユーザービットの使用状態を設定します。 0: NOT SPECIFIED(キャラクターセットを指定しない) 1: ISO CHARACTER(ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクターセット) 2: UNASSIGNED1(未定義) 3: UNASSIGNED2(未定義) 4: UNASSIGNED3(未定義) 5: PAGE / LINE 6: UNASSIGNED4(未定義) 7: UNASSIGNED5(未定義)
509	PHASE CORR	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	TIME CODE OUT端子から出力されるLTC出力の位相補正コントロールを行うかどうかを設定します。 0: 位相補正コントロールは行わない 1: 位相補正コントロールを行う
510	TCG CF FLAG	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	TCGのCFフラグを設定します。 0: OFFにする 1: ONにする
511	DF MODE	<u>0000</u> 0001	<u>DF</u> NDF	CTLおよびTCGのDF/NDFモードを設定します。 0: ドロップフレームモードを使用 1: ノンドロップフレームモードを使用 NOTE: メニューNo.25 SYSTEM FREQを50に設定しているときは表示されません。
512	TC OUT REF	<u>0000</u> 0001	<u>VOUT</u> TC_IN	TC INT / EXTスイッチが「EXT」のとき、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相の切り替え方を設定します(EEモード時のみ)。 0: 出力映像に合わせる 1: 外部タイムコード入力に合わせる
513	VITC OUT	<u>0000</u> 0001	<u>SBC</u> VAUX	SD出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を設定します。 0: SBC領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力 1: VAUX領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力 NOTE: ・入力ビデオ信号より検出されたVITC情報は、映像が記録されるときに自動的にVAUX領域に記録されます。 ・入力信号としてCMPST、SDIが選択されているとき、記録時に出力されるVITCは上記設定に関わらず入力信号に重畳されたタイムコードを出力します。
514	HD EMBD VITC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	HD SDI出力にVITC情報を重畳するかしないかを設定します。 0: 重畳しない 1: 重畳する
515	HD EMBD LTC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	HD SDI出力にLTC情報を重畳するかしないかを設定します。 0: 重畳しない 1: 重畳する
518	VITC GEN	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	内部タイムコードジェネレーターの値を、VAUX領域へ記録するかどうかを設定します。 0: 内部タイムコードジェネレーター値を記録しない 入力ビデオ信号にタイムコードが重畳されているときは、その値を記録する 1: 内部タイムコードジェネレーター値を記録する NOTE: 入力信号として1394が選択されているときは、本メニューの設定に関係なく、入力圧縮信号に多重されたタイムコードがそのまま記録されます。
519	UB OUT SEL	0000 <u>0001</u>	SBC <u>F_RATE</u>	フォーマットが720 / 24PN、720 / 30PN、720 / 25PNのクリップを再生するときに、TIME CODE OUT端子およびHD SDI端子から出力されるLTC情報上のユーザーズビット、IEEE1394端子から出力されるSBC領域のユーザーズビットを選択します。 0: SBC領域に記録されたユーザーズビットをそのまま出力します。 1: VAUX領域に記録されたユーザーズビットをフレームレート情報として出力します。

用語説明

SBC(Sub Code Data)領域:	P2カード上の映像および音声データ領域とは別に存在する領域で、SMPTE / EBUに準拠したタイムコード、記録日時などの情報が格納されます。
VAUX(Video Auxiliary Data)領域:	P2カード上の映像データ領域内に存在する領域で、映像データに関連する付加情報が格納されます。

VIDEO

ビデオに関する設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
601	VIDEO INT SG	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004	<u>100%CB</u> 75%CB SMPTE ARIB BLACK	内蔵信号の種類を設定します。SMPTE、ARIB信号は、HDモードのみ有効(SDモード時はブラック)です。 0: 100%カラーバー 1: 75%カラーバー 2: SMPTEカラーバー 3: ARIBカラーバー 4: ブラック
602	SDI IN MODE	<u>0000</u> 0001	<u>DR OFF</u> DR ON	HD SDI入力の処理方法を設定します。 0: 下位2ビットを四捨五入した上位8ビットを記録 1: ダイナミックラウンディングをかけた上位8ビット信号を記録 NOTE: SD SDI入力のときは、常にダイナミックラウンディングをかけた上位8ビット信号が記録されます。
620	DOWNCON MODE	<u>0000</u> 0001 0002	<u>CROP</u> LT-BOX SQUEEZ	ダウンコンバート時の画角を設定します。 0: サイドカットモード 1: レターボックスモード 2: スクウィーズモード
621	UPCONV MODE	<u>0000</u> 0001 0002	<u>S-PANL</u> CROP STRTCH	アップコンバート時の画角を設定します。 0: サイドパネルモード 1: 垂直方向の上部と下部のカット 2: ストレッチモード
626	D / C ENH H	0000 <u>0001</u>	0dB <u>+1dB</u>	ダウンコンバート時の水平方向の輪郭を強調するかどうかを設定します。 0: 0dB 1: +1dB
627	D / C ENH V	0000 <u>0001</u>	0dB <u>+1dB</u>	ダウンコンバート時の垂直方向の輪郭を強調するかどうかを設定します。 0: 0dB 1: +1dB
643	OUT MODE SEL	59.94Hz設定時		ビデオ出力端子から出力される映像信号を設定します。 0: 現在の記録、再生フォーマットに従って自動的に出力を切り替える 1: 1080 / 59.94iまたは1080 / 50i 2: 720 / 59.94Pまたは720 / 50P 3: 480 / 59.94iまたは576 / 50i NOTE: AUTO以外を選択したとき、記録・再生フォーマットと異なる信号は自動的に変換して出力されます。
		<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>AUTO</u> 1080i 720p 480i	
		50Hz設定時		
		<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>AUTO</u> 1080i 720p 576i	

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
645	WIDE SELECT	0001 <u>0002</u>	WIDE <u>NORMAL</u>	メニューNo.020 SYS FORMAT = 480iまたは576i設定時、WIDE情報を記録するかどうかを設定します。 1: 記録する 2: 記録しない NOTE: 入力信号に1394を選択したときは、入力情報がそのまま記録されます。
650	STYLE	0000 <u>0001</u>	CMPNT <u>CMPST</u>	レベル調整モードを設定します。 0: コンポーネントスタイルのレベル調整モード 1: コンポジットスタイルのレベル調整モード
651	HUE STYLE(SD)	0000 <u>0001</u>	Pb-Pr <u>U-V</u>	クロマ位相調整の回転軸を設定します。 0: SDI(コンポーネントスタイル)のベクトルスコープ上で正円に回転 1: アナログ(コンポジットスタイル)のベクトルスコープ上で正円に回転 NOTE: メニューNo.25 SYSTEM FREQを50に設定しているときは、表示されません。
653	Y LVL(HD)	0000 <u>1000</u> 1413	0.0% <u>100.0%</u> 141.3%	HD SDIおよびHDアナログコンポーネント出力のYレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 NOTE: メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
654	Pb LVL(HD)	0000 <u>1000</u> 1413	0.0% <u>100.0%</u> 141.3%	HD SDIおよびHDアナログコンポーネント出力のPBレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 NOTE: メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
655	Pr LVL(HD)	0000 <u>1000</u> 1413	0.0% <u>100.0%</u> 141.3%	HD SDIおよびHDアナログコンポーネント出力のPRレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 NOTE: メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
656	BK LVL(HD)	0050 <u>0150</u> 0250	−10.0% <u>0.0%</u> +10.0%	HD SDIおよびHDアナログコンポーネント出力のブラックレベルを調整します。 NOTE: メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
658	Y LVL(SD)	0000 <u>1000</u> 1413	0.00% <u>100.00%</u> 141.30%	SD SDIおよびアナログコンポジット出力のYレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 NOTE: メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
659	Pb LVL(SD)	0000 <u>1000</u> 1413	0.0% <u>100.0%</u> 141.3%	SD SDIおよびアナログコンポジット出力のPBレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 NOTE: メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
660	Pr LVL(SD)	0000 <u>1000</u> 1413	0.0% <u>100.0%</u> 141.3%	SD SDIおよびアナログコンポジット出力のPRレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 NOTE: メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
661	BK LVL (SD)	0050 <u>0150</u> 0250	- 10.0% <u>0.0%</u> + 10.0%	SD SDIおよびアナログコンポジット出力のブラックレベルを調整します。 NOTE: ・メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
662	V LEVEL	0000 <u>1000</u> 2000	0.0% <u>100.0%</u> 200.0%	ビデオ出力レベルを調整します(-∞~0dB~+6dB)。 NOTE: ・メニューNo.650 STYLEがCMPSTに設定されているときに有効となります。 ・ビデオ出力レベルの調整は、出力系でのみ有効になります。
663	C LEVEL	0000 <u>1000</u> 1413	0.0% <u>100.0%</u> 141.3%	クロマレベルの調整を行います(-∞~0dB~+3dB)。 NOTE: ・メニューNo.650 STYLEがCMPSTに設定されているときに有効となります。 ・クロマレベルの調整は、出力系でのみ有効になります。
664	HUE / C PHASE	0000 <u>0062</u> 0124	- 31.0 <u>0.0</u> 31.0	クロマ位相を調整します(約-30° ~+30°)。 NOTE: ・メニューNo.650 STYLEがCMPSTに設定されているときに有効となります。 ・クロマ位相レベルの調整は、出力系でのみ有効になります。
665	SETUP / BK LVL	0050 <u>0150</u> 0250	- 10.0% <u>0.0%</u> + 10.0%	セットアップレベルの調整を行います。 NOTE: ・メニューNo.650 STYLEがCMPSTに設定されているときに有効となります。 ・セットアップレベルの調整は、出力系でのみ有効になります。
673	CONTRAST	0000 <u>0030</u> 0060	- 30 <u>0</u> 30	液晶モニターのコントラストを調整します。
676	BLK CLIP	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	SD SDIおよびアナログコンポジット出力のY(輝度)信号に対して、ペダスタル以下の信号をクリップするかどうかを設定します。 0: クリップしない 1: クリップする
677	LCD ASPECT	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>AUTO</u> 4:3 16:9 15:9	液晶パネルに表示する映像のアスペクト比を設定します。 0: 自動的にアスペクト比を切り替える 1: 480iまたは576iの映像をアスペクト比4:3で表示(1080iまたは720pの映像はアスペクト比16:9で表示します) 2: アスペクト比16:9で表示 3: アスペクト比15:9で表示 NOTE: 本機の液晶モニターサイズは15:9であるため、AUTOまたは16:9設定時には上下に黒みが表示されます。
680	CC (F1) BLANK	0000 <u>0001</u>	BLANK <u>THRU</u>	SD SDIおよびアナログコンポジット出力から出力される第1フィールドのクローズドキャプション信号のON / OFFを設定します。 0: 強制ブランキングする 1: ブランキングしない NOTE: ・メニューNo.25 SYSTEM FREQを50に設定しているときは表示されません。 ・EE時は入力信号に多重されたクローズドキャプションがそのまま出力されます。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
681	CC (F2) BLANK	0000 <u>0001</u>	BLANK <u>THRU</u>	再生時のSD SDIおよびアナログコンポジット出力から出力される第2フィールドのクローズドキャプション信号のON / OFFを設定します。 0: 強制ブランキングする 1: ブランキングしない NOTE: ・メニューNo.25 SYSTEM FREQを50に設定しているときは表示されません。 ・EE時は入力信号に多重されたクローズドキャプションがそのまま出力されます。
684	EDH(SD)	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	シリアルアウトにEDHを重畳するかどうかを設定します。 0: 重畳しない 1: 重畳する
685	ESR MODE(SD)	0000 <u>0001</u>	OFF <u>AUTO</u>	再生回路におけるエッジサブキャリアリダクション(ESR)の動作モードを設定します。 0: 強制的にOFFにする 1: 動作モードに応じて自動的にON / OFFを行う NOTE: ・メニューNo.25 SYSTEM FREQを50に設定しているときは表示されません。
688	CC REC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	SD SDIおよびアナログコンポジット入力信号に多重されたクローズドキャプション信号を記録するかどうかを設定します。 0: 記録しない EE出力もブランキングされる 1: 入力信号にクローズドキャプション信号が多重されているときに記録する NOTE: ・メニューNo.25 SYSTEM FREQを50に設定しているときは表示されません。 ・入力信号として1394が選択されているときは、本メニューの設定に関係なく、入力圧縮信号に多重されたクローズドキャプションデータがそのまま記録されます。
689	COMP MODE	<u>0000</u> 0001	<u>NORMAL</u> DARK	記録時に行う映像の圧縮処理方法を選択します。 0: 通常の圧縮処理で記録します。 1: 約10IRE (70mV)以下の暗い部分に発生する圧縮映像ひずみを少なくして記録します。 NOTE 本設定は、720pモードで記録する場合に有効になります。
690	UMID REC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	UMID情報を記録するかどうかを設定します。 0: 記録しない 1: 記録する
691	UMID GEN	0000 <u>0001</u>	INT <u>EXT</u>	メニューNo.690 UMID RECがON設定時、記録するUMID情報(Basic UMID)の生成方法を設定します。 0: 常に新規生成したUMID情報を記録する 1: 入力信号に多重されたUMID情報を記録する 入力信号に多重されていないときは、新規生成したUMID情報を記録する
692	UMID POS	0000 0001 : <u>0006</u> : 0008	BLANK 12L : <u>17L</u> : 19L	UMID情報を多重するラインを設定します。 NOTE: ・セットアップメニューNo.501(VITC POS-1)、No.502(VITC POS-2)と同じラインは選択できません。 ・SHIFTボタンを押しながらRESETボタンを押しても、工場出荷設定に戻りません。 ・記録されたVANCデータに対しては、UMID情報は優先して出力されます。VANCデータを出力するときは、UMID POSを元の多重していたライン以外に設定するか、“BLANK”を選択してください。 ・ネイティブクリップの再生時はUMIDはBLANKとなります。

AUDIO

音声に関する設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
701	CH1 IN LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ入力(CH1)の基準レベルを設定します。
702	CH2 IN LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ入力(CH2)の基準レベルを設定します。
703	CH3 IN LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ入力(CH3)の基準レベルを設定します。
704	CH4 IN LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ入力(CH4)の基準レベルを設定します。
706	CH1 OUT LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ出力(CH1)の基準レベルを設定します。
707	CH2 OUT LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ出力(CH2)の基準レベルを設定します。
708	CH3 OUT LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ出力(CH3)の基準レベルを設定します。
709	CH4 OUT LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ出力(CH4)の基準レベルを設定します。
725	REC CH1	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004 0005	<u>CH1</u> CH2 CH3 CH4 CH1+2 CH3+4	オーディオのCH1に記録する入力を設定します。 0: オーディオ入力のCH1 1: オーディオ入力のCH2 2: オーディオ入力のCH3 3: オーディオ入力のCH4 4: オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 5: オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
726	REC CH2	0000 <u>0001</u> 0002 0003 0004 0005	CH1 <u>CH2</u> CH3 CH4 CH1+2 CH3+4	オーディオのCH2に記録する入力を設定します。 0: オーディオ入力のCH1 1: オーディオ入力のCH2 2: オーディオ入力のCH3 3: オーディオ入力のCH4 4: オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 5: オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
727	REC CH3	0000 0001 <u>0002</u> 0003 0004 0005	CH1 CH2 <u>CH3</u> CH4 CH1+2 CH3+4	オーディオのCH3に記録する入力を設定します。 0:オーディオ入力のCH1 1:オーディオ入力のCH2 2:オーディオ入力のCH3 3:オーディオ入力のCH4 4:オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 5:オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
728	REC CH4	0000 0001 0002 <u>0003</u> 0004 0005	CH1 CH2 CH3 <u>CH4</u> CH1+2 CH3+4	オーディオのCH4に記録する入力を設定します。 0:オーディオ入力のCH1 1:オーディオ入力のCH2 2:オーディオ入力のCH3 3:オーディオ入力のCH4 4:オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 5:オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
731	PB FADE	<u>0000</u> 0001	<u>AUTO</u> CUT	再生時に、クリップとクリップの間、プレイリストおよびエディットコピーで作成したクリップの編集点で行うオーディオ処理を設定します。 0:記録時の状態に従う(→「音声Vフェード機能」を参照。) 1:強制カット NOTE: IEEE1394端子の出力はAUTO設定でも強制的にカットで出力されます。
732	EMBEDDED AUD	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	HD SDI出力とSD SDI出力にオーディオデータを重畳するかどうかを設定します。 0:重畳しない 1:重畳する
775	25M REC CH	<u>0000</u> 0001	<u>2CH</u> 4CH	DVCPRO(25Mbps)またはDV(25Mbps)を記録する場合のオーディオのチャンネル数を設定します。 0:2チャンネル記録する 1:4チャンネル記録する NOTE: DVCPRO HDでは常に8チャンネルを記録し、DVCPRO50では常に4チャンネルを記録します。
776	REF LEVEL	<u>0000</u> 0001 0002	<u>FS-20</u> FS-18 FS-12	基準レベルを設定します。 0:20dB 1:18dB 2:12dB
777	CH2 MIC PWR	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	CH2のマイク電源のON/OFFを設定します。 0:マイク電源を供給しない。 1:ジャックのスイッチによりマイク電源のON/OFFを行う
790	VOL SEL	<u>0000</u> 0001	<u>CH1-4</u> CH1-8	記録レベルボリュームの動作を設定します。 0:CH1~4のみ可変とし、CH5~8はUNITYレベルとする 1:CH1~4の可変に加えて、CH1~4のボリュームに連動してそれぞれCH5~8も可変とする
792	A DUB CH	0000 <u>0001</u> 0002 0003 0004 0005	CH1 <u>CH2</u> CH3 CH4 CH1+2 CH3+4	オーディオ追加記録するトラックを設定します。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
793	A DUB PB MIX	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	オーディオ追加記録をするときに、再生音をミックスするかどうかを設定します。 0: ミックスしない 1: 入力と再生音をミックスして記録する NOTE STOPまたはSETボタンを押すと、サブ画面に移行してミックスするチャンネルを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPまたはSETボタンを押します。
サブ画面				
01	CH1 MIX	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>CH1</u> CH2 CH3 CH4	CH1にミックス記録する再生チャンネルを設定します。 メニューNo.792 A DUB CHでCH1またはCH1+2を選択したときに表示されます。
02	CH2 MIX	0000 <u>0001</u> 0002 0003	CH1 <u>CH2</u> CH3 CH4	CH2にミックス記録する再生チャンネルを設定します。 メニューNo.792 A DUB CHでCH2またはCH1+2を選択したときに表示されます。
03	CH3 MIX	0000 0001 <u>0002</u> 0003	CH1 CH2 <u>CH3</u> CH4	CH3にミックス記録する再生チャンネルを設定します。 メニューNo.792 A DUB CHでCH3またはCH3+4を選択したときに表示されます。
04	CH4 MIX	0000 0001 0002 <u>0003</u>	CH1 CH2 CH3 <u>CH4</u>	CH4にミックス記録する再生チャンネルを設定します。 メニューNo.792 A DUB CHでCH4またはCH3+4を選択したときに表示されます。
796	A DUB FADE	0000 <u>0001</u>	CUT <u>FADE</u>	オーディオ追加記録をするときのIN点、OUT点の音の処理を設定します。 0: カット処理 1: Vフェード処理
797	A DUB MONI	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	オーディオ追加記録実行中の記録音を出力するかどうかを設定します。 0: 出力しない 1: 出力する

DIF

デジタルビデオインターフェースに関する設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
880	DIF SPEED	0000 0001 <u>0002</u>	S100 S200 <u>S400</u>	デジタルビデオインターフェース出力の転送速度を設定します。 0: 100Mbps 1: 200Mbps 2: 400Mbps NOTE: S100を選択したときは、DVCPRO HDフォーマット信号を出力することはできません。
882	DIF IN CH	0000 0063 <u>0064</u>	0 63 <u>AUTO</u>	入力チャンネルを設定します。 0~63: 指定値で固定 64: 指定値で固定しない 電源がONのときは、入力チャンネルは63に初期化される

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
883	DIF OUT CH	0000 0063 0064	0 63 AUTO	出力チャンネルを設定します。 0~63: 指定値で固定 64: 指定値で固定しない 電源がONのときは、出力チャンネルは63に初期化される
886	DIF CONFIG	0000 0001 0255	DFLT 1 255	拡張用のメニューを設定します。 通常はDFLTで使用します。
890	DIF AUD OUT	0000 0001	CH1+2 CH3+4	オーディオ信号が4チャンネルモードのDVCPRO(25Mbps)、DVクリップを再生し、出力するときのチャンネルを設定します。 0: CH1およびCH2 1: CH3およびCH4

MENU

メニューに関する設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明	備考
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.		
A00	LOAD	0000 0001 0002 0003	USER2 USER3 USER4 USER5	USER1へロードするユーザーファイルを設定します。 0: USER2の内容をロード 1: USER3の内容をロード 2: USER4の内容をロード 3: USER5の内容をロード NOTE: ロード操作を行った後、MENUボタンを押すと確認画面が表示されます。SETボタンを押すと設定値が記憶されます。EXITボタンを押すと設定値は変更されません。	USER1のみ設定可能。
A01	SAVE	0000 0001 0002 0003 0004	USER2 USER3 USER4 USER5 LOCKED	USER1の設定をセーブするユーザーファイルを設定します。 0: USER2へセーブ 1: USER3へセーブ 2: USER4へセーブ 3: USER5へセーブ 4: すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合に表示します。 NOTE: ・変更禁止に設定されているユーザーファイルは選択できません。 ・すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合、「LOCKED」表示となりセーブ操作はできません。	USER1のみ設定可能。
A02	P.ON LOAD	0000 0001 0002 0003 0004	OFF USER2 USER3 USER4 USER5	電源を入れたときに、どのユーザーファイルの内容をUSER1へロードし、USER1の設定で起動するのかが設定します。 0: 前回設定したユーザーファイルで起動 1: USER2の内容をUSER1へロードし起動 2: USER3の内容をUSER1へロードし起動 3: USER4の内容をUSER1へロードし起動 4: USER5の内容をUSER1へロードし起動	USER1のみ設定可能。
A03	MENU LOCK	0000 0001	OFF ON	ユーザーファイル(USER2~USER5)のロックモードの設定/解除を行います。 0: ロック解除(変更可能) 1: ロック設定(変更禁止) NOTE: USER1のロック設定はできません。	USER2~5のみ設定可能。
A04	PF1 ASSIGN			PF1ボタンにセットアップメニューの項目を登録します。	
A05	PF2 ASSIGN			PF2ボタンにセットアップメニューの項目を登録します。	
A06	PF3 ASSIGN			PF3ボタンにセットアップメニューの項目を登録します。	

タイムコード／ユーザーズビット／CTLについて

タイムコード

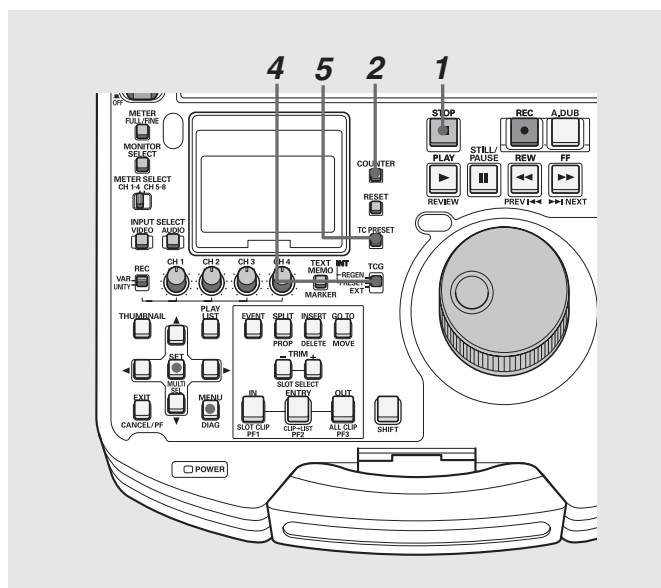
タイムコードは、タイムコードジェネレーターによって発生されるタイムコード信号を記録します。タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24
↑ ↑ ↑ ↑
時 分 秒 フレーム

ユーザーズビット

ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠の事です。オペレーターナンバーなどを記録することができます。ユーザーズビットに使用できる数字(文字)は0~9とABC DEFです。

内部タイムコードの設定



1 停止モードにする

2 COUNTERボタンで[TC]を選択する

3 セットアップメニューNo.504 (RUN MODE)でタイムコードジェネレーターの歩進方法を設定する

REC: 記録中のみ歩進させる。

FREE: 動作モードに関係なく歩進させる。

4 TCGスイッチでプリセットモードを設定する

INT-REGEN: P2カードに記録された最終TCとのTCの連続性を保つ。

INT-PRESET: TC PRESETボタンで設定された値から記録を開始する。

EXT: 外部TC入力に従って記録する。

5 TC PRESETボタンを使ってタイムコード／ユーザーズビットの開始番号を設定する

1. TC PRESETボタンを押す

左端の桁が点滅します。

2. 上(▲)、下(▼)ボタンを押すか、または STILL ■ ボタンを押しながらサーチダイヤルを回して値を変更する

3. 左(◀)右(▶)ボタンを押すか、またはサーチダイヤルを回して、設定する桁を選択する

選択された桁が点滅します。

設定範囲は次のとおりです。

タイムコード: [59.94Hz]

00:00:00:00 - 23:59:59:29

[50Hz]

00:00:00:00 - 23:59:59:24

ユーザーズビット: 00000000 - FF FF FF FF

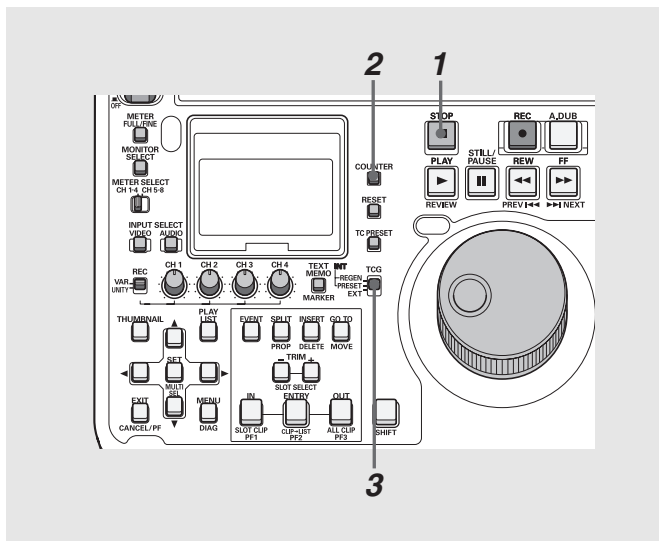
4. 手順2~3を繰り返して、値を変更する

RESETボタンを押すと、プリセット値を0にリセットできます。

5. 開始番号の設定終了後、SETボタンを押す

手順 3 で「FREE」に設定したときには、すぐにタイムコードの歩進が開始します。

外部タイムコードの設定



1 停止モードにする

2 COUNTERボタンで[TC]を選択する

3 TCGスイッチの位置を「EXT」にする
(外部タイムコードの選択)

4 セットアップメニューNo.507(EXT TC SEL)で以下

の設定をする

EXT_L: リアパネルのTIME CODE IN端子(BNC)に入力されるLTC信号が、TCとして記録される。

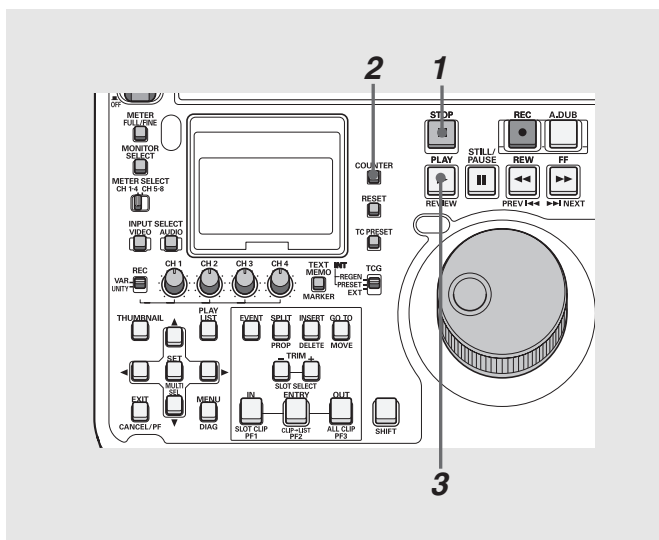
SVITC: SDI IN(HD)端子に入力されるシリアル信号に付加されるVITC信号が、TCとして記録される。

SLTC: SDI IN(HD)端子に入力されるシリアル信号に付加されるLTC信号が、TCとして記録される。

◆NOTE:

- SLTC、SVITC 設定時に、入力信号としてアナログコンポジットまたはSD SDIが選択されているときは、入力ビデオ信号のVITCが記録されます。また入力信号として1394が選択されているときはデジタル入力信号のタイムコードが記録されます。

タイムコード／ユーザズビットの再生



1 停止モードにする

2 COUNTERボタンで[TC]または、[UB]を選択する

3 PLAY▶ボタンを押す

再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。

SUPER スイッチの位置が「ON」のとき、液晶モニターにタイムコード値がスーパーインポーズされます。

T * R 00:01:04:07*

": 第1、第3フィールド
": 第2、第4フィールド

タイムコード信号がドロップフレームモードのときは、
欠如したとき、秒をフレームの間のコロンが「.」
*表示になります。 になります。

■ 電源供給がないときのタイムコードについて

電源供給がないときもバックアップ機能が働いて、タイムコードジェネレーターは長時間(約 1 年間)動作を続けます。また、電源供給がないときの精度は、月差約±30秒程度です。

◆ NOTE:

- ・タイムコードジェネレーターが動作モードに関係なく歩進している下記のときに、バックアップ機能は働きます。
 - ・フロントパネルの TCG スイッチを「PRESET」に設定し、メニュー No.504 RUN MODEを「FREE」に設定したとき。
 - ・フロントパネルのTCGスイッチを「EXT」に設定し、メニュー No.507 EXT TC SELで設定した外部タイムコード入力を、リアパネルの端子から外したとき。
- ・メニューNo.25 SYSTEM FREQの設定を変更したとき、歩進データはクリアされます。

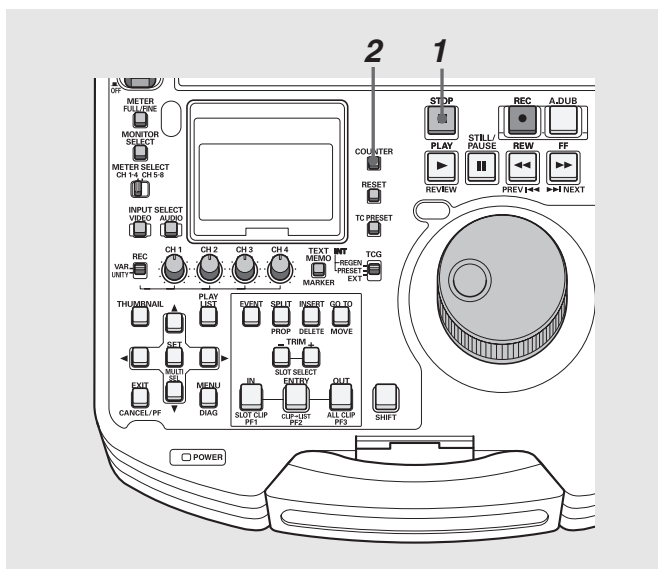
TCG スイッチ	メニュー No.507 EXT TC SEL	メニュー No.518 VITC GEN	ビデオ入力信号選択	記録するタイムコード	
				SBC領域	VAUX領域
INT (REGEN / PRESET)	---	OFF	1394	内部TCG値	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域)
			HD SDI		入力ビデオ信号のSVITC *3
			CMPST / SD SDI		入力ビデオ信号のVITC *3
		ON	1394	内部TCG値	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域)
			HD SDI		
			CMPST / SD SDI		
EXT	EXT_L	OFF	1394	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域)	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域)
			HD SDI	TIME CODE IN端子入力のタイムコード *1	入力ビデオ信号のSVITC *3
			CMPST / SD SDI	入力ビデオ信号のVITC *3	
		ON	1394	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域)	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域)
			HD SDI	TIME CODE IN端子入力のタイムコード *1	
			CMPST / SD SDI		
	SLTC	OFF	1394	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域)	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域)
			HD SDI	入力ビデオ信号のSLTC *2	入力ビデオ信号のSVITC *3
			CMPST / SD SDI	入力ビデオ信号のVITC *2	入力ビデオ信号のVITC *3
		ON	1394	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域)	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域)
			HD SDI	入力ビデオ信号のSLTC *2	
			CMPST / SD SDI	入力ビデオ信号のVITC *2	
	SVITC	OFF	1394	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域)	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域)
			HD SDI	入力ビデオ信号のSVITC *2	入力ビデオ信号のSVITC *3
			CMPST / SD SDI	入力ビデオ信号のVITC *2	入力ビデオ信号のVITC *3
		ON	1394	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域)	IEEE 1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域)
			HD SDI	入力ビデオ信号のSVITC *2	
			CMPST / SD SDI	入力ビデオ信号のVITC *2	

*1: TIME CODE IN端子入力から信号が検出できないときは、内部TCG値となります。

*2: 入力ビデオ信号からSLTC、SVITC、VITCが検出できないときは、内部TCG値となります。

*3: 入力ビデオ信号からSVITC、VITCが検出できないときは、未記録となります。

CTLモード



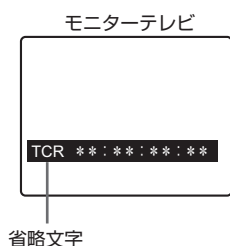
1 停止モードにする

2 COUNTERボタンで[CTL]を選択する

再生時は、先頭から再生する相対位置が表示されます。記録時は、カウンター値が「0:00:00:00」から開始されます。記録終了時は、先頭からの相対位置が表示されます。

スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが省略文字で表示されます。



省略文字

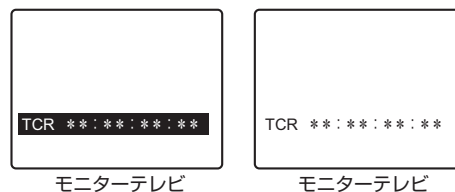
CTL	先頭からの相対位置
TCR	記録されたタイムコードデータ
TCR.	VAUX 領域に記録されたタイムコードデータ
UBR	記録されたユーザーズビットデータ
UBR.	VAUX 領域に記録されたユーザーズビットデータ
TCG	タイムコードジェネレーターのタイムコードデータ
UBG	タイムコードジェネレーターのユーザーズビットデータ

◆NOTE:

- カードから正しくデータを読み取ることができなかったときは、「T *R」や「U *R」が表示されます。

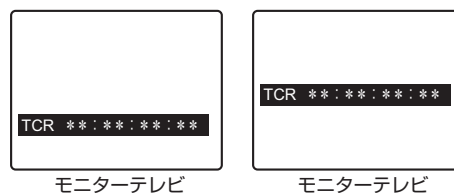
表示文字

スーパーインポーズの表示文字の背景色は、セットアップメニューNo.009(CHARA TYPE)で変更することができます。



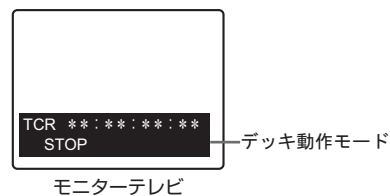
表示位置

スーパーインポーズの表示位置は、セットアップメニューNo.007(CHARA H-POS)とNo.008(CHARA V-POS)で変更することができます。



動作モード

セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)を設定して、デッキの動作モードを表示することができます。



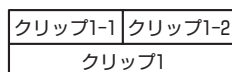
音声 V フェード機能

セットアップメニューNo.731(PB FADE)の設定によるオーディオ処理の違いを説明します。セットアップメニューNo.731(PB FADE)の設定に従って、クリップ選択再生やプレイリスト再生を行うときなどに、クリップ間、イベント間でVフェード/カット処理が行われます。

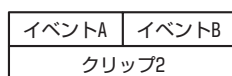
どのような処理が行われるのかを、例を挙げて説明します。

P2カードにまたがったクリップと、エディットコピーにより作られたクリップがあります。

- ・P2カードにまたがったクリップまたは、8GB以上のP2カードを使用して、自動的に分割記録されたクリップ

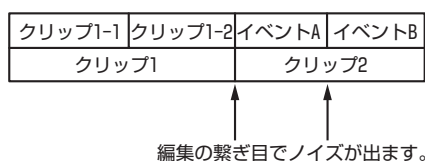


- ・AJ-SPD850でエディットコピーにより作られたクリップ



上記 2 種類のクリップを再生すると、セットアップメニューNo.731の設定により、次のようになります。

- ・CUTに設定しているとき



- ・AUTOに設定しているとき



クリップ間およびイベント間で、自動的にVフェード処理が行われます。

次の箇所では、Vフェード処理は行われません。

- ・複数のP2カードにまたがったクリップ
- ・8GB以上のP2カードを使用して自動的に分割記録されたクリップ
- ・IEEE1394デジタル出力信号はフェード処理を行いません。

音声の記録チャンネルの選択

音声の記録チャンネル

フロントパネルのINPUT SELECTボタンで選択された入力信号を、セットアップメニュー725-728(REC CH1-4)により、以下のように選択できます。なお1394時は設定に関係なく、入力された信号がそのまま記録されます。

アナログ入力時

記録トラック	記録信号
CH1	CH1入力/CH2入力/CH1入力+CH2入力
CH2	CH1入力/CH2入力/CH1入力+CH2入力
CH3	CH3入力/CH4入力/CH3入力+CH4入力
CH4	CH3入力/CH4入力/CH3入力+CH4入力
CH5	なし
CH6	なし
CH7	なし
CH8	なし

SDI入力時

記録トラック	記録信号
CH1	CH1入力/CH2入力/CH1入力+CH2入力
CH2	CH1入力/CH2入力/CH1入力+CH2入力
CH3	CH3入力/CH4入力/CH3入力+CH4入力
CH4	CH3入力/CH4入力/CH3入力+CH4入力
CH5	なし(SD)/CH5(HD)
CH6	なし(SD)/CH6(HD)
CH7	なし(SD)/CH7(HD)
CH8	なし(SD)/CH8(HD)

未永くお使いいただくために

結露

結露が起こるのは、暖房を入れた部屋の窓ガラス一面に水滴(露)が付くのと同じ原理です。本機やカードを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこめる湿度の多いところや、暖房を入れた直後の部屋へ移動したとき
- 冷房を入れているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき
- このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに、10分程度放置したままでお待ちください。

お手入れについて

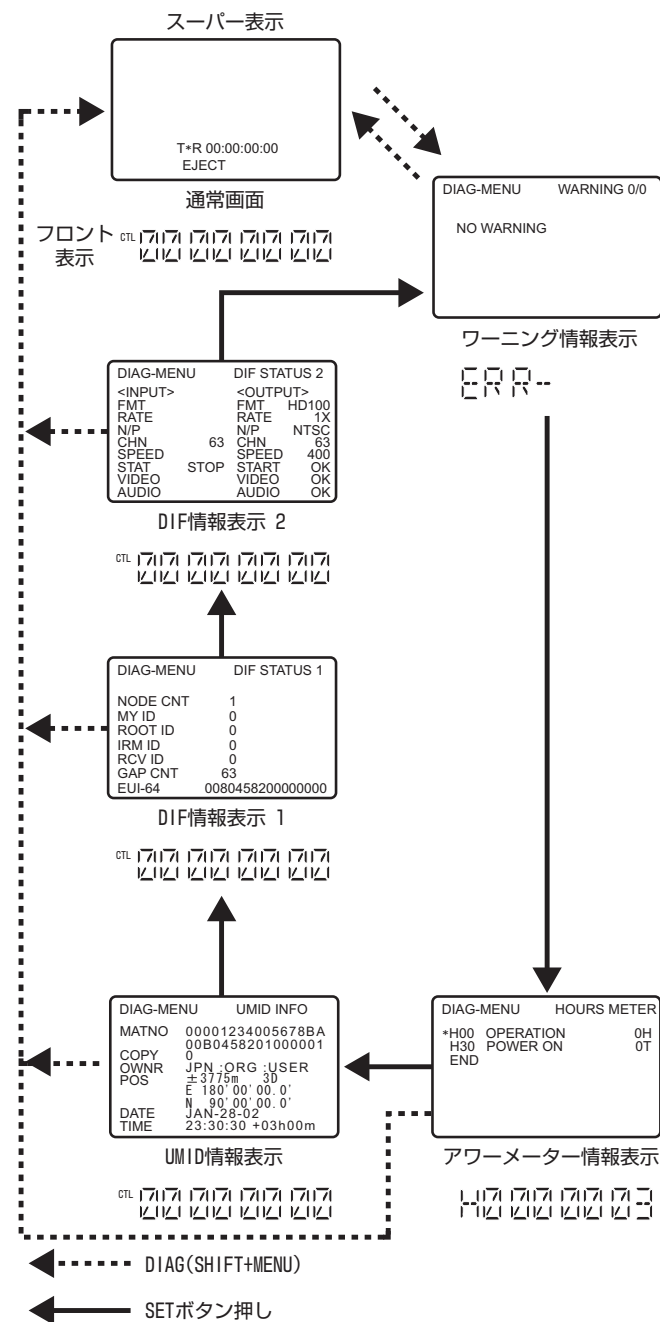
- お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。
- キャビネットの清掃は、柔らかい布で行ってください。
- 汚れのひどいときは、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞ってふきます。汚れをふき取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

◆NOTE:

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装部品表面の変色や、塗装が落ちる原因になります。

エラーメッセージ

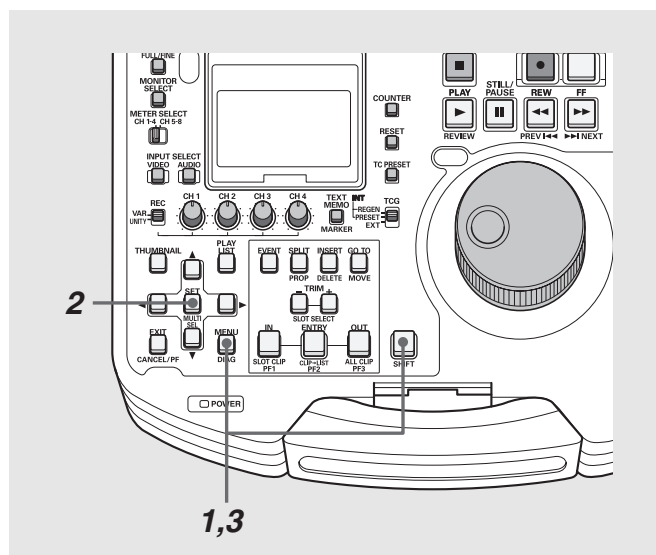
本機にワーニングが発生すると、カウンター表示部にエラー番号が表示されます。ダイアグメニューを開くとカウンター表示部、液晶モニターにその内容が表示されます。また、本機の動作に異常が発生すると、カウンター表示部にエラー番号が点滅表示されます。



ダイアグメニュー

デッキの情報を表示します。デッキの情報にはワーニング情報、シリアル番号、アワーメーター(使用時間)情報、UMID情報などがあります。液晶モニター部およびリアパネルのANALOG COMPOSITE MONITOR OUT端子にモニターテレビを接続しているときは、モニターテレビにダイアグメニューが表示されます。

ダイアグメニューの表示



- 1 DIAG (SHIFT ボタンを押しながら MENU) ボタンを押す
モニター部にダイアグメニューの画面が表示され、カウンター表示部にメッセージがそれぞれ表示されます。
- 2 SET ボタンを押す
押すたびに、ワーニング情報、アワーメーター情報、UMID 情報などの表示が切り替わります。
- 3 再度DIAG ボタンを押す
元の表示に戻ります。

未永くお使いいただくために

ワーニング情報の表示

- ワーニング発生時は、ワーニングメッセージが表示されます。
ワーニングが発生していないときは、「NO WARNING」と表示されます。
- 複数のワーニングが発生したときは、サーチダイヤルを回すと各内容を確認することができます。
「セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)」で「T&S&M」を選択しているとき、ワーニングまたはエラー発生時に、モード表示部にメッセージが表示されます。複数発生時は、優先順位の高いものが表示されます。

優先	モニター表示	内容	デッキ動作	カウンター表示部
1	CANNOT A.DUB	P2カードにオーディオの追加記録ができないときに表示されます。 【原因】 ・ライトプロテクトがされているときに、記録しようとした ・カードに容量がないときに、記録しようとした ・使えないカードに記録しようとした ・カードが挿入されていないときに記録しようとした ・追加記録のオーディオ数がすでに最大数(99)に達している状態で記録しようとした。	STOP	CANTADUB
2	PLEASE SAVE PLAY LIST	プレイリストを保存せずにA.DUBを実行したときに表示されます。	STOP	CANTADUB
3	CANNOT REC	P2カードに記録ができないときに表示されます。 【原因】 ・ライトプロテクトがされているときに、記録しようとした ・カードに容量がないときに記録しようとした ・使えないカードに記録しようとした ・記録中にカード状態が変わった ・BUSY中に再生しようとした	STOP	CANT REC
4	CANNOT PLAY	クリップの異常などで再生が停止したときに表示されます。 【原因】 ・クリップがないときに再生しようとした ・使えないカードを再生しようとした ・その他の原因で再生を受け付けられないか、または再生が停止した ・BUSY中に再生しようとした	STOP	CANTPLAY
5	CANNOT ENTRY	登録できない箇所IN / OUT / SPLIT点を登録しようとしたときに表示されます。	動作継続	CANT ENT
6	CHECK A.SPLIT POINT	オーディオスプリット設定があるため、IN / OUT / SPLIT点の登録ができないときに表示されます。	動作継続	CANT ENT
7	OVER DUR TIME	登録しようとしている区間が24時間を超えるとときに表示されます。	動作継続	CANT ENT
8	INVALID	テキストメモがすでに100個あり、新規に追加できないときに表示されます。	動作継続	INVALID
9	BUSY	クリップ情報を読み込み中や、クリップ構成が変化しているときに表示されます。この表示中は、操作ができません。 【原因】 ・カード挿抜時 ・UPDATING中 ・記録後処理中 ・その他	動作継続	BUSY
10	INT SG	INPUT SELECT VIDEOボタンでSGが選択されている、あるいは、INPUT SELECT AUDIOボタンでSGが選択されているときに、RECボタンを押してEEモードになるときの開始2秒間表示されます。	動作継続	INT SG
11	NO INPUT	アナログオーディオを除き、INPUT SELECTボタンにより選択されている端子に入力信号がないときに、RECボタンを押してEEモードになるときの開始2秒間表示されます。	動作継続	NO INPUT
12	TEXT MEMO	テキストメモを挿入したときに2秒間表示されます。	動作継続	TEXT MEMO
13	MARK ON/OFF	ショットマークを付加、消去したときに2秒間表示されます。	動作継続	MARK ON / MARK OFF

ワーニング情報

カウンター表示部にE-***が点灯したとき、SHIFTボタンを押しながらMENUボタンを押してダイアグメニューを開くと、内容が表示されます。

優先	表示		内容	デッキ動作
	No	文字		
1	95	INVALID EMBEDDED TC	記録された映像のフレームをHD SDI IN端子に入力された信号のタイムコードに同期させるときの、タイムコードが1倍速で歩進していない場合に表示されます。 (メニューNo.032 REC REFで「SLTC」を選択時)	動作継続
2	92	1394 INITIAL ERROR	1394I / Fの接続状態が不正規のときに表示されます。	*4
3	91	COPY PROTECTED	DVフォーマットでの記録が可能なとき、1394I / Fから入力されたコピーガード信号が記録禁止状態の場合に表示されます。	記録動作不可
4	90	NOT 1 × 100M SIG	1394I/Fから入力された信号がDVCPRO HD(100Mbps)の1倍速転送信号ではないときに表示されます。	記録動作不可
5	04	UNKNOWN SIG	1394I / Fから入力された信号がDVCPRO / DVフォーマットでないときに表示されます。	記録動作不可
6	15	NOT 1 × DV SIG	1394I / Fから入力された信号がDV(25Mbps)の1倍速転送信号でないときに表示されます。	記録動作不可
7	11	NOT 1 × 25M SIG	1394I/Fから入力された信号がDVCPRO(25Mbps)の1倍速転送信号ではないときに表示されます。	記録動作不可
8	12	NOT 1 × 50M SIG	1394I / Fから入力された信号がDVCPRO50(50Mbps)の1倍速転送信号ではないときに表示されます。	記録動作不可
9	14	NO MATCH SIG	1394I / Fから入力された信号が、本機で設定されているシステムフォーマットと異なるときに表示されます。	記録動作不可
10	16	INVALID VIDEO SIG	1394I / Fから入力された信号の圧縮ビデオデータが不正規なときに表示されます。	動作継続 *1 編集動作不可
11	17	INVALID AUDIO SIG	1394I / Fから入力された信号のオーディオデータが不正規なときに表示されます。	動作継続 *2 編集動作不可
12	18	INVALID TC SIG	1394I / Fから入力された信号のタイムコードデータが不正規なときに表示されます。	動作継続 *3 編集動作不可
13	26	CARD ERROR<*****>	記録中にP2カードが原因でデータ異常が発生したときに表示されます。 記録停止後も次の操作を行うまで表示されたままです。再生時に発生したときは表示されません。(*は発生したスロット番号) エラーが発生したスロットのP2カードを交換してください。	STOP
14	21	REC WARNING	記録中に映像や音声に異常が発生したときに表示されます。 一度電源を切ってからご使用ください。	STOP
15	50	BATTERY EMPTY	電源ON時に内蔵時計のバックアップ電池の電圧低下を検出したときに表示します。内蔵電池を交換してください。*5	動作継続
16	10	FAN STOP	ファンモータが停止したときに表示されます。	動作継続

◆NOTE:

*1 ワーニングは記録動作中のみ表示されます。

このとき、ビデオはブラック画面が記録され、オーディオ信号はミュート記録されます。

*2 ワーニングは記録動作中のみ表示されます。このとき、オーディオはミュート記録されます。

*3 ワーニングは記録動作中のみ表示されます。このとき、内部発生されたタイムコードが記録されます。

*4 ワーニングは常に表示されます。このとき、デジタルビデオインターフェースでの入出力はできません。

*5 バックアップ電池が消耗すると「E-50」が表示されます。お買い上げの販売店にご相談の上、新しい電池(CR2032 相当品)との交換をお買い上げの販売店に依頼してください。電池交換後は、必ず内蔵の時計の設定を、「セットアップメニューNo.069(CLOCK SET)」で行ってください。

サムネール・プレイリスト画面で問題のある操作を行ったときなどに、ワーニングが表示されます。

項目	メッセージ	内容	対応
サム ネール	CANNOT ACCESS!	コンテンツ不良などによりデータへアクセスできません。	メディア、クリップを正常な状態としてからご使用ください。
	WRITE PROTECTED!	P2、SDカードがライトプロテクトされています。	書き込み可能なメディアを挿入してください。
	CARD FULL!	P2、SDカードが一杯です。	空き領域のあるメディアを挿入してください。
	NO CARD!	P2、SDカードが入っていません。	対応メディアを挿入してください。
	CANNOT DELETE !	コンテンツバージョンが不整合のため削除できません。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
	UNKNOWN CONTENTS FORMAT!	コンテンツバージョンが不整合のときの警告です。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
	CANNOT FORMAT!	P2カードなどの問題でフォーマットができません。	P2カードを確認してください。
	CANNOT REPAIR!	異常がないコンテンツを選んでいる等で修復できません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT RE-CONNECT!	またぎクリップではないコンテンツを選んでいるなどでクリップの再結合ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	NO INPUT!	データが入力されていません。	データを入力してから設定をしてください。
	INVALID VALUE!	入力しようとしたデータ値が不正規です。	正常な範囲のデータを設定してください。
	UNKNOWN DATA!	メタデータの文字コードが不正規です。	メタデータの文字コードはUTF-8となっています。ビューアーなどで正しい文字を入力してください。
	CANNOT REPAIR IN SELECTION!	選択したクリップの一部が修復できませんでした。	
	NO SD CARD!	SDカードがありません。	SDカードを挿入してください。
	NO COPY TO SAME CARD!	コピー元とコピー先が同じカードのためコピーできません。	選択しているクリップが入っていないカードへコピーをしてください。
	USER CLIP NAME MODIFIED!	クリップ名にカウンター値を付加するときに文字削除が必要となりました。	カウンター付加の設定でユーザークリップ名とカウンターは合わせて100バイトまでしか保存できませんので、文字を自動的に削除します。
TOO MANY CLIPS!	選択しているクリップが多すぎます。	選択しているクリップ数を減らしてください。	
LACK OF REC CAPACITY!	カードの記録容量が不足しています。	記録容量の十分あるカードを挿入してください。	
HDD	HDD CAPACITY FULL!	HDDの空き容量が足りません。	接続先のターゲットの残容量が足りないため、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	TOO MANY PARTITIONS!	パーティションが多すぎます。	HDDの最大パーティション数は15ですので、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	HDD DISCONNECTED!	HDDとの接続が切断されました。	USBを付け直してください。またその後正常に動作しないときは、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	CANNOT FORMAT!	初期化できません。	接続しているHDDを変更してください。
	TOO MANY TARGETS!	複数の機器が接続しています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	UNKNOWN DEVICE CONNECTED!	未対応のDVDドライブなどが接続されています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	CANNOT ACCESS TARGET!	接続先のターゲットのアクセス中にエラーが発生しました。	HDDの状態や接続を確認してください。
	CANNOT RECOGNIZE HDD!	接続先のターゲットが正しく認識できません。	HDDの電源を入れ直すか、接続するHDDを変更してください。
CANNOT ACCESS CARD!	P2カードのアクセス中にエラーが発生しました。	P2カードを確認してください。	

項目	メッセージ	内容	対応
HDD	MISMATCH COMPONENT!	コピー元とコピー先のP2カードの容量、形式が不一致のため、コピーできません。	正しい容量のP2カードを使用してください。
	P2 CARD IS UNFORMATTED!	P2カードが未フォーマットです。	フォーマットされたP2カードを使用してください。
	CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!	コピーするP2カードが空です。	空のカードはコピーする必要がないためコピーを行いません。
	VERIFICATION FAILED!	コピー後のコンペアが不一致でした。	再度コピーを行ってください。
	PLEASE FORMAT P2 CARD!	HDD→P2へのインポート時に、P2カードが記録済のためコピーできない警告です。	コピー先のP2カードが空でないため、コピーできません。P2機器でフォーマットした後に再度コピーを行ってください。
プレイリスト	NO FILE!	指定されたファイルが存在しません。	SAVE ASにて保存するか、正しいカードを挿入してください。
	READ ONLY PLAYLIST VERSION!	プレイリストファイルのバージョンが異なるため、読み取り専用で開きます。	AJ-SPD850で作成したプレイリストは読み取り専用となります。編集するときは一度保存してください。
	CANNOT FIND CLIP!	対象ショットが見つかりません。	対象のクリップのあるカードを挿入してください。
	INCLUDE MULTI FORMAT!	フォーマットが混在しています。	フォーマットが混在しているプレイリストファイルは読み込めません。
	READ ONLY 100 EVENTS!	プレイリストファイルがイベントの上限を超えています。	イベントの上限は100イベントです。読み込み専用としてファイルを開きます。
	DIFFERENT PLAYLIST VERSION!	プレイリストファイルのバージョンが異なります。	プレイリストファイルのバージョンが異なるときは、取り込むことができません。
	INCLUDE ILLEGAL EVENT!	不正なイベントが混在しています。	イベントを正しい状態に修正してください。
	WRITE PROTECTED!	指定したカードが書き込み禁止状態です。	書き込みが可能なメディアを使用してください。
	NO SPACE!	カードの空き容量がありません。	
	ILLEGAL FILE!	取り込むイベントファイルが不明なフォーマットです。	フォーマットが一致したクリップを使用してください。
	DIFFERENT FORMAT!	編集中のプレイリストと取り込むイベントやクリップの編集フォーマット(コーデック、フレームレート)が異なります。	編集フォーマットが一致したクリップを使用してください。
	NUMBER OF FILE LIMITATION!	プレイリストファイルが上限に達しています。	プレイリストファイルは1カードに最大999個です。不要なファイルを削除するか新しいカードを使用してください。
	NUMBER OF EVENT LIMITATION!	プレイリストファイルからの追加読み込み、選択クリップの追加時に、イベントの上限を超えています。	イベントの最大数は100ですので、読み込み後も100以下になるようにイベントを削除してから追加してください。
	CANNOT OPERATE AT A.DUB EVENT!	A.DUB区間内のイベントの削除・修正・移動などの操作はできません。	操作が必要なときは一度A.DUBイベントを削除してください。
	DURATION LIMITATION	プレイリストのデュレーションが24時間以上となるため操作できません。	操作が必要なときは、デュレーションを24時間以内に削減してください。
	DIFFERENT SYSTEM FREQUENCY!	システム周波数が異なるファイルです。	同じシステム周波数のファイルを使用してください。
	NOT SELECTED!	クリップが選択されていません。	サムネール画面でクリップを選択してください。
	INCLUDE COLLAPSE CLIP!	異常なクリップが含まれています。	正常なクリップを使用してください。
	CANNOT FIND SAME FORMAT!	編集フォーマットに合うクリップがありません。	編集フォーマットに合ったクリップを使用してください。
	NO CARD!	指定されたカードがありません。	カードを挿入してから操作してください。
INCLUDE DIFFERENT ASPECT RATIO!	アスペクト比が混在しています。	アスペクト比は混在できませんので、同じアスペクト比のクリップを使用してください。	
LACK OF REC CAPACITY!	エディットコピーするカードの容量が不足しています。	空き容量の十分なメディアを挿入してください。	

エラー情報

エラー		内容	動作	備考
番号	メッセージ			
E-30	TURN POWER OFF	カードの読み書きに異常が発生したときに表示されます。 一度、電源を切ってからご使用ください。	STOP	
E-37	COMM ERROR	3秒経過してもシステムコントロールの指示に従わない場合に表示 されます。 一度、電源を切ってからご使用ください。	STOP	
E-38	SYSTEM ERROR	通信異常が発生したときに表示されます。 一度、電源を切ってからご使用ください。	STOP	

アワーメーター情報の表示

▲▼ボタンを押すとカーソル(*)が移動し、カーソルのある項目の内容がカウンター表示部に表示されます。

番号	項目	内容	カウンター表示部
Ser	*****	デッキのシリアルNo.が表示されます。	
H00	OPERATION	電源が入っている時間が、1時間単位で表示されます。	0H~99999H
H30	POWER ON	電源を入れた回数が、1回単位で表示されます。	0H~99999T

◆NOTE:

- エラー表示があるときは、カウンター表示部にアワーメーターは表示されません。

本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアに関する最新情報は、下記ウェブサイトよりP2のサポートページをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

ファームウェアをアップデートするとき、サムネイルメニューの[PROPERTY-SYSTEM INFO]で本機のバージョンを確認の上、上記のサイトにアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。アップデートはダウンロードしたファイルを、SDメモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、上記サイトをご覧ください。

◆NOTE:

- 本機で使用するSDメモリーカードは、SD規格に準拠したものをお使いください。
また、SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。パーソナルコンピュータでフォーマットする必要があるときは、専用ソフトウェアを上記のサイトからダウンロードしてご使用ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い などのご相談は、まず、 お買い上げの販売店 へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

*内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品

当社では、メモリーカードポータブルレコーダー/プレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

*補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

メンテナンス時間の目安と実施項目

下記のメンテナンス実施時間は、標準的な目安として設定しており、部品の寿命時間ではありません。また、使用する環境や使用方法により劣化する時間は異なりますので注意してください。

1	数量	定期保守点検と時間
ファン	2	12,000時間ごとに交換

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードポータブルレコーダー/プレーヤー
品番	AJ-HPM100
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

総合

電源

AC 100-240 V、50 / 60Hz、60W
DC 12V、4.3A(フルオプション)

は安全項目です。

動作周囲温度： 0°C ~ 40°C

動作周囲湿度： 10% ~ 80%(結露なし)

質量： 6.5 kg

外形寸法(幅×高さ×奥行き)：

301 mm × 120 mm × 412 mm

(セット足を除く)

記録フォーマット： DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV
フォーマット切り替え

記録ビデオ信号： 1080 / 59.94i、720 / 59.94p、480 / 59.94i
1080 / 50i、720 / 50p、576 / 50i

記録オーディオ信号： DVCPRO HD： 48 kHz 16bits 8CH
DVCPRO50： 48 kHz 16bits 4CH
DVCPRO / DV： 48 kHz 16bits 2CH(4CH
切り替え可)

ビデオ

デジタルビデオ

サンプリング周波数：Y： 74.176MHz
P_B / P_R： 37.088MHz(DVCPRO HD:1080 /
59.94i、720 / 59.94p)
Y： 74.25MHz
P_B / P_R： 37.125MHz(DVCPRO HD:1080 /
50i、720 / 50p)
Y： 13.5MHz
P_B / P_R： 6.75MHz(DVCPRO50)
Y： 13.5MHz
P_B / P_R： 3.375MHz(DVCPRO)
量子化： 8 bits
ビデオ圧縮方式： DV-Based Compression(SMPTE 370M,314M)
ビデオ圧縮比率： DVCPRO HD: 1 / 6.7
DVCPRO50: 1 / 3.3
DVCPRO: 1 / 5
エラー訂正： リードソロモンプロダクトコード
ビットレート： DVCPRO HD: 100Mbps
DVCPRO50: 50 Mbps
DVCPRO: 25 Mbps

ビデオ入力信号

アナログコンポジット入力：
BNC × 1(VIDEO IN) 1.0 V [p-p] (75Ω)
リファレンス入力： ブラックバースト / HD3値SYNC自動切り替
え、BNC × 1(ループスルー × 1)、75Ω終端自
動切り替え
SDI入力： BNC × 1、
HDシリアルデジタル入力時：
SMPTE 292M / 296M / 299M規格に準拠

記録時間：

カード 品番	使用 枚数	記録方法		
		DVCPRO (オーディ オ2CH)	DVCPRO 50 (オーディ オ4CH)	DVCPRO HD (オーディ オ8CH)
AJ-P2C 004HG	1枚	約16分	約8分	約4分
	6枚	約96分	約48分	約24分
AJ-P2C 008HG	1枚	約32分	約16分	約8分
	6枚	約192分	約96分	約48分

◆NOTE:

- 上記の時間は、いずれもP2カードに1クリップを連続記録したとき
のものであります。
- 記録するクリップ数によっては、記録できる時間は上記より短くな
るときがあります。

デジタルスロー： -1.0 ~ +1.0倍速

SDシリアルデジタル入力時：
SMPTE 259M-C / 272M-A、
ITU-R BT.656-4に準拠

ビデオ出力信号

HDアナログコンポーネント出力：
BNC × 3(Y, P_B, P_R)
SDアナログコンポジット出力：
BNC × 3、VIDEO1、VIDEO2、VIDEO3
(VIDEO1,2,3とHDアナログコンポーネントY, P_B, P_R出力は切り替えです)
HDシリアルデジタル / SDシリアルデジタル出力(切り替え式)：BNC × 1
HDシリアルデジタル出力時：SMPTE292M /
296M / 299M規格に準拠
SDシリアルデジタル出力時：SMPTE259M-
C / 272M-A、ITU-R BT.656-4規格に準拠
モニター出力： BNC × 1、1.0 V [p-p] (75Ω)

ビデオ調整範囲

ビデオ出力ゲイン： メニューによって-∞ ~ +3
または-∞ ~ +6となる
ビデオ出力クロマゲイン： ±3 dB
ビデオ出力HUE(クロマ位相)： ±30°
ビデオ出力セットアップレベル： ±14 IRE
ビデオ出力シンク位相： ±15 μs
ビデオ出力SC位相： ±180°

オーディオ

デジタルオーディオ

サンプリング周波数:	48kHz(ビデオに同期)
量子化:	16bits
周波数特性:	20Hz~20 kHz ±1.0 dB(基準レベルにて)
ダイナミックレンジ:	85dB以上 (1kHz、エンファシスOFF、"A"weighted)
歪率:	0.1%以下 (1kHz、エンファシスOFF、基準レベル)
クロストーク:	-80dB以下(1kHz、2チャンネル間)
ヘッドルーム:	18 / 20dB(切り替え可能)
ディエンファシス:	T1=50 μ s、T2=15 μ s (ON / OFF自動切り替え)

オーディオ入力信号

アナログ入力(CH1-CH4):	XLR×4、600 Ω /ハイインピーダンス切り替え可能(600 Ω で出荷) +4 / 0 / -3 / -20dBm切り替え可能 CH2入力のみLINE / MIC / MIC + 48V 切り替え可能
MIC:	-60dBu
MIC+48V:	ファントム+48V対応、 -60dBu
SDI入力:	BNC×1 (HD:SMPTE 292M / 296M / 299M規格に準拠、 SD:SMPTE 259M-C / 272M-A,ITU-R BT.656-4規格に準拠)

オーディオ出力信号

アナログ出力(CH1-CH4):	XLR×4、ローインピーダンス、 +4 / 0 / -3 / -20dBm 切り替え可能
SDI出力:	BNC×1 (HD:SMPTE 292M / 296M / 299M規格に準拠、SD:SMPTE 259M-C / 272M-A,ITU-R BT.656-4規格に準拠)
モニター出力:	ピンジャック×2、-8dBV、600 Ω
ヘッドホン出力:	ステレオミニジャック(3.5mm径)、 8 Ω 、レベル可変

その他入出力信号

タイムコード入力:	BNC×1、0.5 V [p-p]~8.0 V [p-p]、 10k Ω
タイムコード出力:	BNC×1、ローインピーダンス、2.0V± 0.5 V [p-p]
RS-422A入出力:	D-sub 9pin、RS-422A インターフェース
IEEE1394デジタル入出力:	IEEE1394 6pin×1 400 / 200 / 100 Mbps選択可能 IEEE1394-1995準拠 IEC61883-Part1,Part2準拠 SMPTE 396M準拠 AV/C Command Set準拠
USB2.0:	HOST×1、DEVICE×1

メニュー索引

サムネイルメニュー

THUMBNAIL	33
ALL CLIP	33
SAME FORMAT CLIPS	33
SELECTED CLIPS	33
MARKED CLIPS	33
TEXT MEMO CLIPS	33
SLOT CLIPS	33
SETUP	34
ALL HIDE	34
MARKER IND.	34
TEXT MEMO IND.	34
WIDE IND.	34
PROXY IND.	34
DATA DISPLAY	34
DATE FORMAT	34
THUMBNAIL SIZE	34
THUMBNAIL INIT	34
OPERATION	38
DELETE	39
FORMAT	48,81
REPAIR CLIP	40
RE-CONNECTION	40
COPY	38
PROPERTY	
CLIP PROPERTY	41
CARD STATUS	50
DEVICES	86
PROPERTY SETUP	49
META DATA	
LOAD	46
RECORD	47
USER CLIP NAME	43
INITIALIZE	47
PROPERTY	46
LANGUAGE	44
HDD	
EXPORT	82
EXPLORE	83
FORMAT	81
SETUP	82

HDDメニュー

THUMBNAIL	33
IMPORT	85
CLIP PROPERTY	84

プレイリストメニュー

FILE	
NEW	56
OPEN	61
APPEND	59
SAVE	65
SAVE AS	60
DELETE	64
OPERATION	
DELETE ALL EVENT	64
DELETE SELECTED EVENTS	64
APPEND SELECTED CLIPS	57
EDIT COPY	77
PROPERTY	
EVENT PROPERTY	73
CARD STATUS	50
SETTING	
REPLACE TC	75
STOP MODE	53

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

